

DARUMA
PATTERN BOOK

9



COLLECTION

1. カラーワークブルオーバー
2. うろこ雲のニットパンツ
3. 貝がらのつけ衿
4. LOVE & PEACE グローブ
5. ウィンドミルの編み込みベスト
6. ウェストマークのケーブルブルオーバー
7. トラッパーキャップ
8. グラデーションブルオーバー

何ごとにもバランスが大事。
考えること、行動すること。
働くこと、勉強すること、遊ぶこと。
程よい緊張感とのんびりリラックス。
言い出すとキリが無いけれど、
おしゃれにだってバランスがあるはず。
良い悪いじゃなくて、自分の好きなバランスを探す。
シックとカジュアル。
ベーシックカラーと鮮やかな差し色。
甘いアイテムにはメンズライクなアイテムを。
自分らしくいられる心地よいバランスを探す。
きっと、いいバランスの塩梅が、その人らしさを作るのだ。



1. カラーワークプルオーバー

[DESIGN] 野口 智子

切り替えの配色と編地の変化が楽しいプルオーバー。糸の色が混ざった部分の編地は起毛感のある発色の良いアクリル糸を引き揃えています。粒々と連なる赤いラインは、赤ときなりの糸を交互に編み込み、次の段で裏目を編むことで浮き上がったような形に仕上がります。コーディネートの主役になるセーターは、細かな工夫が沢山詰まった編むのも着るのも楽しい1枚です。指定のカラーはもちろん、自分好みの配色も楽しんでみてください。

YARN メリノスタイル並太
ランブイエメリノウール
手つむぎ風タム糸
ダルシャン合細モヘア
ダルシャン極細

PATTERN P.36









2. うろこ雲のニットパンツ

[DESIGN] 岡 まり子

うろこ雲のように立体的な模様が並んだ編地が特徴的なニットパンツです。脚の付け根位置の渡り幅が広めなので動きやすく、股上が深いストンと落ちるスッキリとしたシルエットです。身体のラインを出したくない場合はワンピースや長めのトップスの下に重ねて、ペチパンツのようにコーディネートするのもおすすめです。模様編み部分は少し透け感があるので、カラータイツやレギンスを合わせるのも楽しいですね。

YARN ランビイエメリノウール

PATTERN P.44









3. 貝がらのつけ衿

〔DESIGN〕 くげなつみ

裾の部分がひらひらとウェーブした貝がらのようなシルエットのつけ衿です。裾から数段編んだところで指定目数ごとに編地をくりりと1回転させて編み進めることで、立体的なスカラップのようなニュアンスのラインに仕上がります。Aは編み終わりの衿元部分を筒状に仕立ててスレッドコードを通した前開きの結べるタイプ。Bは長いリボンがポイントの頭からかぶって身に着けるタイプです。ドレスアップのワンピースに合わせるのももちろん、カジュアルな装いに甘さをひとさじ加えることで、テイストをミックスしたコーディネートも楽しめます。



YARN ランブイエメリノウール

PATTERN P.54







A

4. LOVE & PEACE グローブ

[DESIGN] YOKOTA

ラブ & ピースマークを刺しゅうした 5 本指グローブ。手首部分に入った配色のラインもポイントです。親指と人差し指にはスマートフォン操作に便利なホールのある仕様です。ラブ & ピースマークの刺しゅうは、手の平側に入れば誰かと手を降って挨拶する時に思わずにっこり。手の甲側に入ればエレベーターのボタンを押すとき、自転車のハンドルを握る時に思わずうれしくなります。指部分を 1 本 1 本編むのはひと苦勞ですが、使いやすさとあたたかさを兼ね備えた実用的なアイテムです。

YARN エアリーウールアルパカ

PATTERN P.58







18



5. ウィンドミルの編み込みベスト

[DESIGN] 那須 早苗

シェットランドウールで編む編み込み模様のベストです。幾何学模様を組み合わせることができる風車のような編み込み柄は、カラーの組み合わせ次第でカラフルにもシックにもイメージが変わり、編み進めるのが楽しい編地です。クラシカルなVネックの形のベストですが、少し大きめサイズなのでインナーにシャツやワンピースはもちろん、パーカーやトレーナーを合わせてダボっとカジュアルに着るのもおすすめです。使い込むほどに編地が馴染んでくる様子も楽しんでください。

YARN シェットランドウール

PATTERN P.62







6. ウエストマークのケーブルプルオーバー

[DESIGN] 岡 まり子

キュッと締まったウエストのリブがポイントのプルオーバー。なめらかなフォークランドウールで編む立体的で大きなケーブル模様は、スポンディッシュでふっくらと仕上がります。ウエストのリブを長めに編むことでケーブルの編地との差が生まれ、よりウエストマークするような女性らしいシルエットに。衿元の詰まり気味に仕立てたリブも上品な印象です。パンツやスカート、どんなボトムスにもコーディネートしやすい1枚です。

YARN フォークランドウール

PATTERN p.68



7. トラッパーキャップ

[DESIGN] YOKOTA

トラッパーキャップとは元々はパイロットが飛行機を操縦するときに着用していた寒さや風を防ぐための帽子。スパニッシュメリノはスポンディッシュな糸質に加え、イギリスゴム編み(裏目側引き上げ)で編むことで、ふっくら立体的なボリューム感のあるあたたかい編地に仕上がります。耳当て部分を下ろしたり、ひもを頭の上で結んでコンパクトにかぶったり、その日の気温やコーディネートに合わせて使い方を选べる帽子です。

YARN スパニッシュメリノ

PATTERN P.76



A







8. グラデーションプルオーバー

[DESIGN] 今井 昌子

グラデーションの切り替えカラーが目を引くプルオーバー。ウールモヘヤ、エアリーウールアルパカをそれぞれ 2 色使い、色の組み合わせを変えながら引き揃えて編むことでグラデーションに見えるようにデザインしています。エポレット風に肩のラインを出すことで、身につけた時に身体の形に馴染んだシルエットに。短めのクロップド丈 A とゆったりとしたロング丈 B で印象が変わります。お好みの配色や丈の長さを選んで編んでみてください。

YARN ウールモヘヤ
エアリーウールアルパカ

PATTERN P.78



[B]





PATTERN
Page



カラーワークプルオーバー >>> P.36



うろこ雲のニットパンツ >>> P.44



貝がらのつけ衿 >>> P.54



LOVE & PEACE グローブ >>> P.58



ウィンドミルの編み込みベスト >>> P.62



ウエストマークのケーブルプルオーバー >>> P.68



トラッパーキャップ >>> P.76



グラデーションプルオーバー >>> P.78

Knit Designer

今井 昌子

ディスプレイの仕事を経て編物学校で学び、卒業後は編物講師として勤める。その後はニットデザイナーとして糸メーカーやアパレル会社のデザイン提案や製作を行う。現在はニットデザインの仕事をしつつ、ニットサークルを主宰しワークショップで編物の楽しさを伝えていく。編物初級者から上級者が楽しめるような編みやすくて心地よく着られるデザインが多数ある。

☺ @atelier_masako75

岡 まり子

大学卒業後、アパレル会社勤務を経て、ヴォーグ編物指導者養成校で編物を学ぶ。同校を卒業し、糸商勤務の後フリーのニットデザイナーに。現在は書籍や雑誌、糸メーカーのためのデザイン提案と製作を行う。レース小物のアクセサリーから、ベビー・キッズ向け、上級者向けのウエアまで、幅広い層に向けたデザインを展開。主な著書に『かぎ針あみのモチーフつなぎとエジング』（日本ヴォーグ社刊）がある。

くげ なつみ

ウォームワーククリエイターとして、手仕事、主に編物を中心に活動中。アパレルブランドの製品も、デザインから製作までを手がけている。自由な発想から生まれるかわいい編物を書籍や手芸誌、イベントなどで展開。糸を編む、結ぶといった技法でできる、シンプルでかわいい作品が作れるワークショップも行う。主な著書に『あみものススメ』（主婦と生活社刊）、『わたしのえりまき』（日東書院本社刊）がある。

☺ @cuge_natsumi

那須 早苗

ヴォーグ編物指導者養成校を卒業後、糸メーカー勤務を経て作家活動を始める。現在は書籍の作品デザインの他、糸メーカーのためのデザイン提案と製作、ヴォーグ学園東京校・NHK 文化センター青山教室で講座を担当している。シンプルかつ詩的で美しい柄や色合わせのデザインが多数。主な著書に『あみものノート』、『あみものクローゼット』、『糸とあみもの』、『日々のあみもの』（文化出版局刊）がある。

<https://www.nasusanae.com/> ☺ @ns_knittingworks

野口 智子

エッコミン
(eccomin)

ニットデザイナー、バイヤーを経て2006年にハンドニットブランド「eccomin」をスタートし、コレクションの発表や編み物本へのデザイン提案と製作をして活躍。アーティスティックかつミニマルな色や形で、身に付けて楽しくなるデザインが多数。2015年、渋谷に手芸と作家もののお店chocoshoeを構える。主な著書に『わたしのセーター』（文化出版局刊）、『色づかいの編み小物』、『シンプルベビーニット』（グラフィック社刊）がある。
<https://chocoshoe.net/> ☺ @eccomin

この本で使用している糸



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J

巻末に糸のサンプルが付いています

A シェットランドウール

シェットランド諸島に生息しているシェットランドシープ100%の毛糸。
厳しい寒さの中で育つ毛質は弾力性、耐久性に優れ英国羊毛の中でも柔らかく光沢感があるのが特徴です。
□ウール(シェットランドウール)100% □50g(約136m) □ \times 5~7号 □ \leftarrow 6/0~7/0号

B エアリーウールアルパカ

糸の表面が空気を含んだパイル状になっているため、とても軽い毛糸です。
年間産出量の約1%しか取れない、ペルー産のロイヤルベビーアルパカとメリノウールを合わせて毛糸にしました。
□ウール(メリノ)80%・アルパカ(ロイヤルベビーアルパカ)20% □30g(約100m) □ \times 5~7号 □ \leftarrow 6/0~7/0号

C ランブイエメリノウール

弾力性がありながらも均一できめ細やかな質感の毛糸。
通常よりも強く撚りをかけて紡績することで、細かな模様編みがはっきりと浮かび上がります。
□ウール(ランブイエメリノウール)100% □50g(約145m) □ \times 4~6号 □ \leftarrow 5/0~7/0号

D フォークランドウール

フォークランド諸島で育った羊の毛は一般的な羊毛よりも白度がとても高く、
柔らかさの中にもハリやコシがあるのが特徴です。ベビーアルパカを混ぜることで、
染めていない自然そのままの色目や質感を表現しています。
□ウール(フォークランドウール)80%・アルパカ(ベビーアルパカ)20%
□50g(約85m) □ \times 11~13号 □ \leftarrow 9/0~10/0号

E スパニッシュメリノ

スペイン西部、ポルトガルと国境を接するエストレマドゥーラ州で育てられた羊の毛は、
繊細で柔らかいにもかかわらず、コシが強く弾力性があるのが特徴です。
なめらかな肌触りで、模様編みがきれいに編めることに加え、とても軽く編み上がる毛糸です。
□ウール(スパニッシュメリノウール)100% □50g(約71m) □ \times 11~13号 □ \leftarrow 9/0~10/0号

F ウールモヘヤ

ざくざくと太い針で編めるウールモヘヤの毛糸です。南アフリカに生息するアンゴラ山羊から取れるモヘヤを贅沢に使用し、
光沢感のある毛糸に仕上げています。肌にあたった時にチクチクしくいように、素材にこだわって作りました。
□モヘヤ(キッドモヘヤ36%・スーパーキッドモヘヤ20%)56%・ウール(メリノ)44%
□20g(約46m) □ \times 10~12号 □ \leftarrow 9/0~10/0号

G メリノスタイル並太

きめ細やかなミクロンタイプのメリノウールを厳選して使用しています。
紡績工程で糸にする前に原料を染色するトップ染めの毛糸なので、ソフトな肌ざわりとスポンディッシュな弾力が特徴です。
□ウール(メリノ)100% □40g(約88m) □ \times 6~7号 □ \leftarrow 6/0~7/0号

H 手つむぎ風タム糸

タム糸とはループヤーンを針でひっかけて毛羽だたせた糸。ふんわりとしたやさしい肌ざわりと、ソフトな軽さが特徴です。
何本かのタム糸を撚り合わせ、毛羽がからまることで、まるで手つむぎの糸のような自然な風合いとなりました。
□アクリル54%・ナイロン31%・ウール15% □30g(約58m) □ \times 11~12号 □ \leftarrow 8/0~9/0号

I ダルシャン合細モヘア

アクリル100%ならではの発色の良いカラーが揃った起毛糸。編んだり、巻いたり、切ったりと遊び心をくすぐる毛糸です。
□アクリル100% □25g(約130m) □ \times 3~4号 □ \leftarrow 3/0~4/0号

J ダルシャン極細

アクリル100%の毛糸。ウール毛糸に比べて摩擦に強くカラフルな色合いが特徴です。
引き揃えて使うことにより編み上がりの表情が楽しくなります。
□アクリル100% □25g(約210m) □ \leftarrow 2/0号

カラーワークプルオーバー

[使用糸] メリノスタイル並太 きなり(1)・160g(4玉)、チョコレート(21)・120g(3玉)

ランプイエメリノウール ペールイエロー(10)・90g(2玉)

手つむぎ風タム糸 トマト(17)・10g(1玉)

ダルシャン合細モヘア ライトパープル(32)・30g(2玉)

ダルシャン極細 ライトイエロー(6)・25g(1玉)

[使用針] 7号玉付き2本棒針、7号輪針または4本棒針

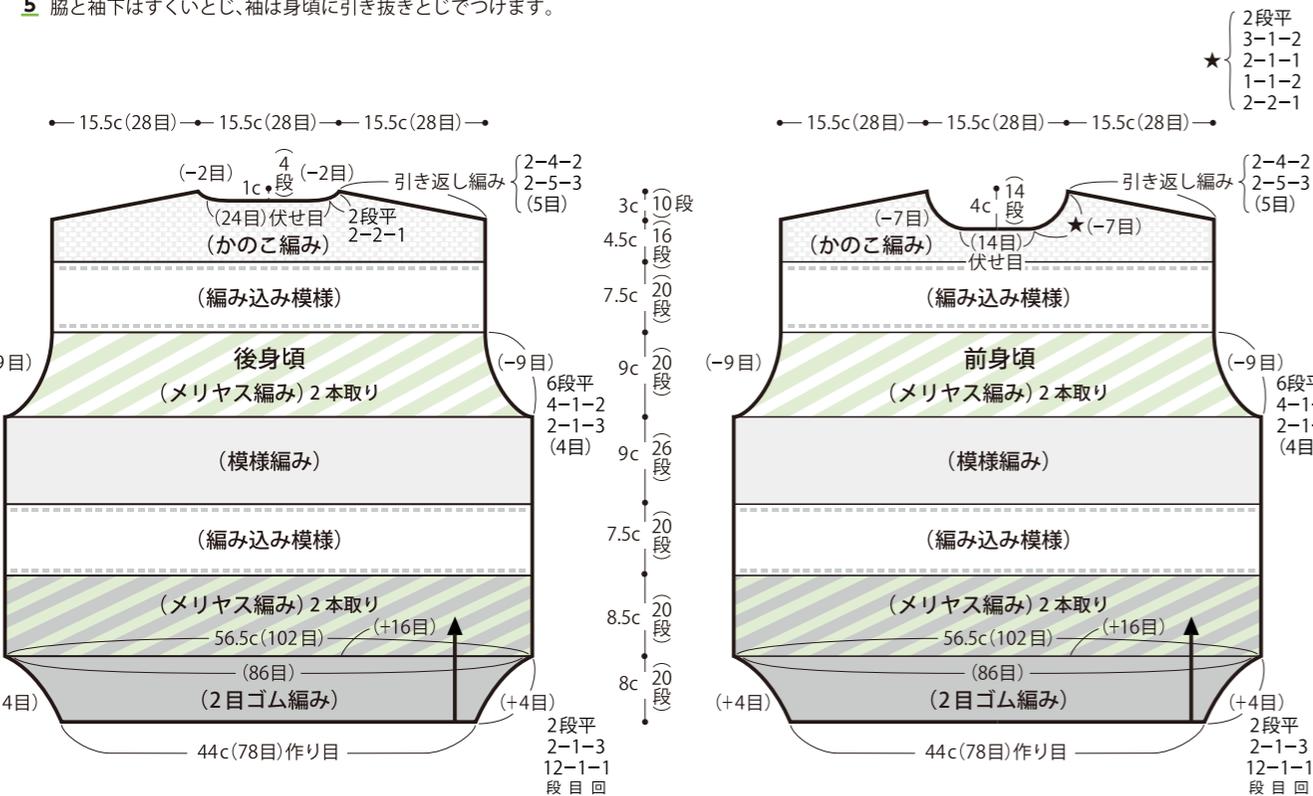
[ゲージ] メリヤス編み(メリノスタイル並太+ダルシャン極細の2本取り) 10cm角18目×23.5段

模様編み(ランプイエメリノウール1本取り)10cm角18目×29段

[できあがり寸法] 胸囲113cm、着丈57cm、袖丈49.5cm

編み方要点

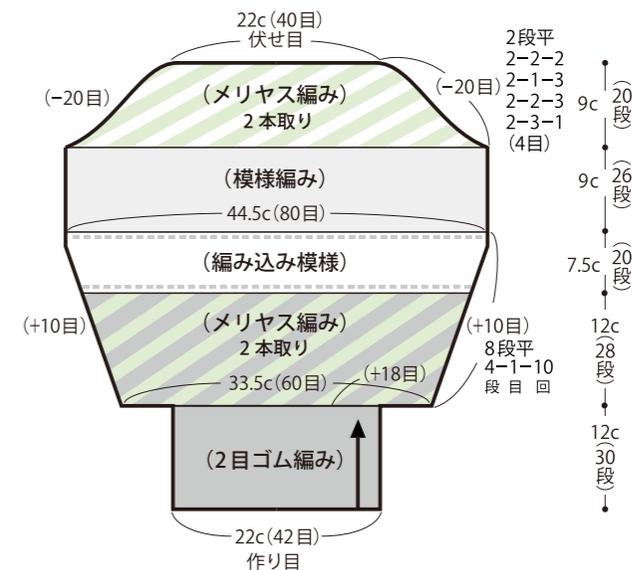
- 前後身頃は指でかける作り目をして2目ゴム編みで増し目をしながら編みます。続けて指示の通りに糸を替えて編みます。袖ぐり、衿ぐりは減目、肩は引き返し編み(P.40参照)で編みます。
- 袖は指でかける作り目をして2目ゴム編みで編みます。続けて指示の通りに糸を替えて袖下を増し目しながら編みます。編み終わりは伏せ目にします。
- 肩はかぶせはぎにします。
- 衿は前後身頃から目を拾い、輪にして1目ゴム編みで編みます。編み終わりは1目ゴム編み止めにします。
- 脇と袖下はすくいとじ、袖は身頃に引き抜きとじでつけます。



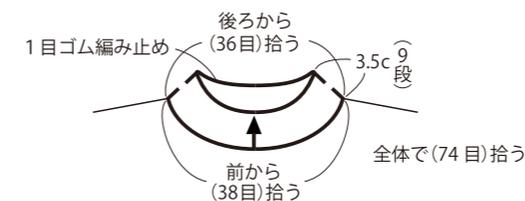
- ★ 2段平
3-1-2
2-1-1
1-1-2
2-2-1
- 15.5c(28目) ● 15.5c(28目) ● 15.5c(28目) ●
- 15.5c(28目) ● 15.5c(28目) ● 15.5c(28目) ●
- 〔配色〕
- = ランプイエメリノウール ペールイエロー
 - = 2本取り (メリノスタイル並太 きなり + ダルシャン合細モヘア ライトパープル)
 - = ランプイエメリノウール ペールイエロー
 - = メリノスタイル並太 きなり、手つむぎ風タム糸 トマト
 - = 2本取り (メリノスタイル並太 チョコレート + ダルシャン極細 ライトイエロー)
 - = メリノスタイル並太 チョコレート

※デザイン上、風合いを重視しているため
各編地毎にゲージが異なり凹凸があります。

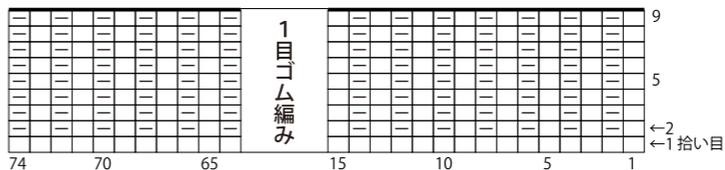
〔袖〕 同じものを2枚編む



〔衿〕 (1目ゴム編み) メリノスタイル並太 きなり 1本取り

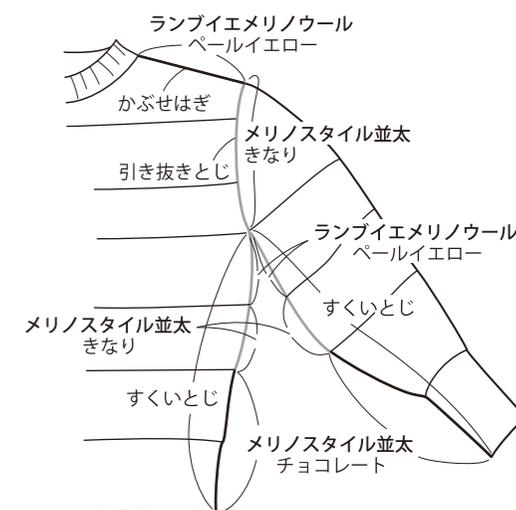


〔衿〕

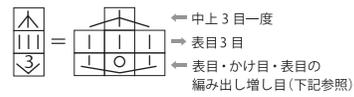


〔仕上げ〕

指示の糸・色で仕上げる



2本取り {
 メリノスタイル並太 きなり
 +
 ダルシャン合細モヘア ライトパープル



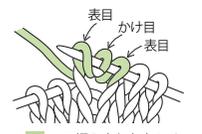
編み出し増し目



1 表目を編むように針を入れて糸を引き出す (1 目め)。



2 かけ目 (2 目め) をし、同じ目からもう 1 目を引き出す (3 目め)。



3 3 目編み出したところ。

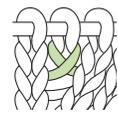
ランブイエメリノウール
 ペールイエロー

□ = メリノスタイル並太 きなり
 ■ = 手つむぎ風タム糸 トマト

2本取り {
 メリノスタイル並太 チョコレート
 +
 ダルシャン極細 ライトイエロー

〈左側〉

○ 右ねじり増し目



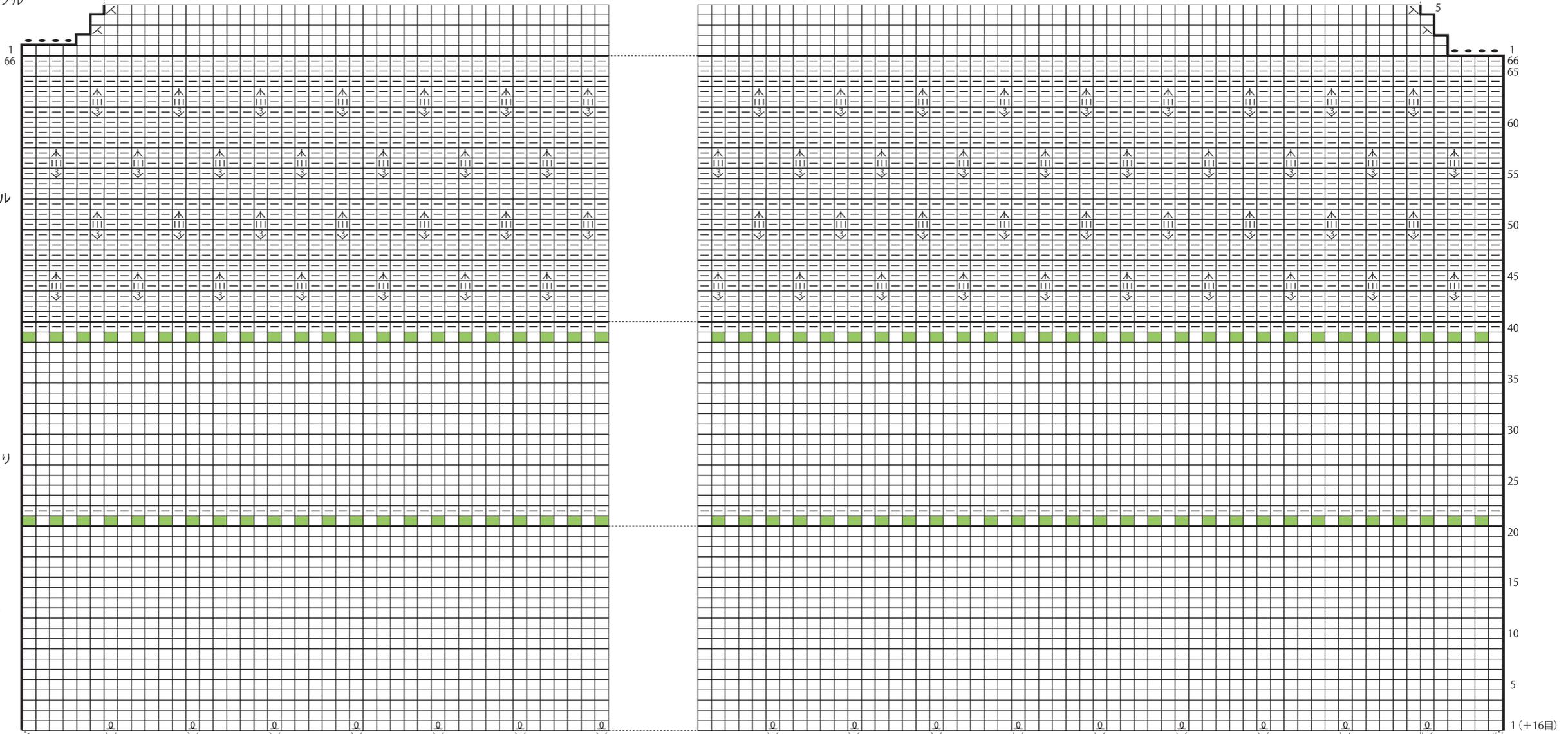
○ 裏目の右ねじり増し目



メリノスタイル並太 チョコレート

□ = 1 表目

〈前後身頃〉



増し目
 くり返し

〈右側〉
 ○ 左ねじり増し目



○ 裏目の左ねじり増し目



→2
 ←1 作り目

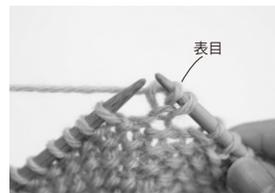
肩の編み方



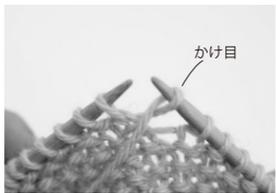
1 引き返しの手前まで編んだところ。編地を返す。



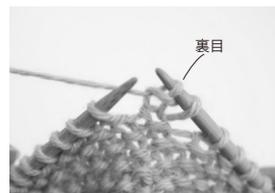
2 針に糸をかけて(かけ目)、次の目はすべり目をせずに模様(表目)を編む。



3 編んだところ。続きを編む。



4 針に糸をかけて(かけ目)、次の目はすべり目をせずに模様(裏目)を編む。

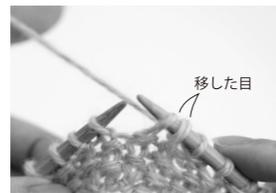


5 編んだところ。続きを編む。記号図に合わせて編み進めていく。

段消し(右側)



1 かけ目の手前まで編み進めたところ。左針の2目にそれぞれ矢印のように針を入れて右針へ移す。(目を入れ替えるため)



2 移したところ。右針の2目に矢印のように針を入れて左針に戻す。(目を入れ替えられた)

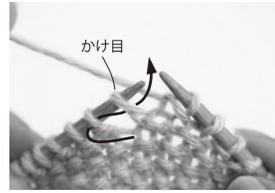


3 戻したところ。左針の2目に矢印のように針を入れて模様(表目)を編む。

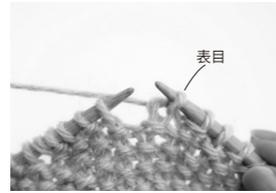


4 段消しが編めた。続けて記号図に合わせて段消しを編み進めていく。

段消し(左側)



1 かけ目の手前まで編み進めたところ。左針の2目に矢印のように針を入れて模様(表目)を編む。



2 段消しが編めた。記号図に合わせて段消しを編み進めていく。

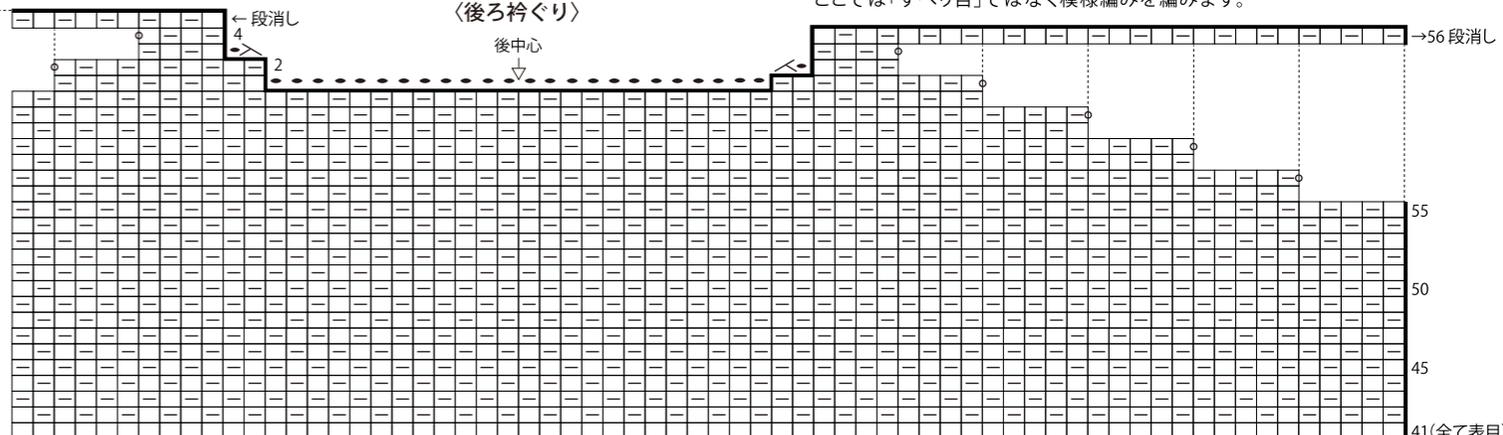
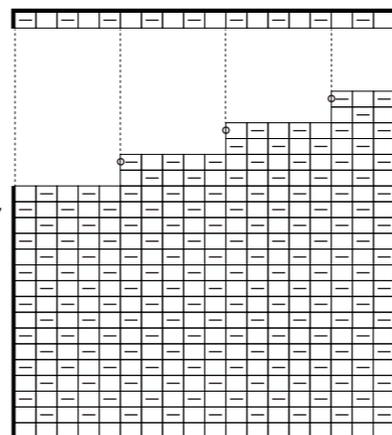
ランビエメリノウール
パールイエロー

ランビエメリノウール
パールイエロー

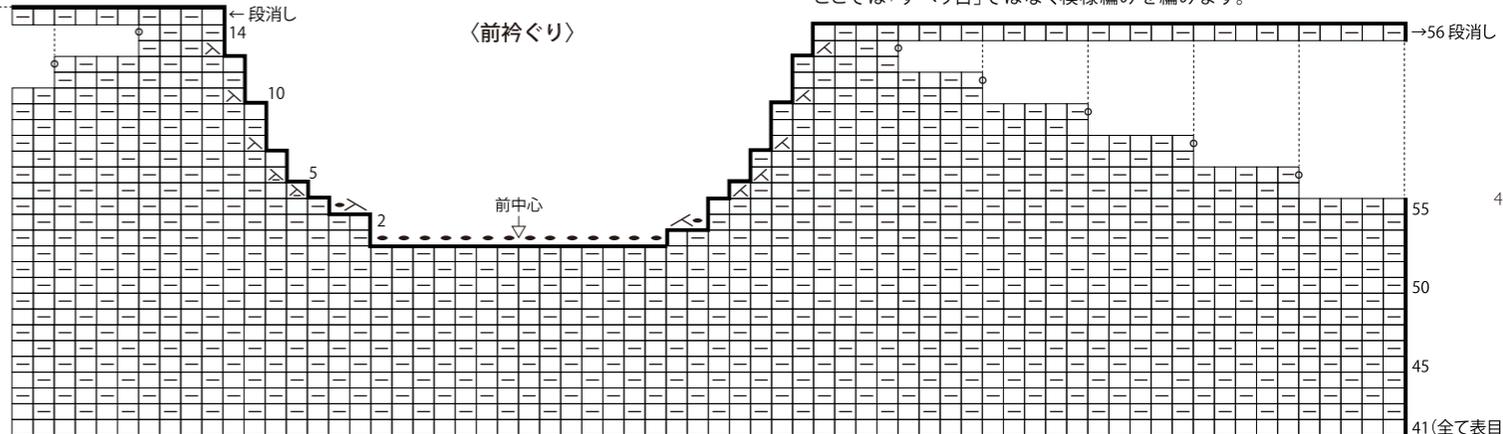
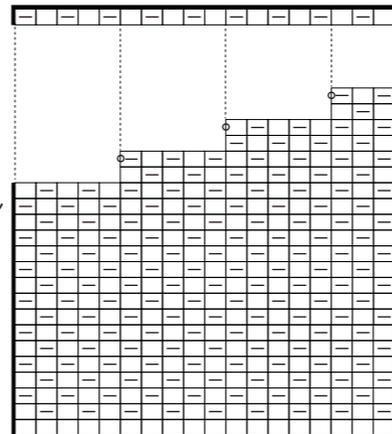
□ = メリノスタイル並太 きなり
■ = 手つむぎ風タム糸 トマト

2本取り {
メリノスタイル並太 きなり
+
ダルシャン合細モヘア
ライトパープル

□ = □ 表目



〈肩の編み方〉P.40参照
P.86,87の引き返し編みの説明は、かけ目の後「すべり目」ですがここでは「すべり目」ではなく模様編みを編みます。



〈肩の編み方〉P.40参照
P.86,87の引き返し編みの説明は、かけ目の後「すべり目」ですがここでは「すべり目」ではなく模様編みを編みます。

中心

〈袖〉

2本取り { メリノスタイル並太 きなり + ダルシャン合細モヘア ライトパープル

ランプイエメリノウール
ペールイエロー

□ = メリノスタイル並太 きなり
■ = 手つむぎ風タム系 トマト

2本取り { メリノスタイル並太 チョコレート + ダルシャン極細 ライトイエロー

〈左側〉
○ 右ねじり増し目



メリノスタイル並太 チョコレート

2目ゴム編み

42 40 35 30 25 20 17
□ = 表目

←伏せ目
20
15
10
5

中上3目一度
表目3目
表目・かけ目・表目の
編み出し増し目(下記参照)

編み出し増し目



1 表目を編むように針を入れて糸を引き出す(1目め)。
2 かけ目(2目め)をし、同じ目からもう1目を引き出す(3目め)。
3 3目編み出したところ。

47 編み込みは □メリノスタイル並太からスタート

30 29 28 編み込みは □メリノスタイル並太からスタート

〈右側〉
○ 左ねじり増し目



20
17
5
→2
←1作り目

16 15 10 5 1

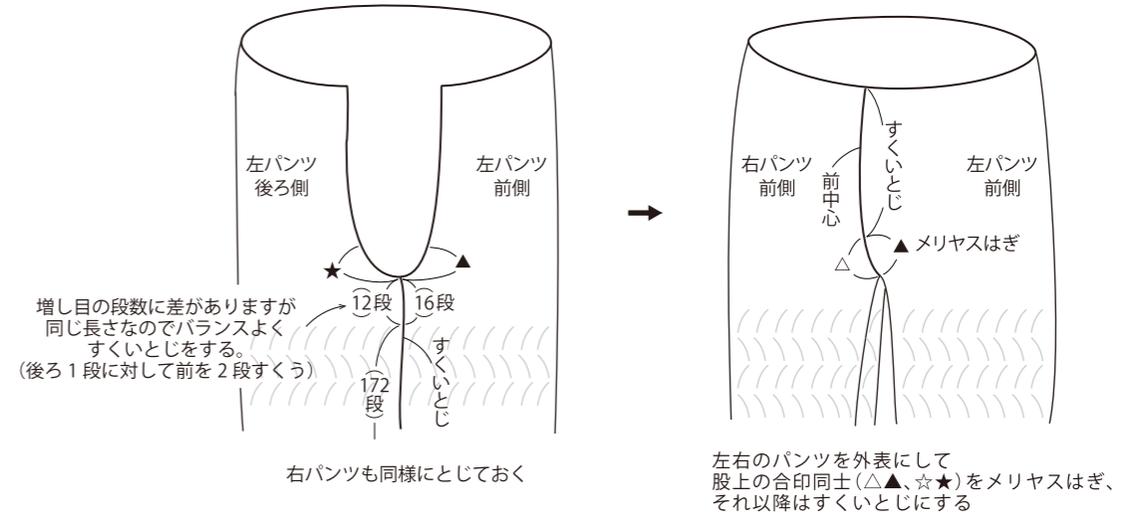
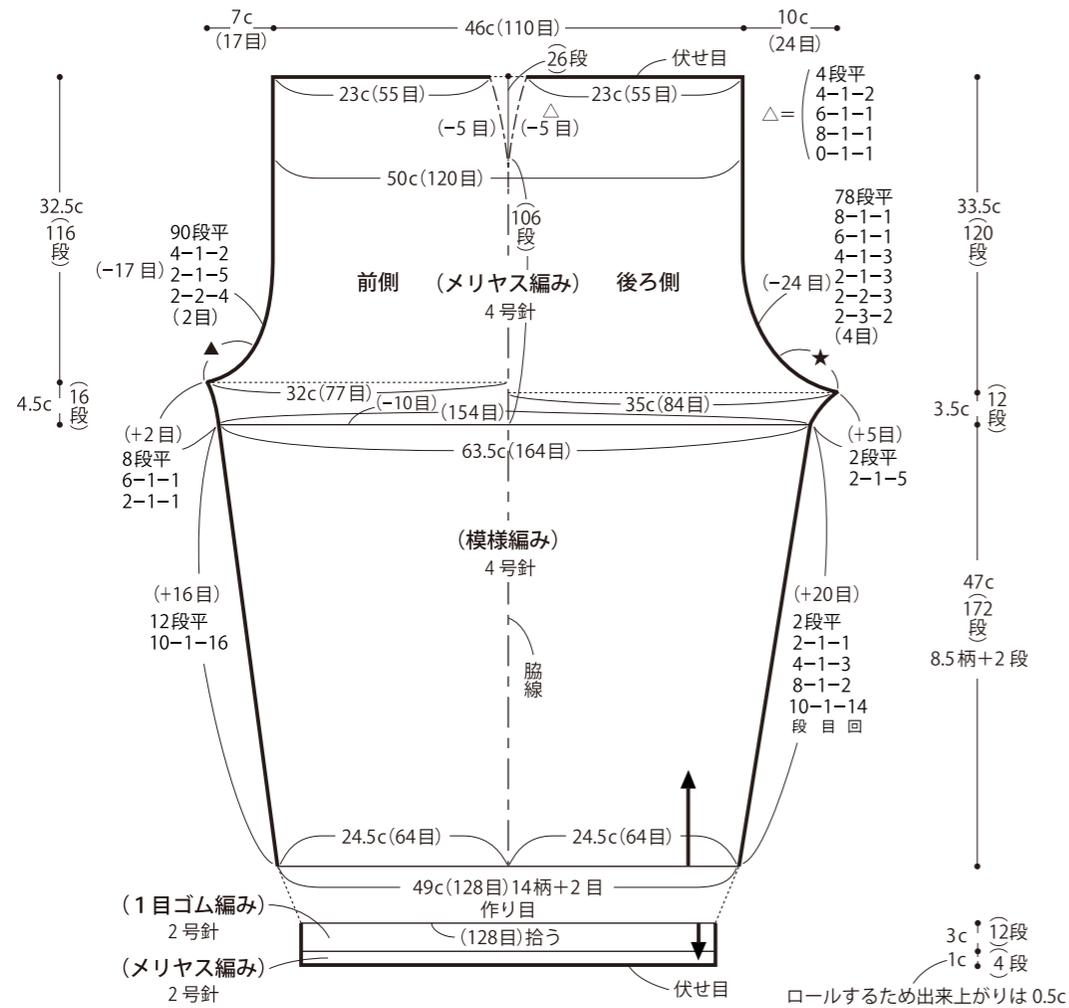
うろこ雲のニットパンツ

- [使用糸] ランプイエメリノウール きなり(1)…485g(10玉)
- [使用針] 4号2号玉付き2本棒針、4号輪針または4本棒針、6/0号かぎ針
- [付属品] ゴムテープ白3cm幅 70cm
- [ゲージ] メリヤス編み 10cm角24目×35.5段、模様編み 10cm角26目×36.5段、1目ゴム編み 10cm=34目
- [できあがり寸法] 丈 87.5cm+ベルト 3.5cm、胴囲 68cm、腰囲 100cm

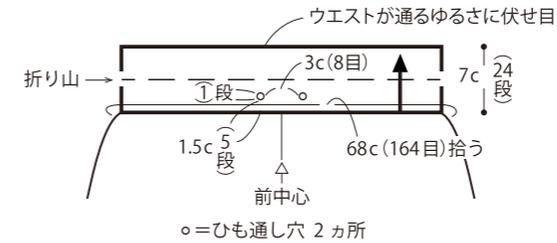
編み方要点

- 1 左右パンツは別鎖の作り目をして増し目をしながら模様編みで編みます。模様編みを編み終わったらメリヤス編みの1段めで減目をして続けて編みます。脇の減目は脇線を挟んで向かい合うように減目をします。編み終わりは伏せ目にします。
- 2 裾は作り目をほどき針に目を移して1目ゴム編みとメリヤス編みで編みます。編み終わりは伏せ目にします。
- 3 股下をすくいとじした後、股上は前同士、後ろ同士でメリヤスはぎとすくいとじでつなぎます。
- 4 ベルトは編み終わりから目を拾い、輪にして前中心にひも通し穴を作りながらメリヤス編みで編みます。編み終わりは腰が通るゆるさに伏せ目にします。輪にしたゴムテープを挟み込み、伏せ目の半目とパンツ側の伏せ目の半目をすくってまつります。
- 5 ひもは糸を2本取りにしてスレッドコードを編み、ベルトに通します。

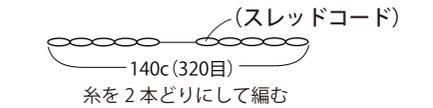
〈左パンツ〉※右パンツは左右対称に編む



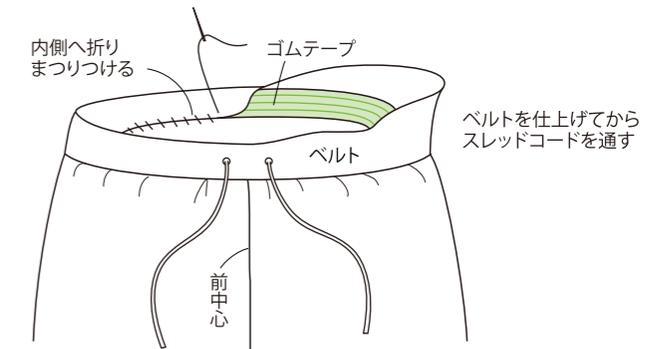
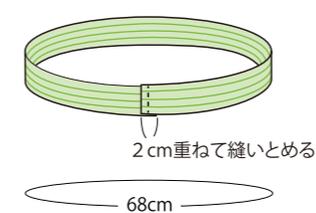
〈ベルト〉(メリヤス編み) 4号針



〈ひも〉1本 6/0号針

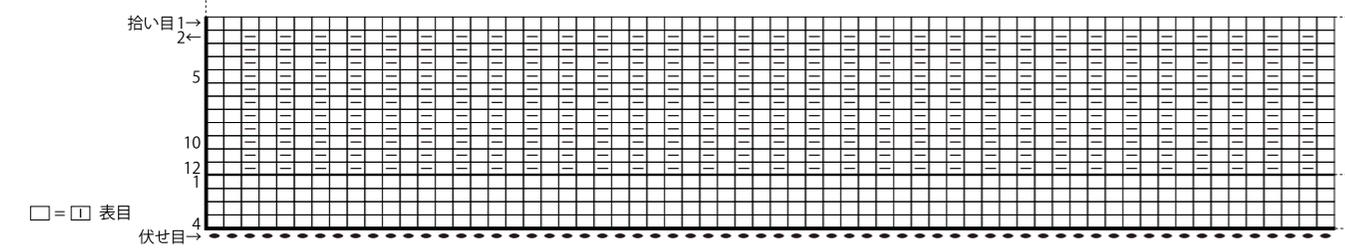
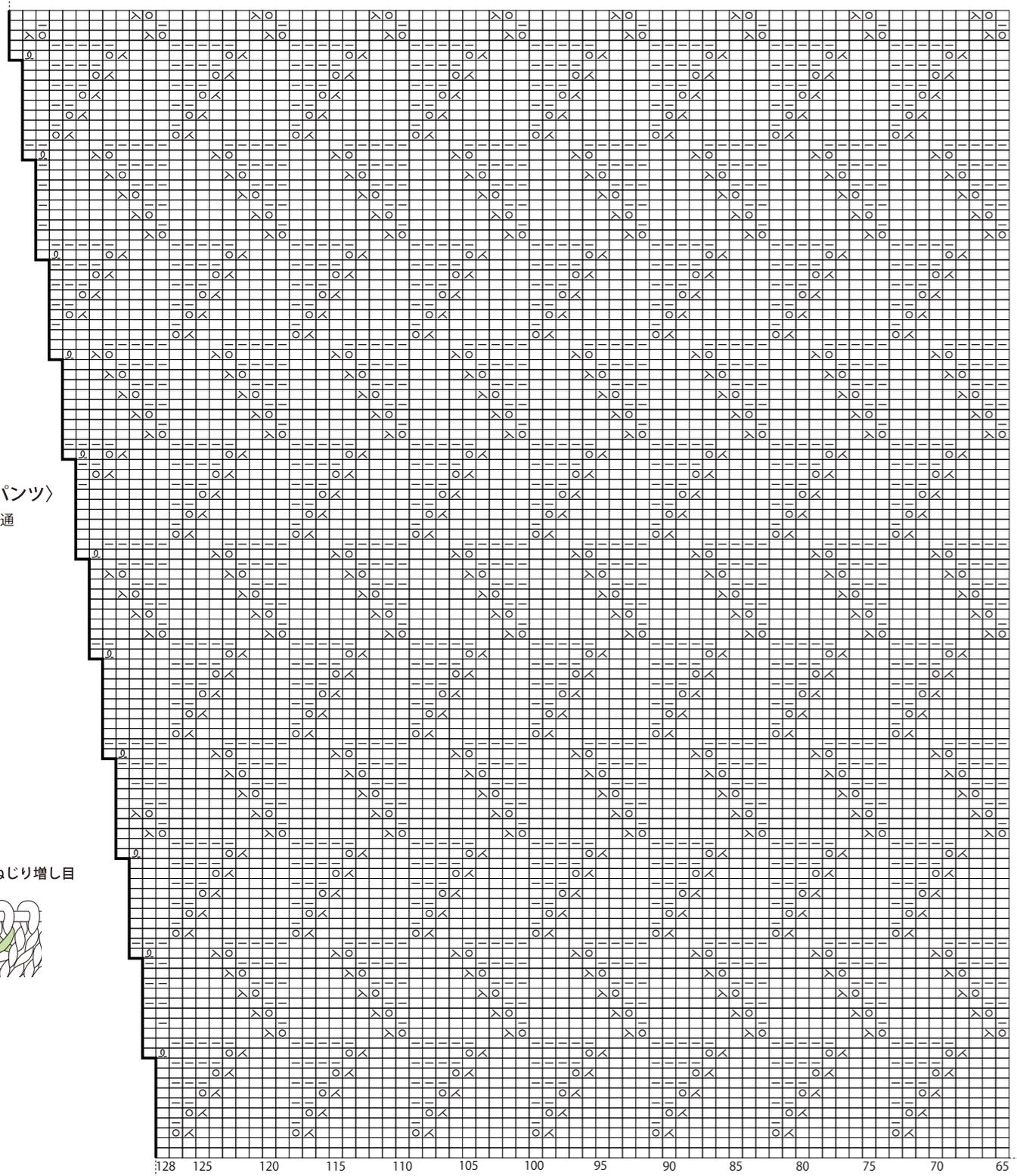


ゴムテープ 70cm 1本



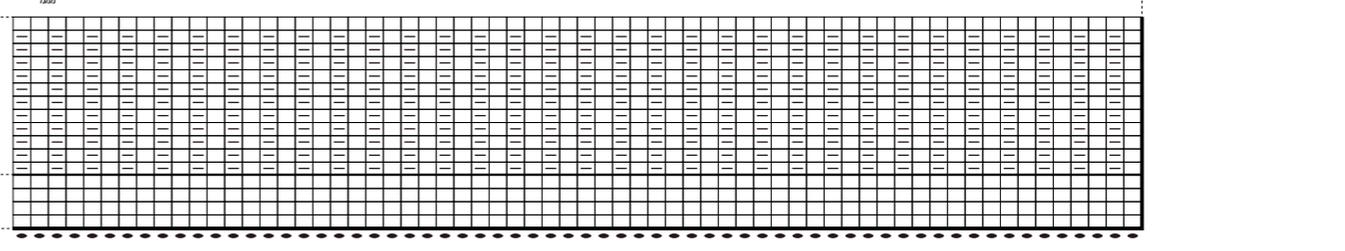
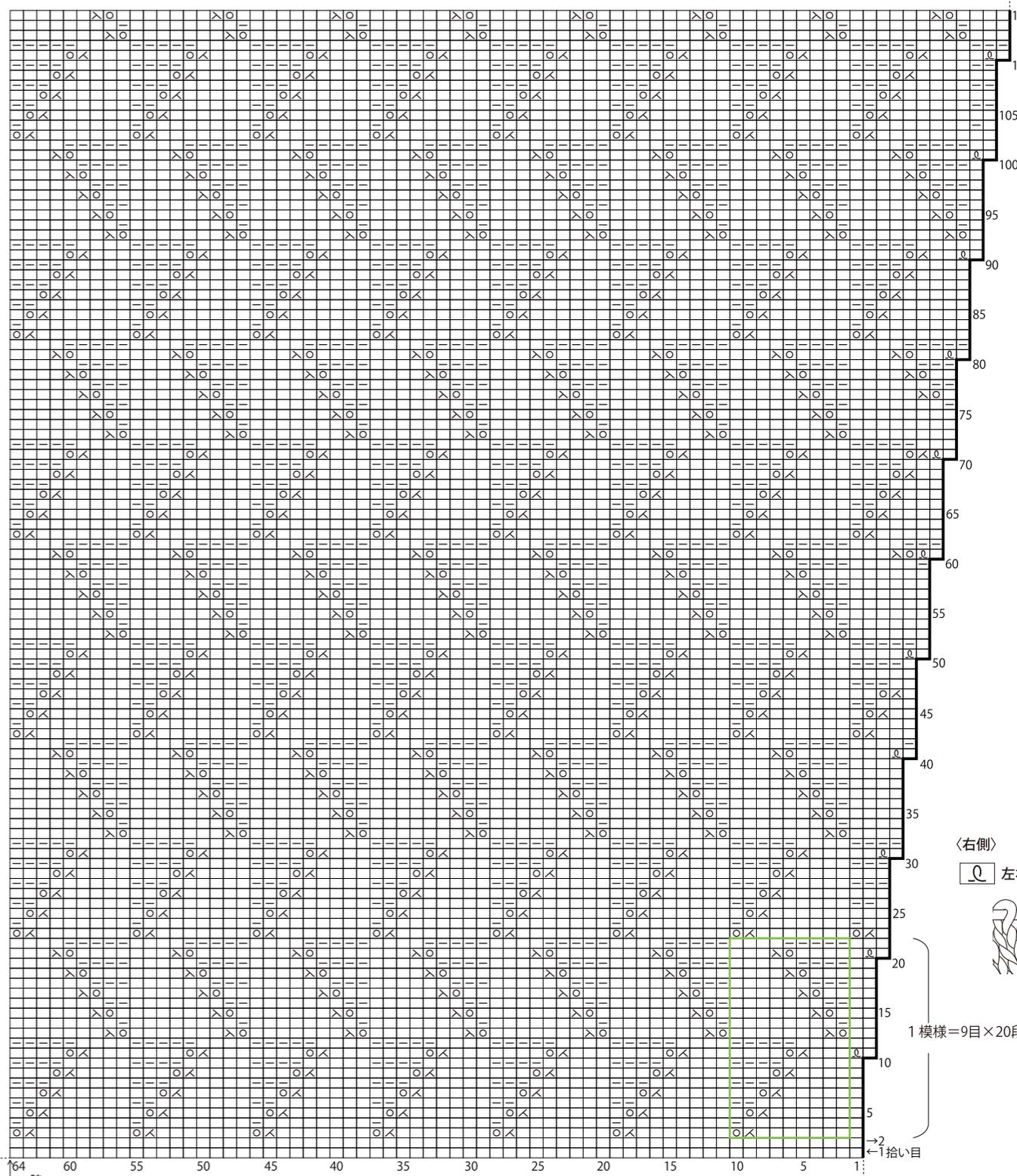
〈左右パンツ〉
共通

〈左側〉
〇 右ねじり増し目



□ = □ 表目
伏せ目

〈右側〉
〇 左ねじり増し目

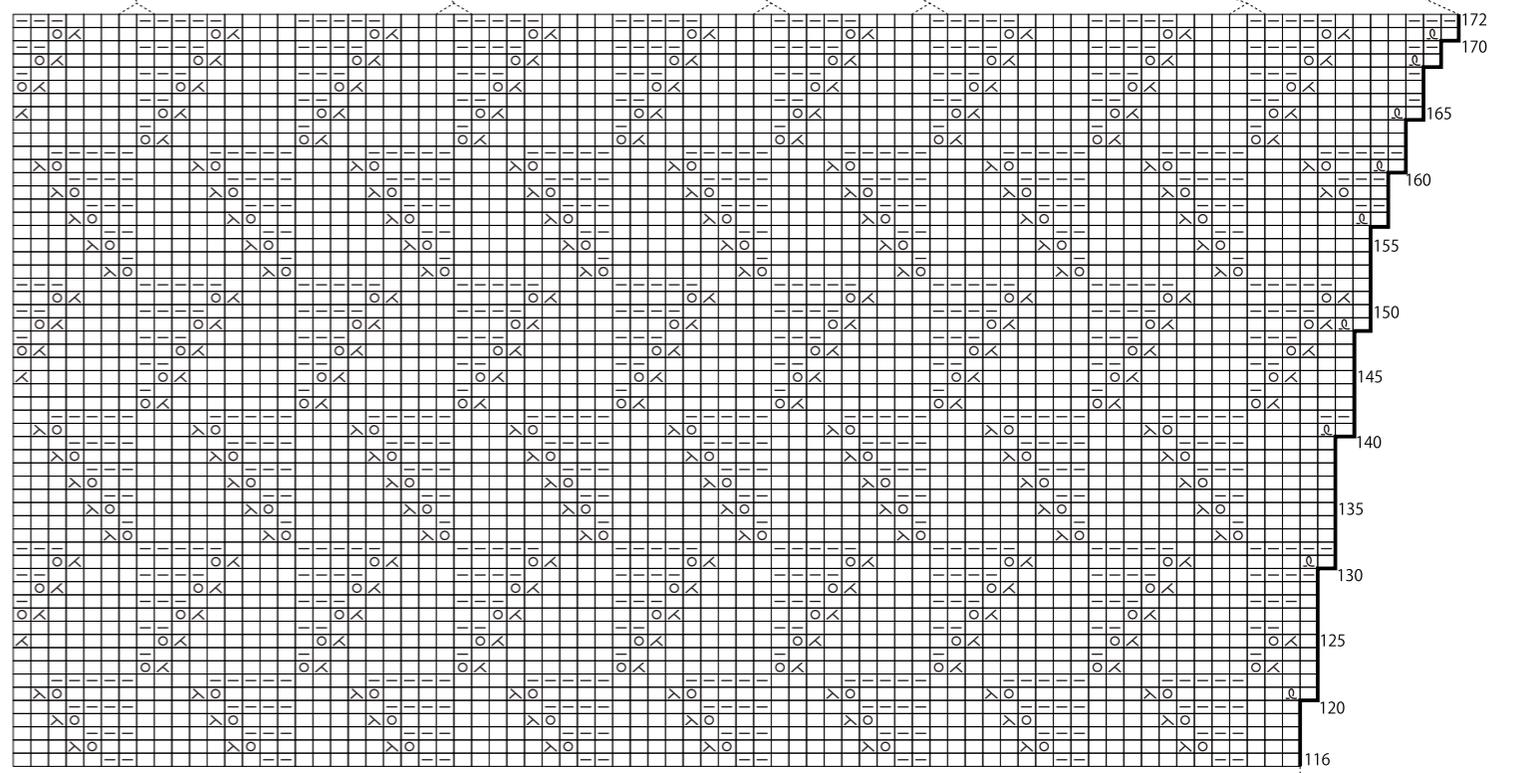
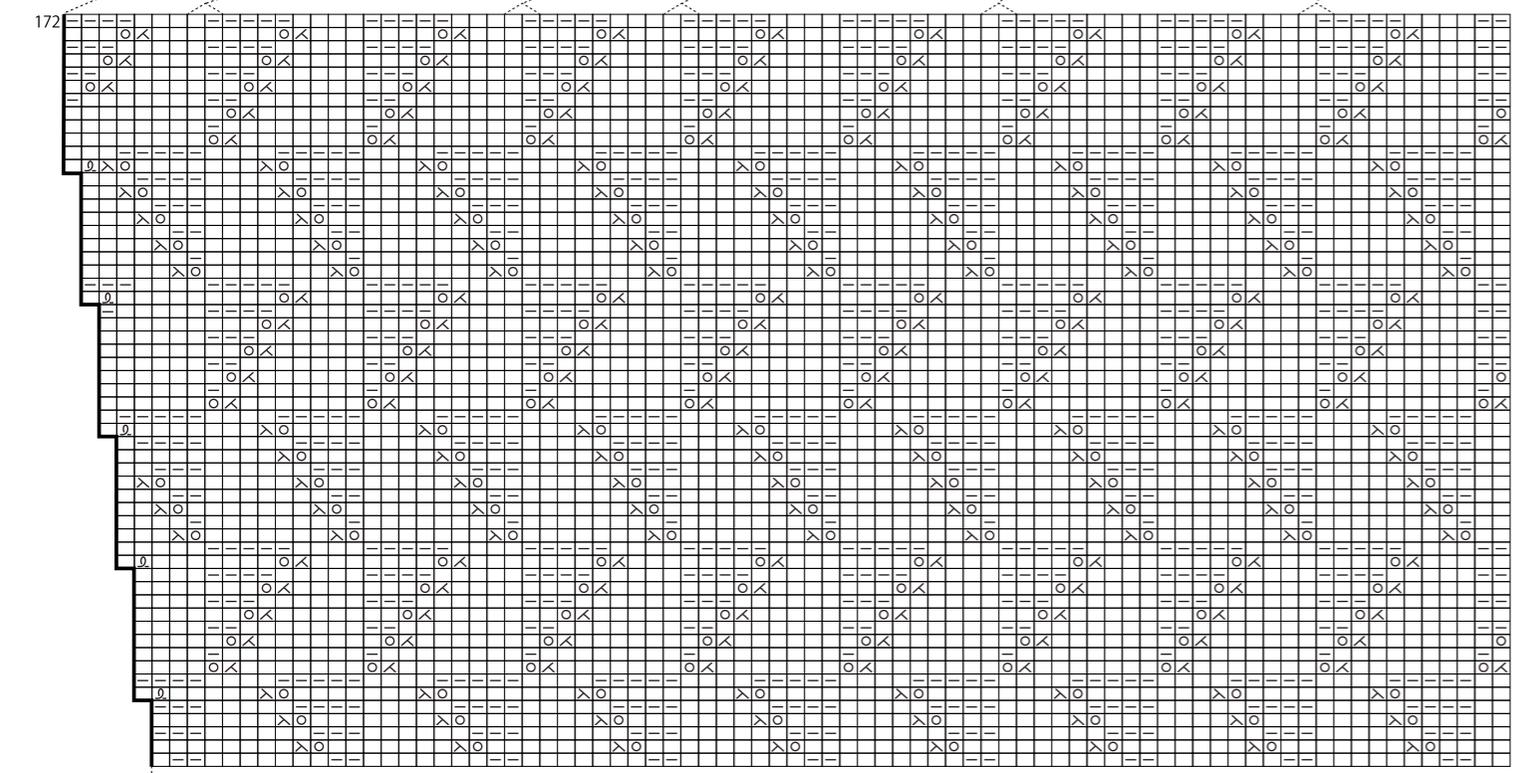
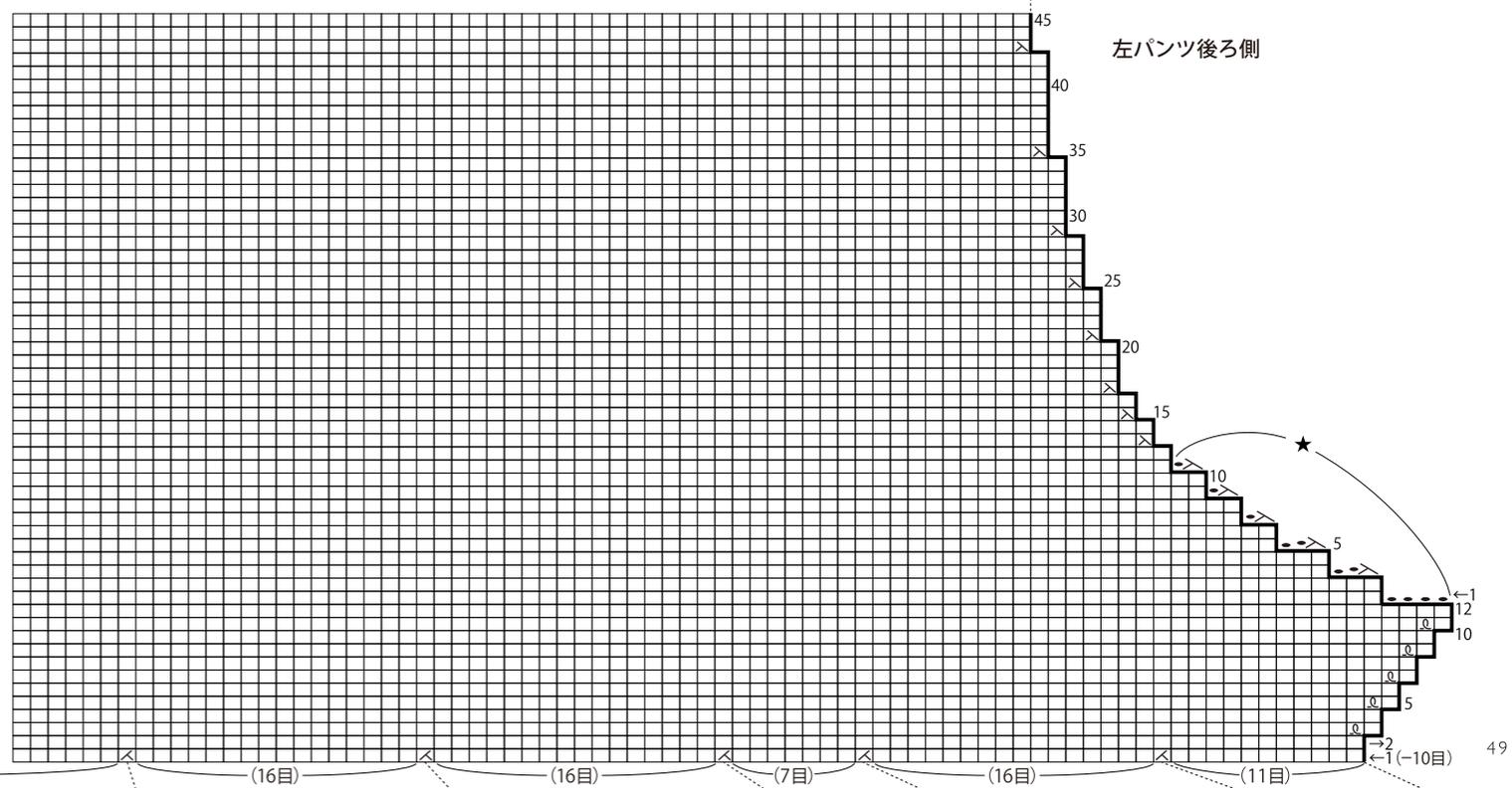
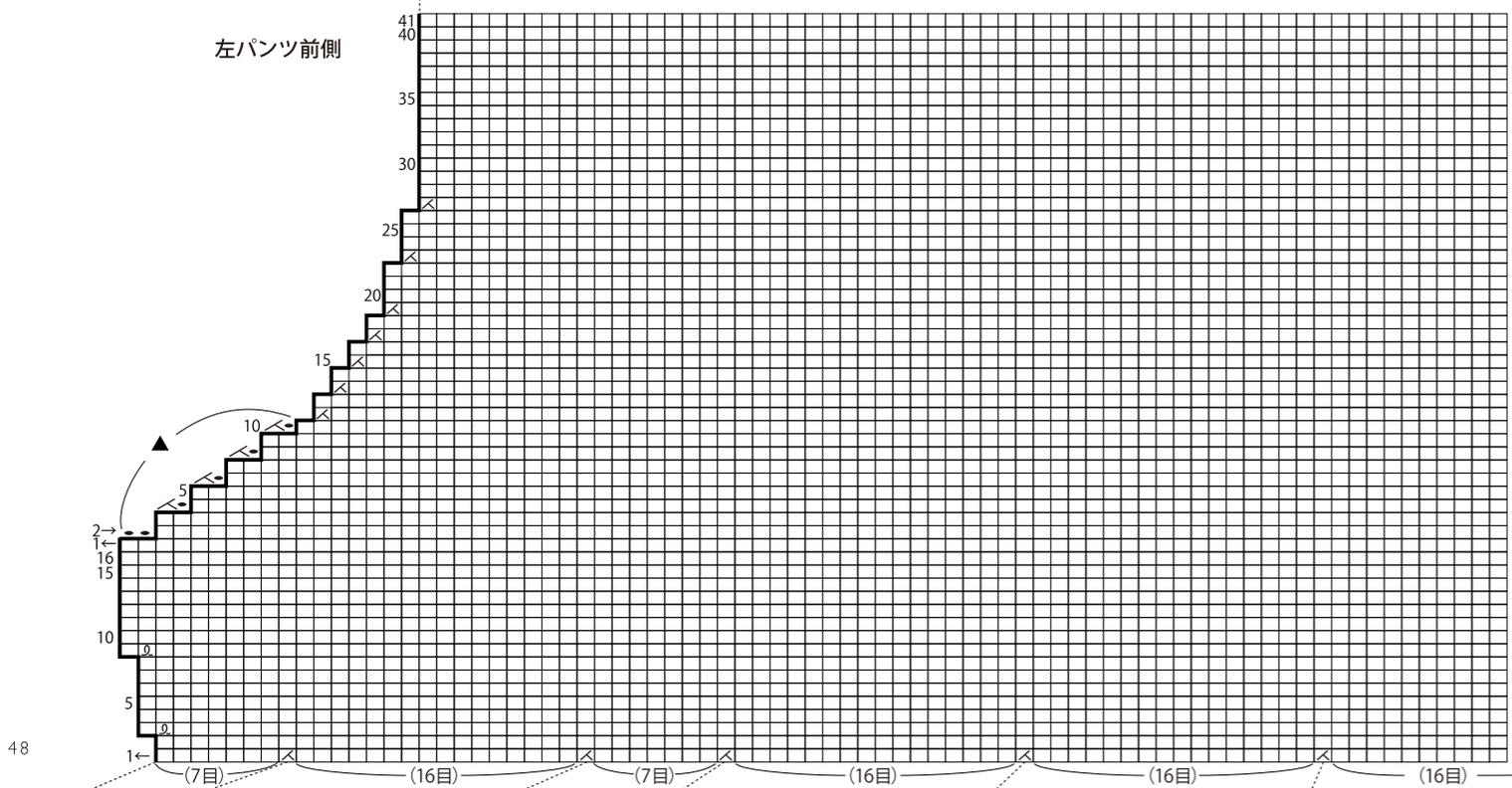


1 模様 = 9目 × 20段

→2
←1 拾い目

左パンツ前側

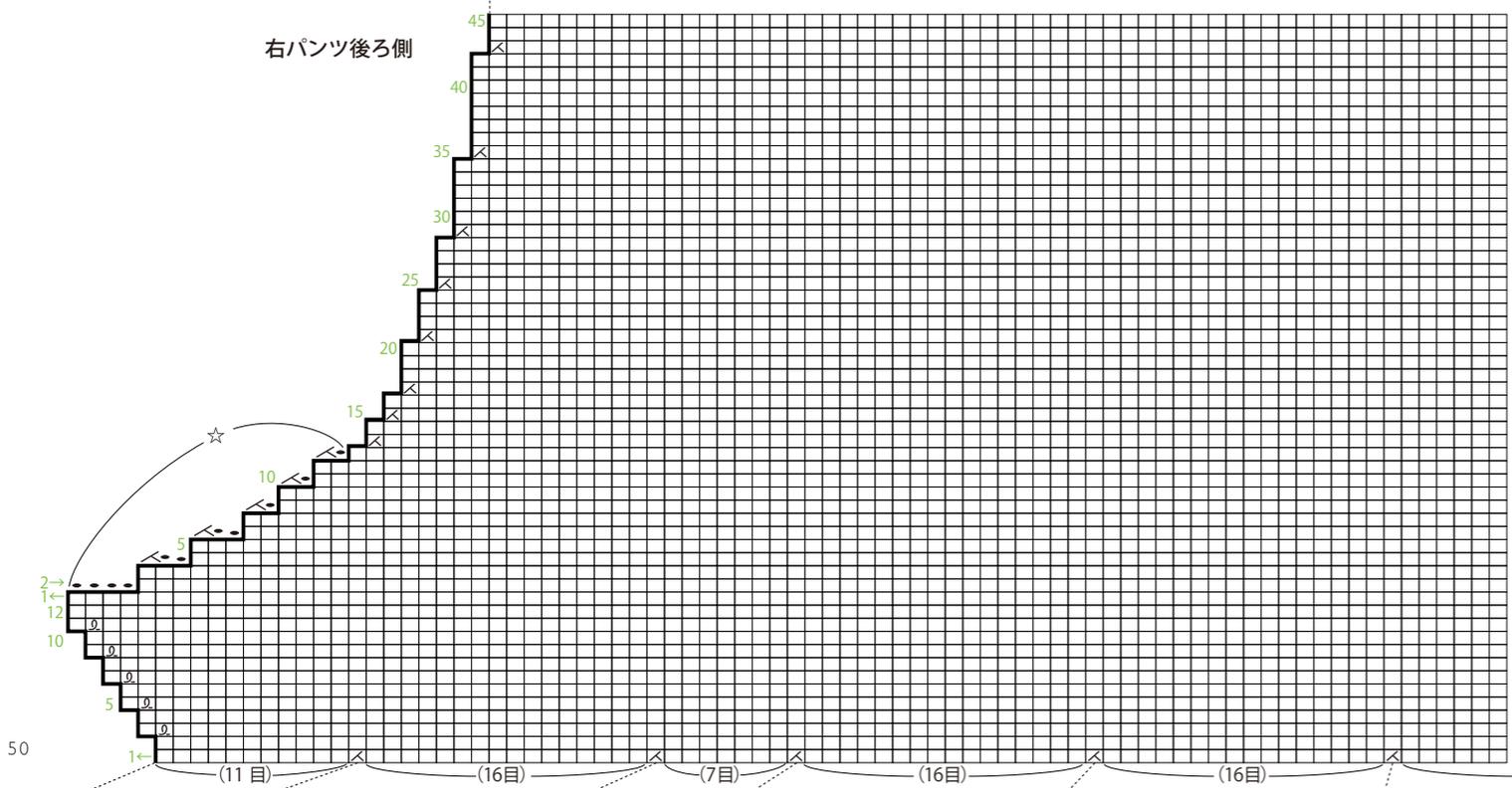
左パンツ後ろ側



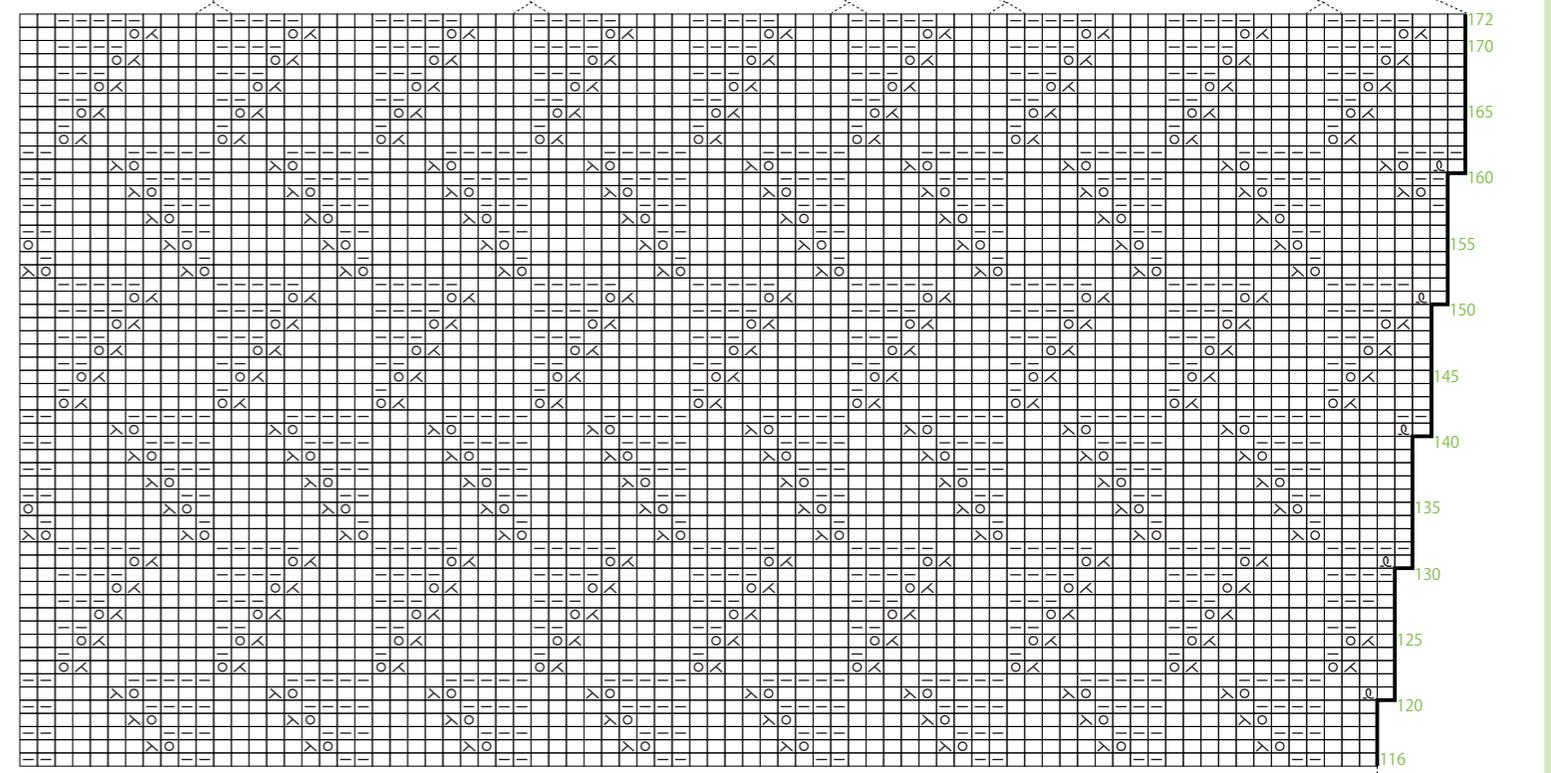
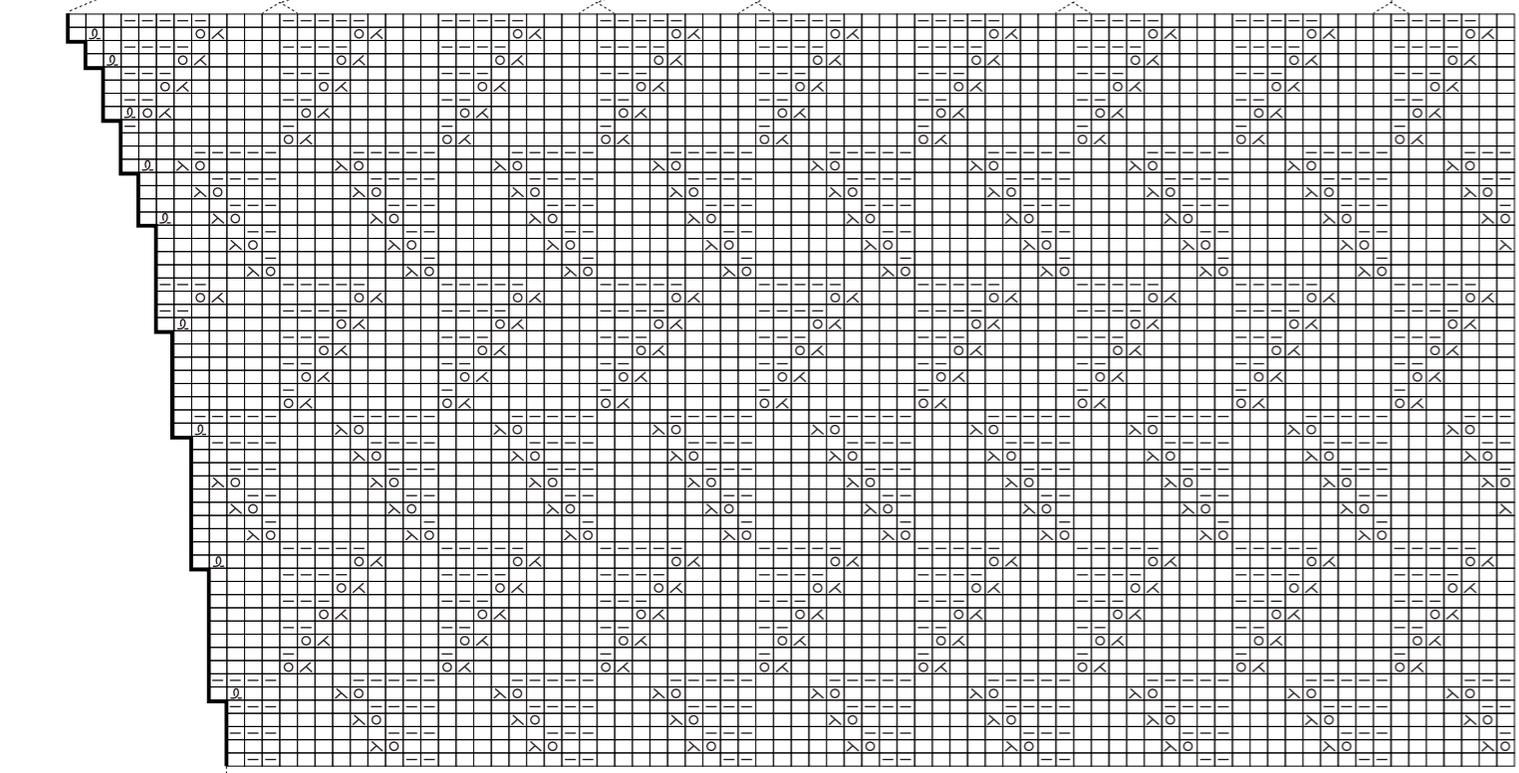
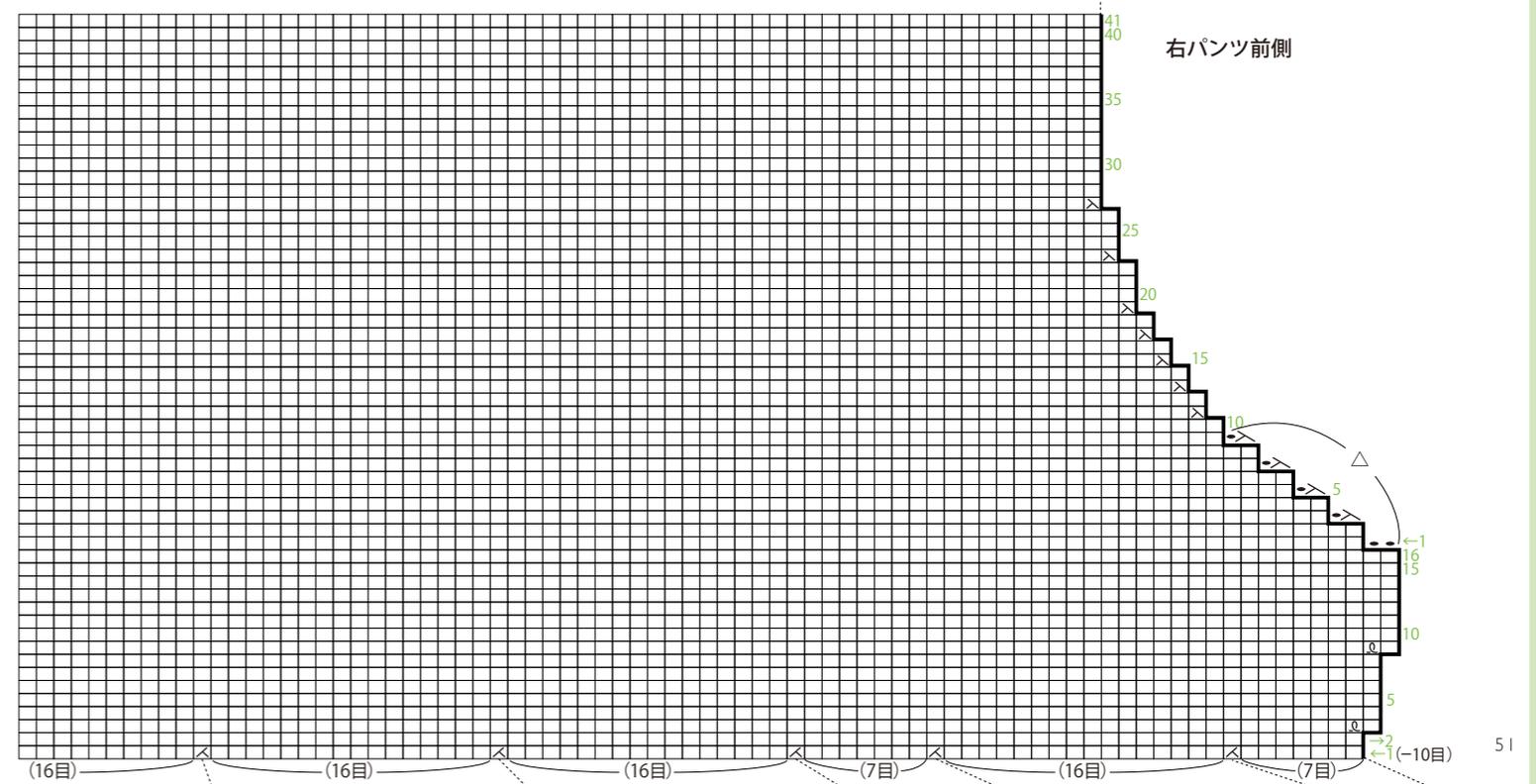
□=□表目

〈左パンツ〉

右パンツ後ろ側

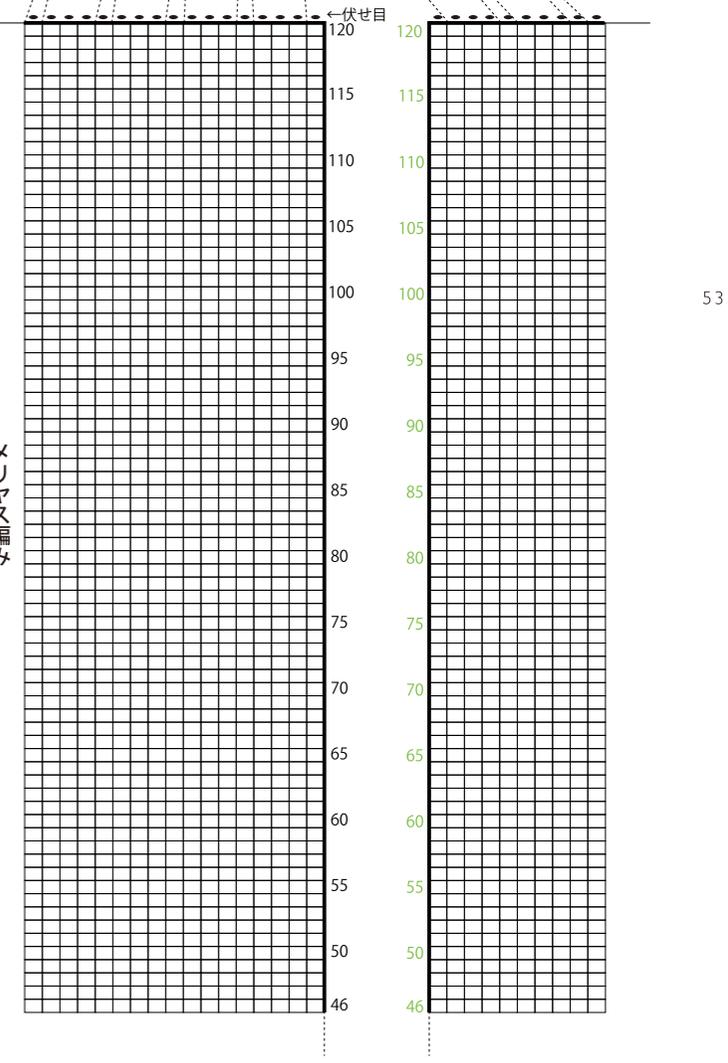
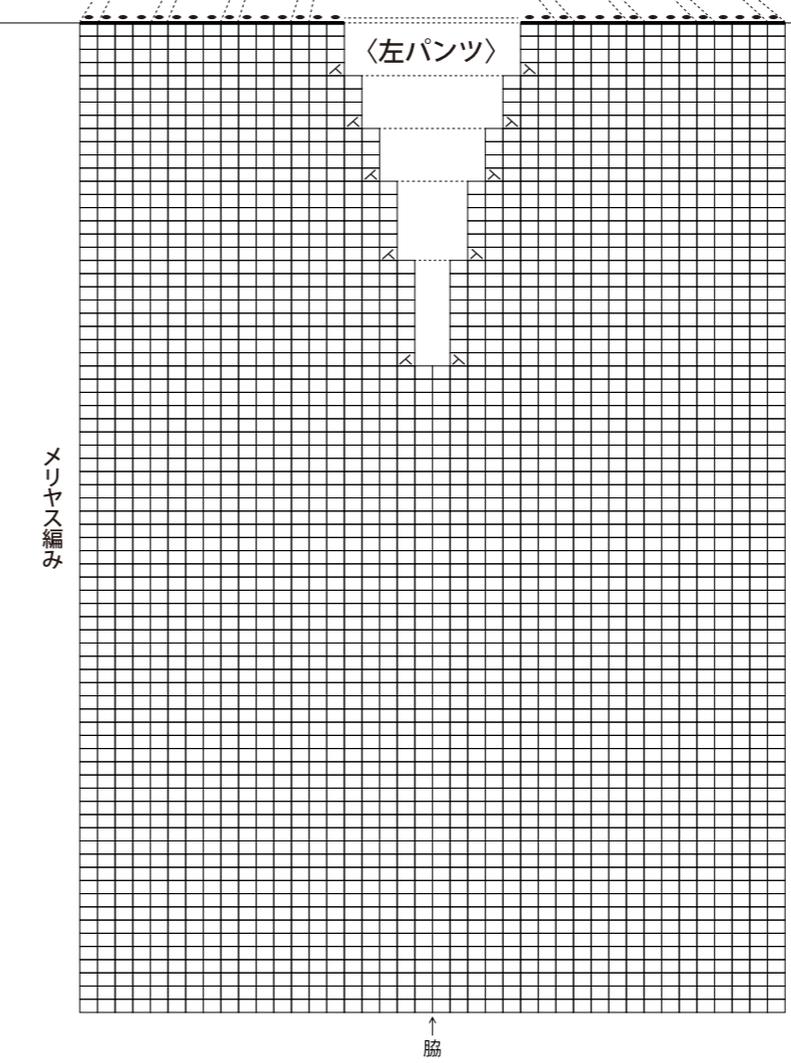
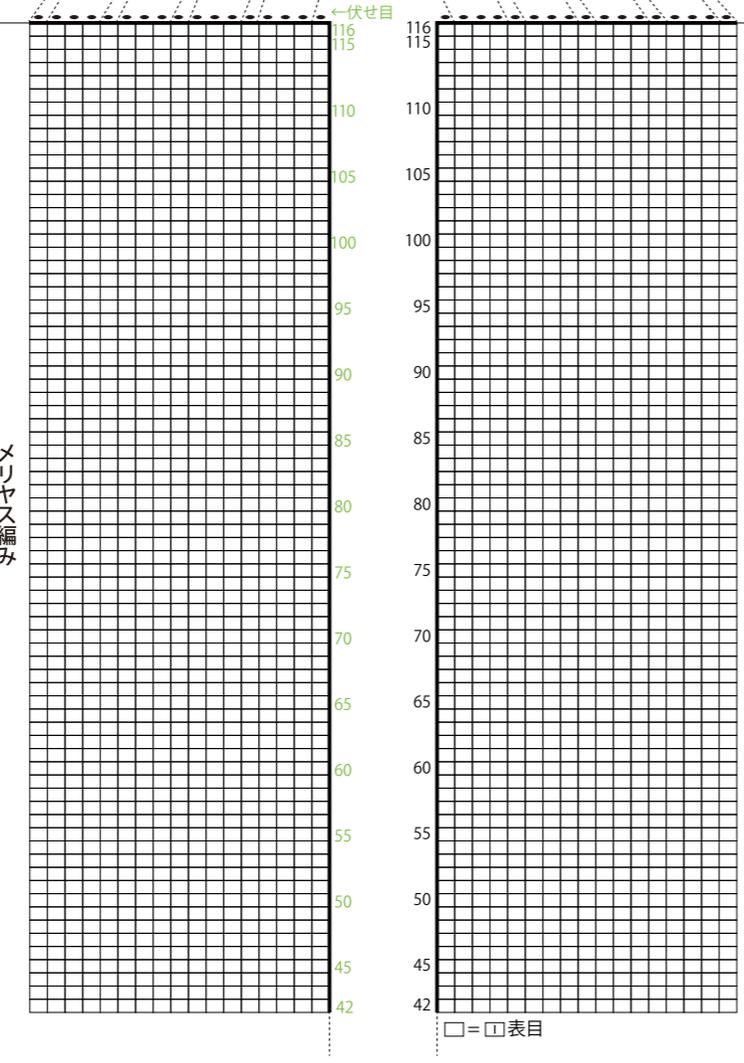
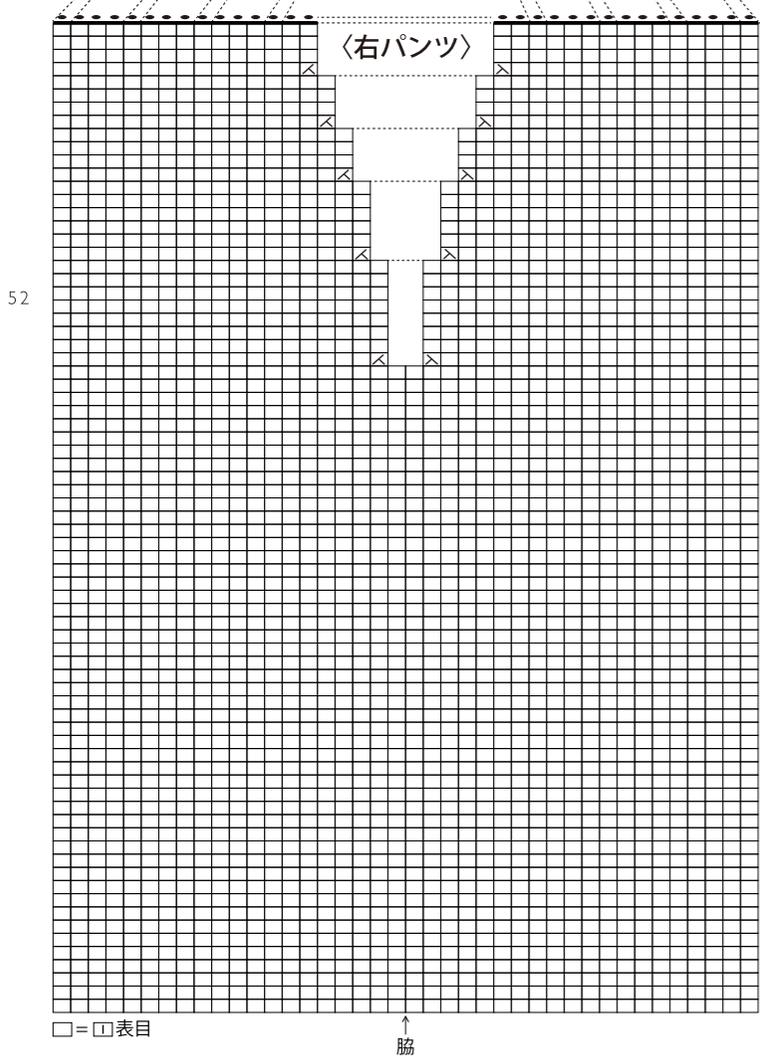
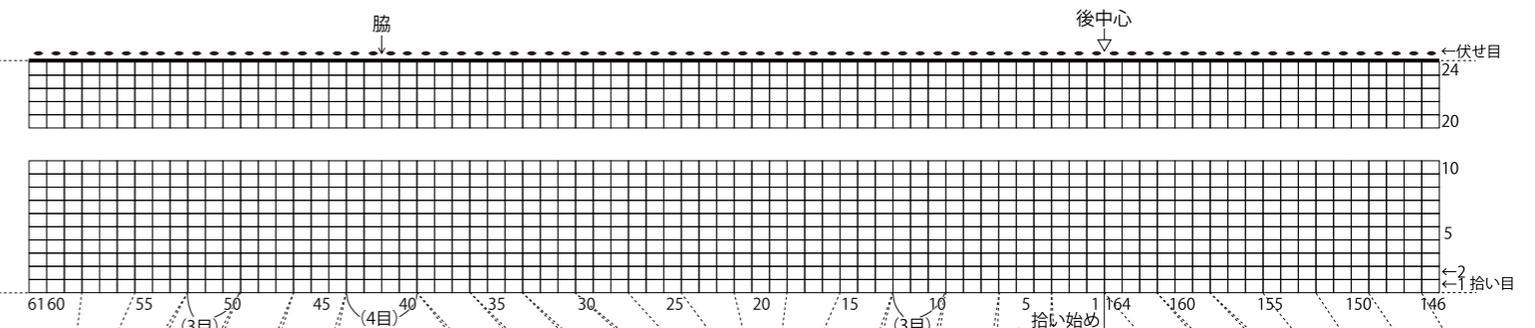
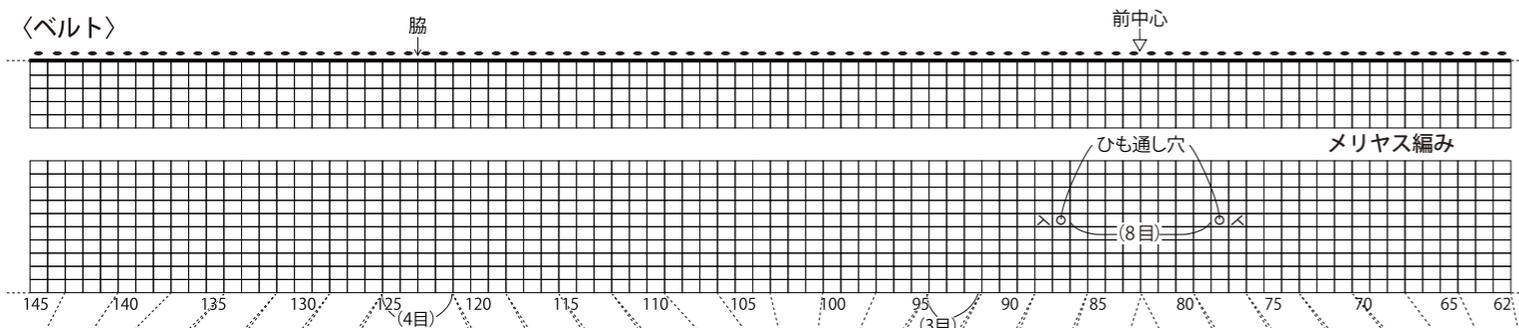


右パンツ前側



□ = □表目

〈右パンツ〉

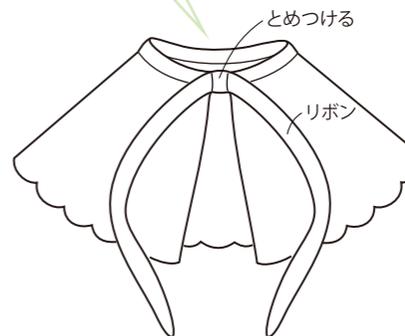
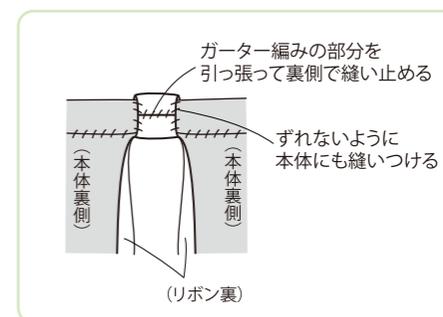
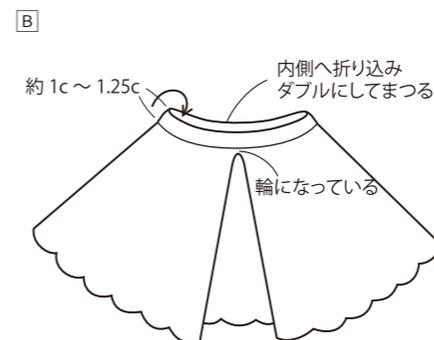
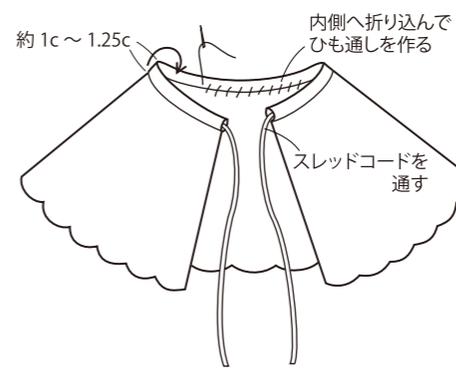
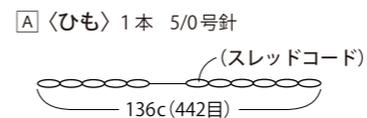
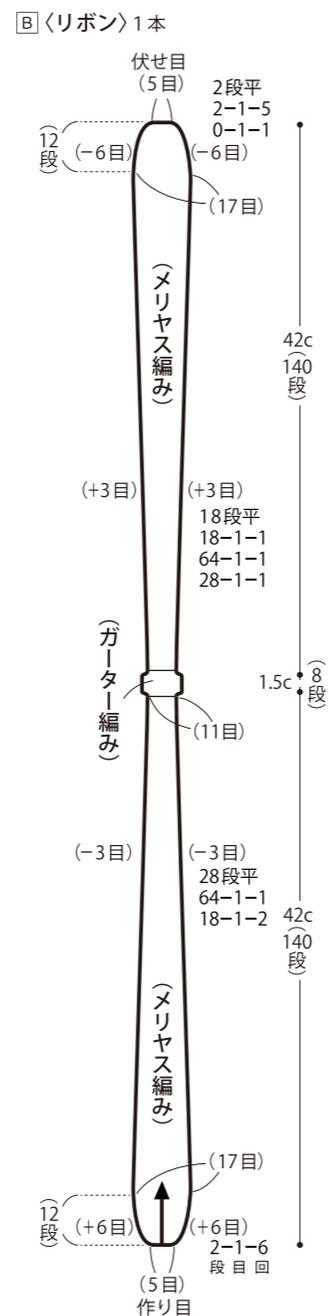
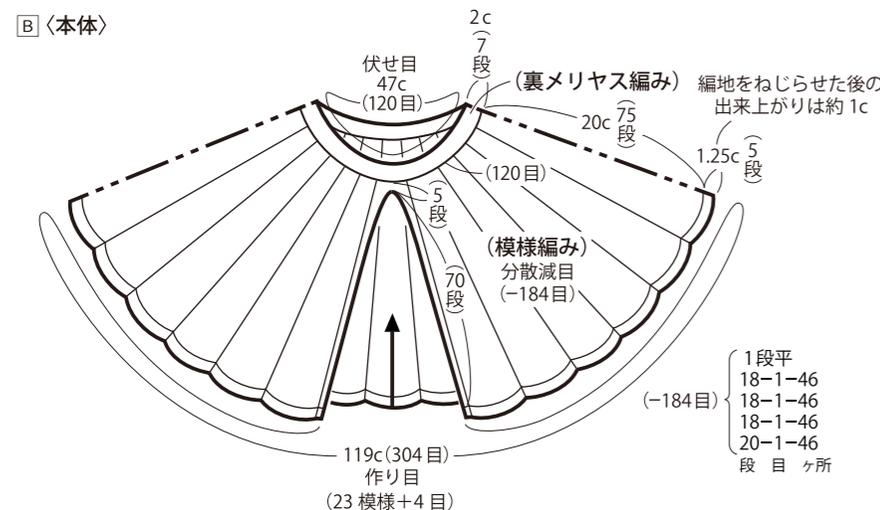
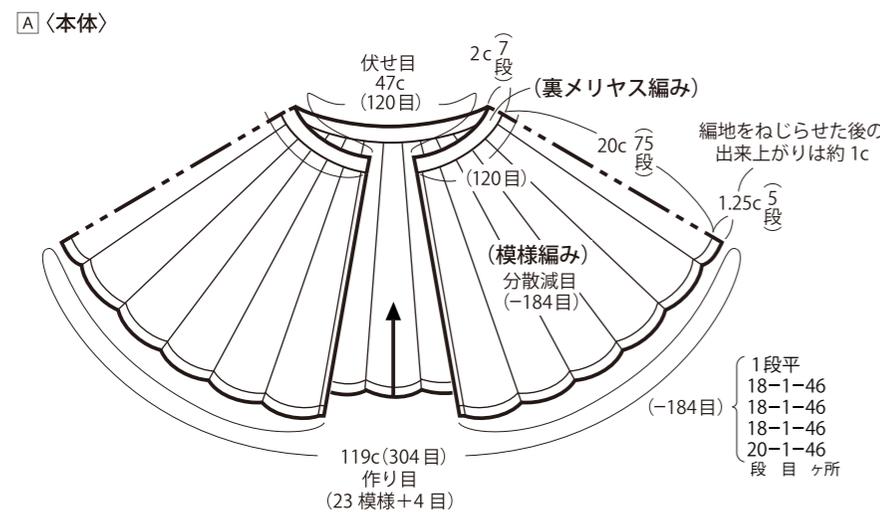


貝がらのつけ衿 A B

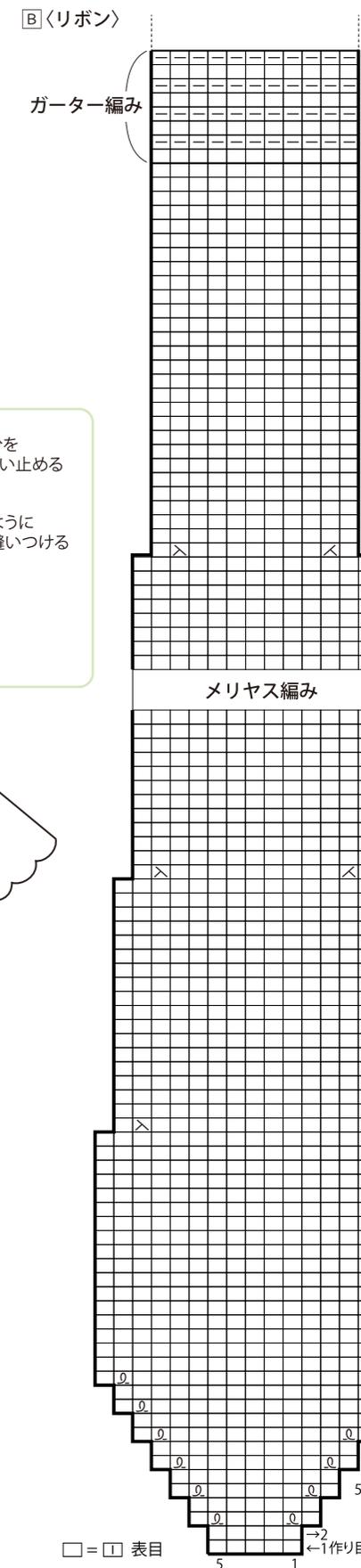
- [使用糸] ランブイエメリノウール ㊦きなり(1)…110g(3玉)、㊨ダークネイビー(11)…125g(3玉)
- [使用針] 4号80cm輪針(㊨の場合4号4本棒針もあれば編みやすい)、5/0号かぎ針(㊦スレッドコード)
- [ゲージ] 模様編み10cm角25.5目×37.5段、メリヤス編み(㊨リボン)10cm=33.5段
- [できあがり寸法] 衿回り47cm、着丈約22cm、裾回り119cm

編み方要点

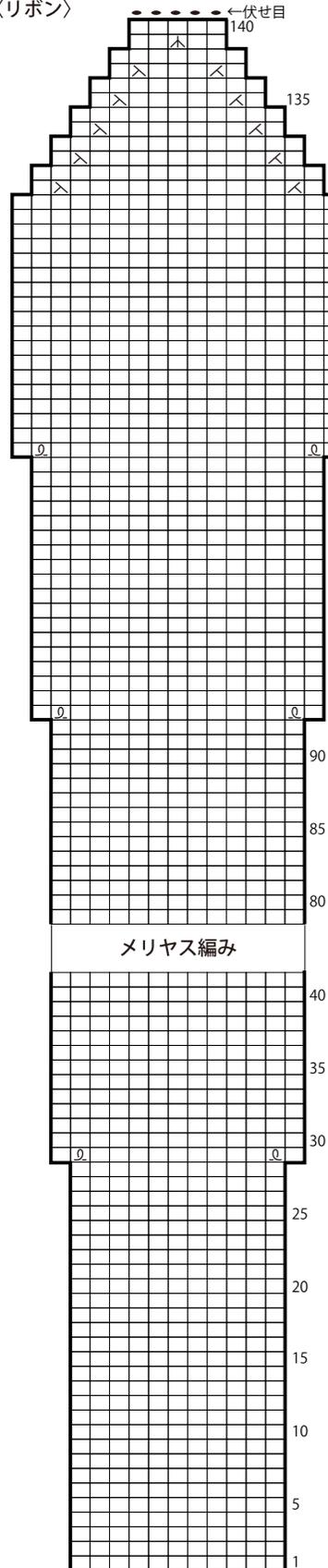
- 1 本体は指でかける作り目をして裏メリヤス編みと準備の段を編み、次の段で模様を編みながらスカラップ(●印の編み方 P.55 参照)をします。
- 2 続けて分散減目をしながら模様編みと裏メリヤス編みで編み、編み終わりは伏せ目にします。㊨は71段めから輪で編みます。
- 3 ㊦は裏メリヤス編み部分を内側に折り込み、まつり縫いをしてひも通し穴を作ります。スレッドコードを編み、通します。
- 4 ㊨も同様に裏メリヤス編み部分を内側に折り込み、ダブルにしてまつり縫いします。リボンは指でかける作り目をしてメリヤス編みで編みます。つけ位置にリボンの中心(ガーター編み部分)をくるんでずれないように縫いとめます。



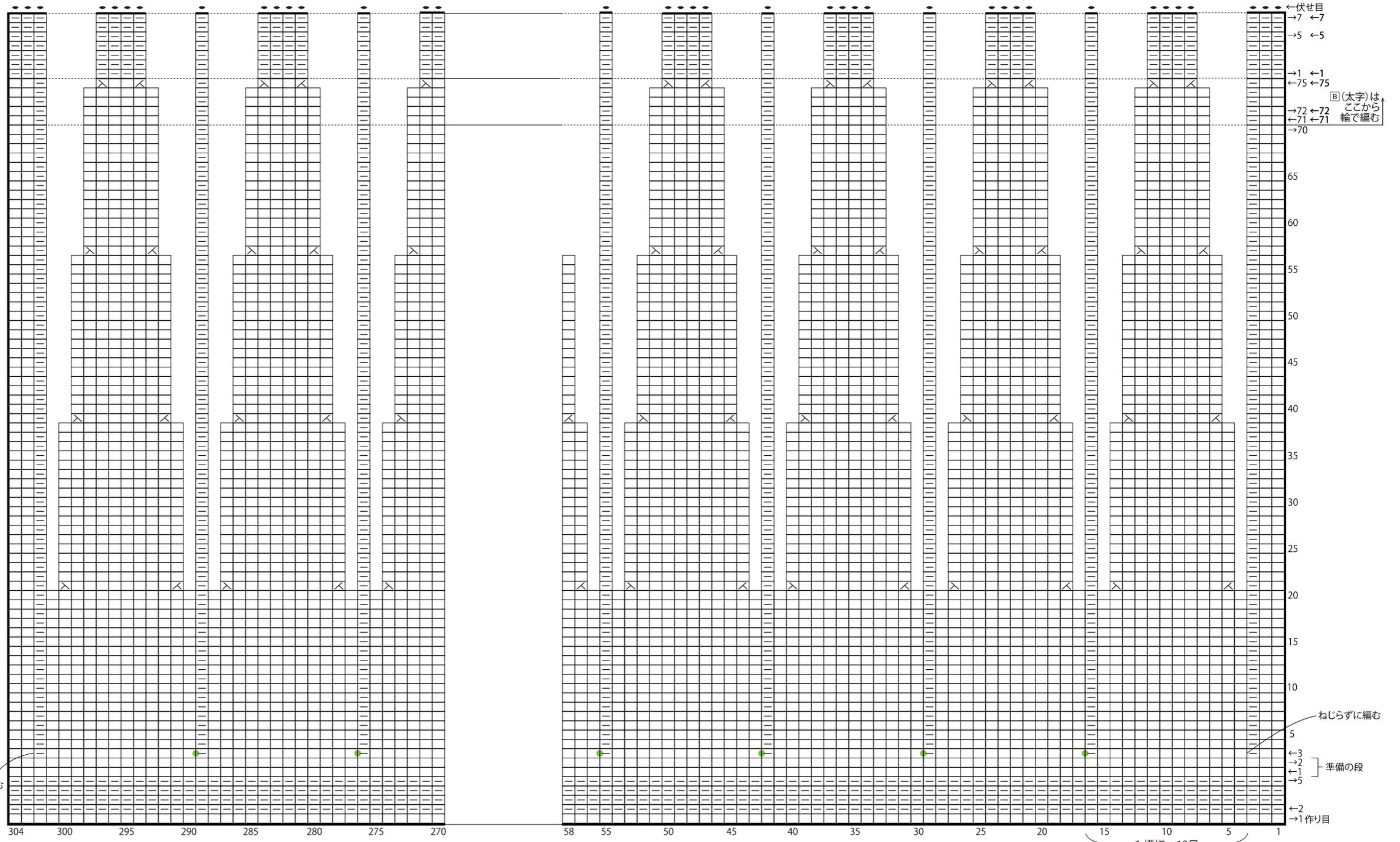
●印のスカラップの編み方(作り目から8段め)



② <リボン>



① ② <本体>



□ = □ 表目

● = 編地をねじる位置 (22回) P.55参照

LOVE & PEACE グローブ [A] [B]

[使用糸] エアリーウールアルパカ [A] a色: スカーレット(14)…30g, b色: ブラック(9)…15g, c色: ブルーグレー(5)…5g(各1玉)

[B] a色: きなり(1)…30g, b色: グリーン(15)…15g, c色: ベールピンク(16)…5g(各1玉)

[使用針] 5号5本短針(指は短い針が編みやすい)、3号輪針または4本棒針、4/0号かぎ針

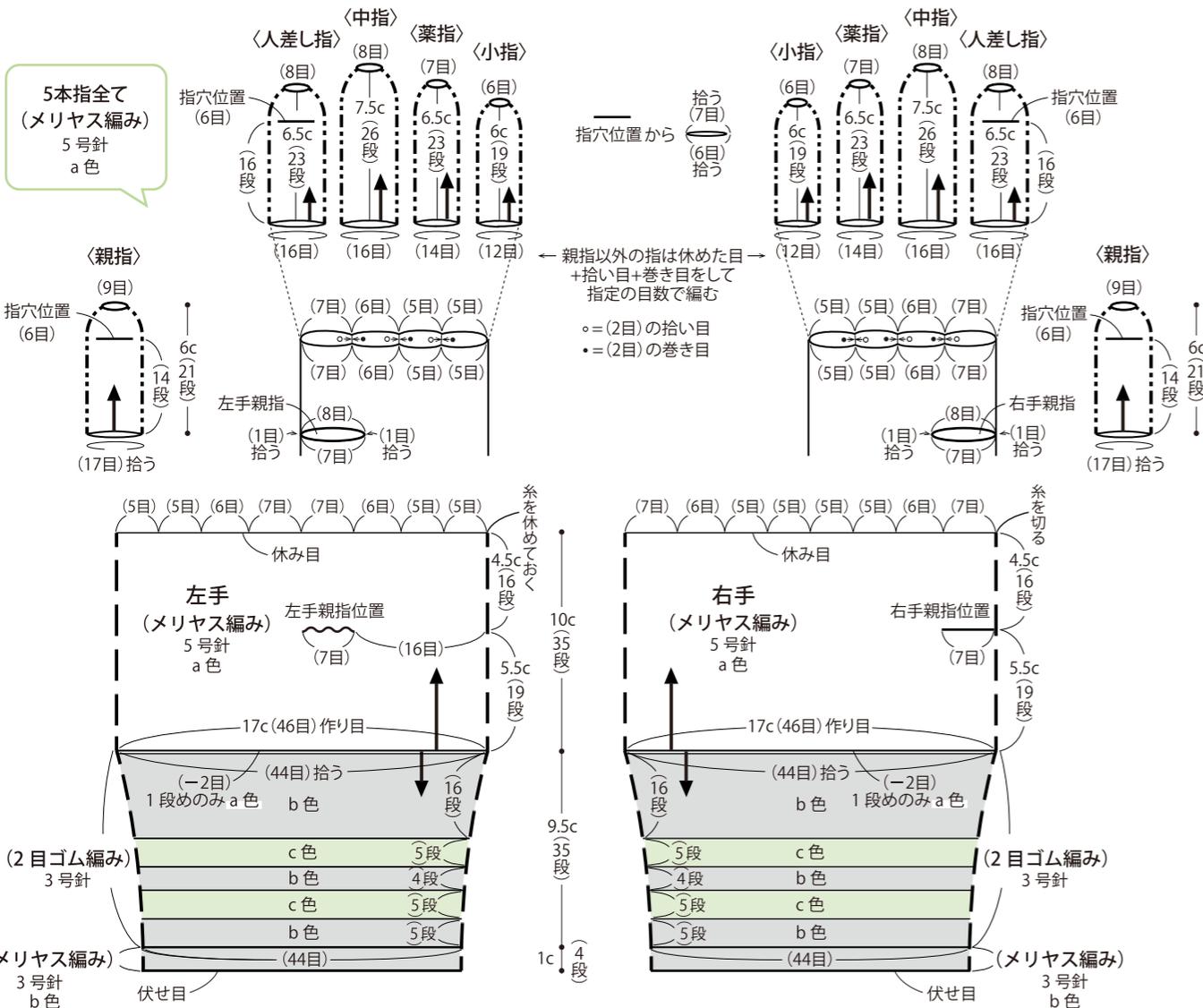
[ゲージ] メリヤス編み 10cm角 27目×35.5段、2目ゴム編み 10cm角 32.5目×37段

[できあがり寸法] 手の平回り 約17cm、長さ約28cm

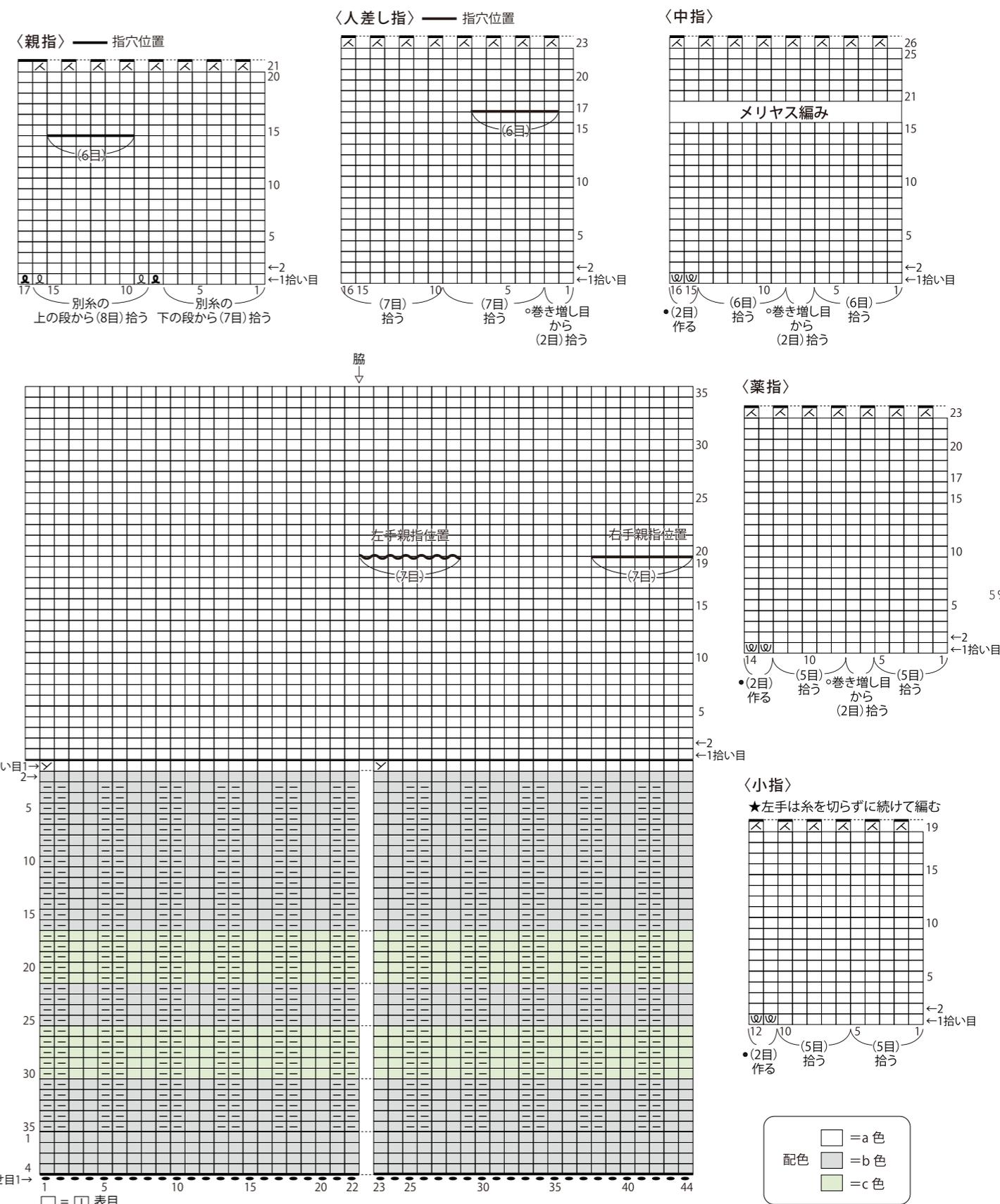
編み方要点

指部分の編み方詳細はP.60,61を参照

- 別鎖の作り目をして5号針で裏山を拾い、輪にして手のひら下側から指先に向かってメリヤス編みで編みます。親指位置には別糸で1段編み入れておきます。
- 各指は小指から順に指示に沿って目を拾って編みます。人差し指には指穴位置に別糸で1段編み入れます。最終段は2目一度をして、残った目に2回糸を通してしぼります。
- 親指は別糸を抜いて上下の目を針に移し、他の指と同じように編みます。指穴位置に別糸で1段編み入れます。
- 指穴も親指と同じ様に目を拾ったらかぎ針で引き抜き編みをします。
- 手首まわりは別鎖をほどき針に目を移し、3号針で1段めはメリヤス編みで減目をします。色を替えてもう1段メリヤス編み、それ以降は2目ゴム編みを指示の配色で編みます。最後の4段はメリヤス編みをし、ゆるめに伏せ目にします。
- 指示に沿ってメリヤスステッチをします。



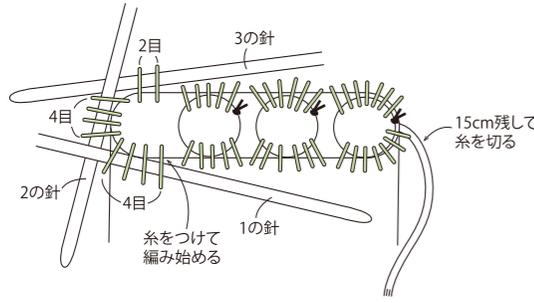
右手 左手は対称になるように拾い始め位置を変えて編む



右手 手の平、甲を編んだ糸は15cmほど残して切ります。小指から順に編みます。各指の目は、それぞれ別糸にとって休めます。

小指

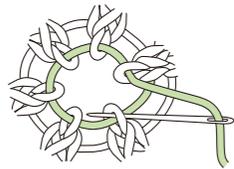
- 1 小指の10目分は4目、4目、2目と針に預けます。針に差し替える時は最後に減目があるので偶数にすると作業効率がよくなります。



- 2 3本めの針まで編めたら、編んだ針に向こうから糸をかけ、2目巻き目をします。



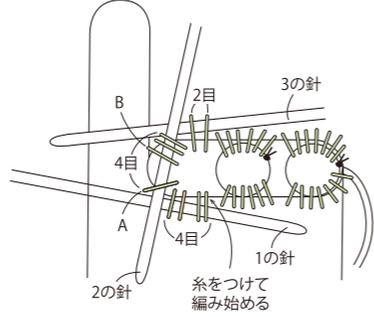
- 3 全部で12目になったら輪でぐるぐると残りの段数の1段手前まで編みます。
- 4 最終段で全て左上2目一度をして、6目にします。
- 5 20cmほど糸端を残して切り、とじ針に通して残りの目に2回糸を通します。



- 6 きつく絞って指の中心から裏に糸を出し、裏側で糸始末をします。

薬指

- 1 小指側で2目のマチから拾い目。※まちの拾い目のポイント参照。中指側で2目のマチ分の作り目をします。薬指の10目分は4目、4目、2目と針に預けます。



- 2 手の平側から糸をつけ1の針から編み始めます。4目編み、Aの手前から針を入れて編まずに右針に移します。矢印のように針を入れ、糸をかけて引き出します。



- 3 ねじり目が編めたら右の目をかぶせて右上2目一度をします。



- 4 ●と●にそれぞれ針を入れて糸を引き出します。



- 5 横糸★を左針で引きあげ、引きあげた目を右針でねじって左針に移し、次の目と一緒に針を入れて編みます。

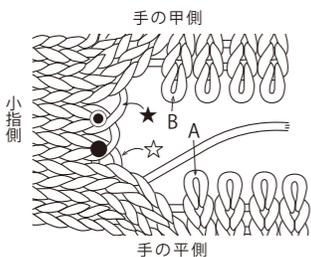


- 6 マチの拾い目が終わり、3の針を編み終えて12目になります。
- 7 小指と同様、巻き目で2目作り、全部で14目になりました。
- 8 増減なく輪で編み、最後の段で全て左上2目一度で編み、7目になります。小指同様に糸を絞って糸始末をします。

まちの拾い目のポイント

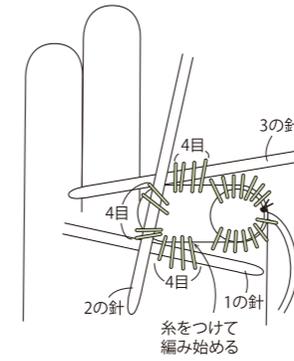
巻き目で作ったまちの反対側から目を拾い出す方法です。他の指、他の手袋などでも使われます。

小指を編み終えたまち部分の状態はこのようなになっています。巻き目で作った小指のまちから2目を拾います(●●)。これだけでは拾い目の横に穴があいたようになってしまうので、まちの横糸(☆★)をねじってABの目とそれぞれ2目一度に編みます。



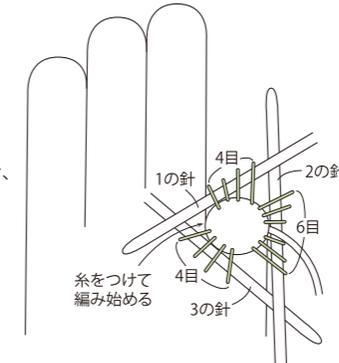
中指

- 1 中指12目分を3本の針に分けます。薬指と同じ要領で16目にし、増減なく輪で編み、最終段で8目にします。



人差し指

- 1 今までの指と同じ要領で編みますが作り目はありません。
- 2 人差し指の14目を3本の針に分け、中指側のまちの拾い目から糸をつけ編み始めます。
- 3 最終段で8目に減目にします。

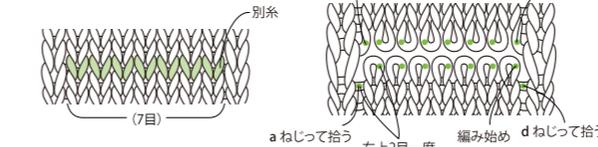


親指

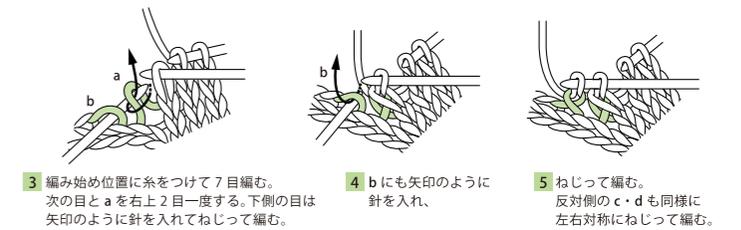
- 1 別糸を編み入れたところから上側8目、下側7目を拾い、マチで一目ずつ増し目をして17目拾います。

親指1段め(右)の拾い位置

※左親指は対称に拾う



- 1 別糸をとじ針などで抜き取る。
- 2 上下の目はこのように分かれる。

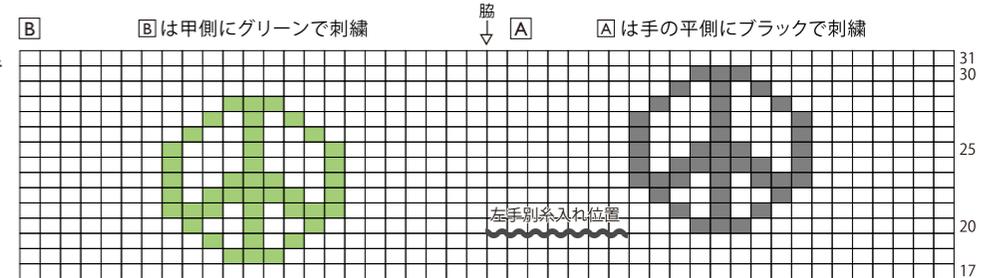


- 3 編み始め位置に糸をつけて7目編む。次の目とaを右上2目一度する。下側の目は矢印のように針を入れてねじって編む。
- 4 bにも矢印のように針を入れ、
- 5 ねじって編む。反対側のc・dも同様に左右対称にねじって編む。

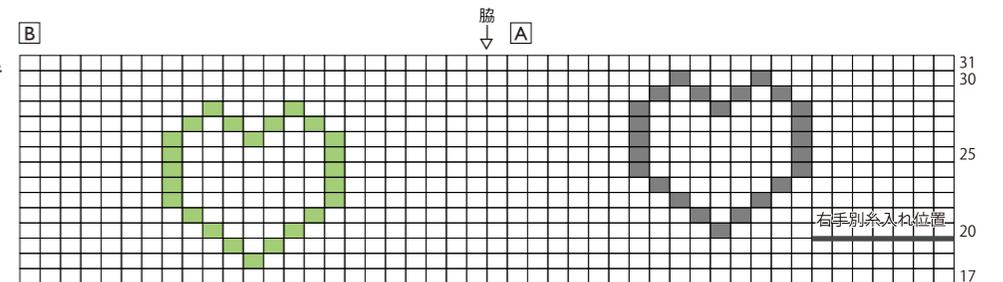
人差し指と親指の穴も同じ様に目を拾いかぎ針で引き抜きます

メリヤステッチ位置

左手

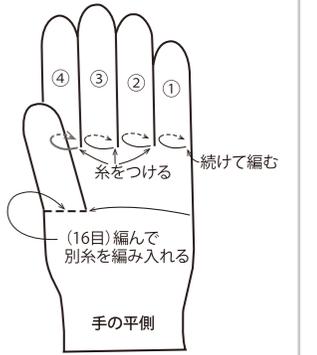


右手



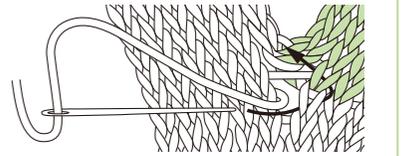
左手の編み方

左手と右手は左右対称に編みます。左手も手の平側から編み始め、手の平回りを19段編んだら20段め16目まで編み、親指位置の別糸を編み入れます。残りの段数を編みます。左では続けて小指、残りの指は手の平側から新たに糸をつけて編みます。



編み始め糸の始末

各指の編み始めの糸は、穴が空かないように図のように通して裏側に出します。表にひびかないよう、編地を少しすくって糸始末をします。

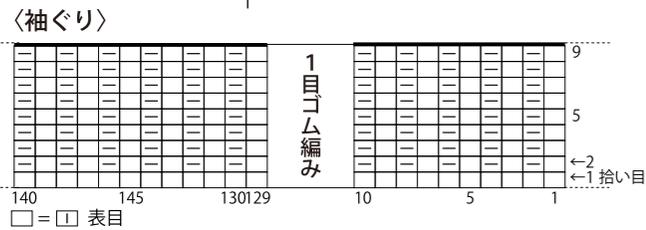
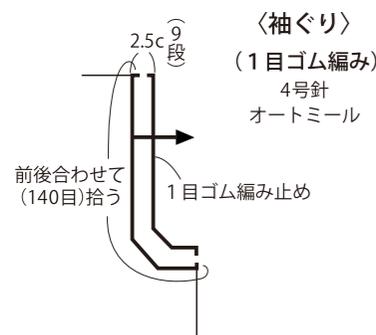
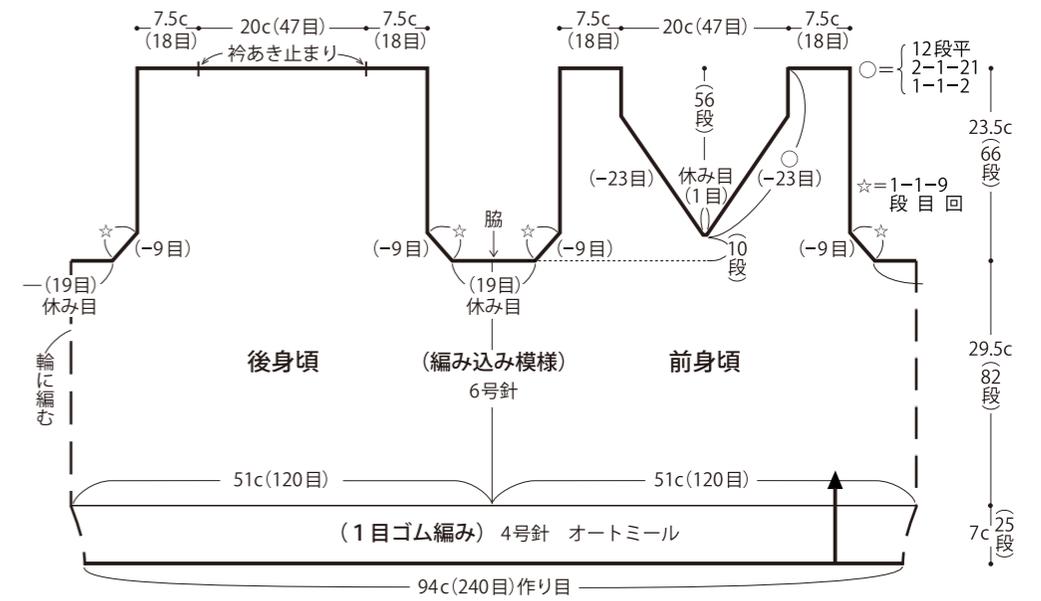


ウィンドミルの編み込みベスト

- [使用糸] シェットランドウール
 オートミール(2)…140g(3玉)、キャロット(16)…45g(1玉)、きなり(1)…35g(1玉)、
 チョコレート(3)…35g(1玉)、イエロー(14)…30g(1玉)、エメラルド(13)…15g(1玉)
- [使用針] 6号玉付き2本棒針、6号4号輪針または4本棒針
- [ゲージ] 編み込み模様 10cm角 23.5目×28段、1目ゴム編み 10cm=25.5目
- [できあがり寸法] 胸囲102cm、着丈60cm、背肩幅39.5cm

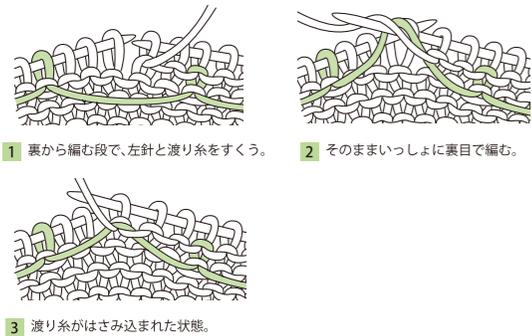
編み方要点

- 1 前後身頃は指でかける作り目を輪にして1目ゴム編みで編みます。続けて針を替えて編み込み模様を編みます。7目以上糸が渡る場合は糸をはさみ込みながら編みます。
- 2 脇まで編み終えたら糸を切り、両脇を休み目にして、ここからは前後を分けて編みます。編み終わりはそれぞれ休み目にしておきます。
- 3 肩はイエローの糸で引き抜きはぎにします。
- 4 衿、袖ぐりは前後身頃から目を拾い輪にして1目ゴム編みで編みます。編み終わりは1目ゴム編み止めにします。

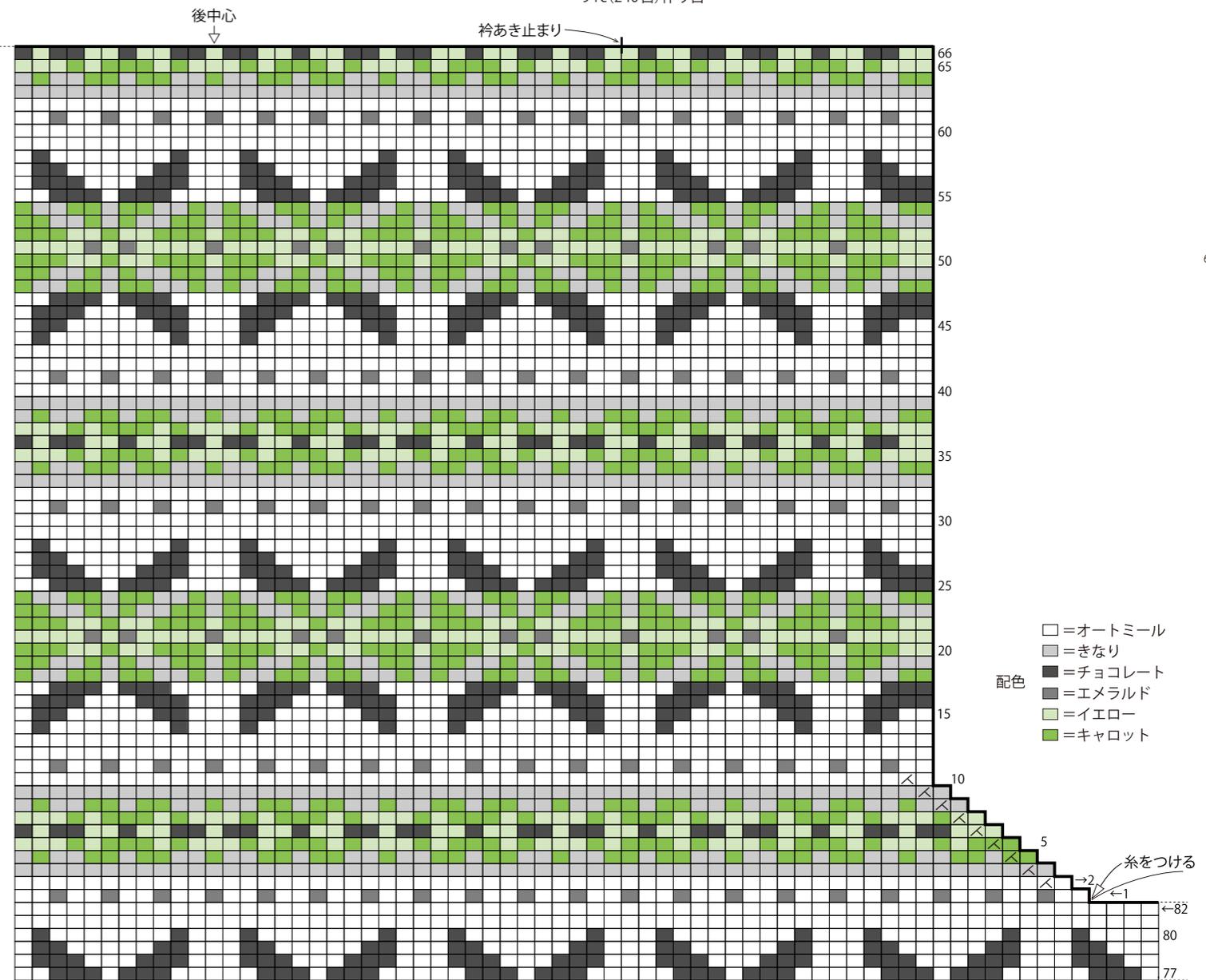
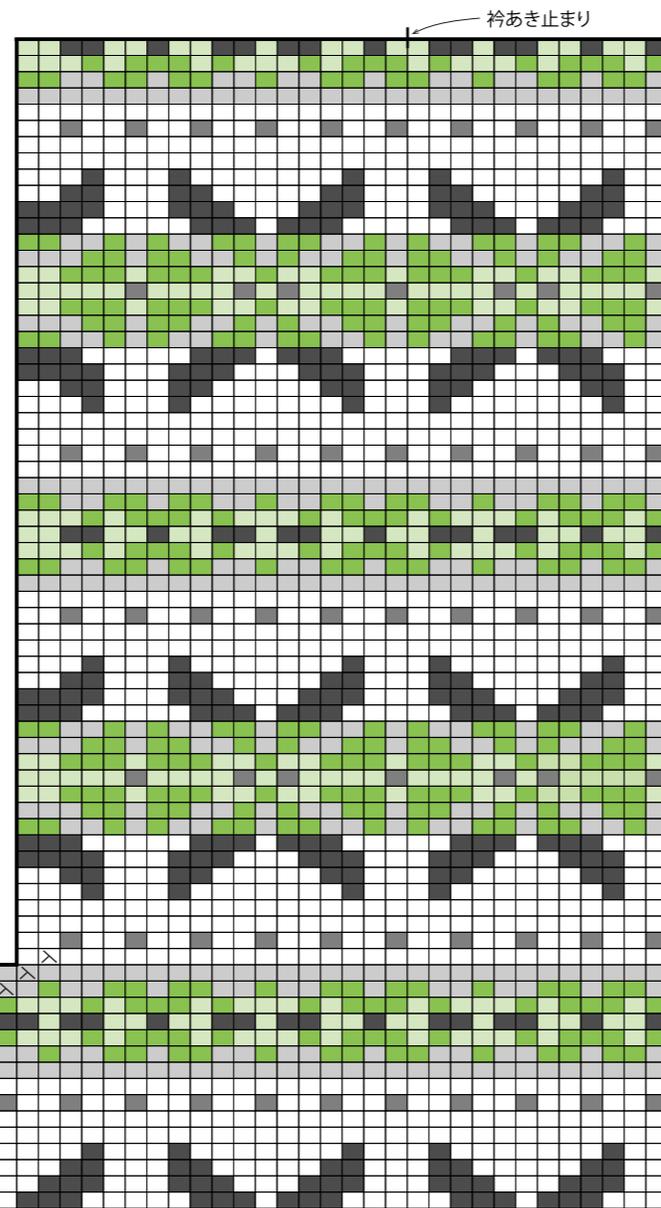


〈渡り糸のはさみ方〉

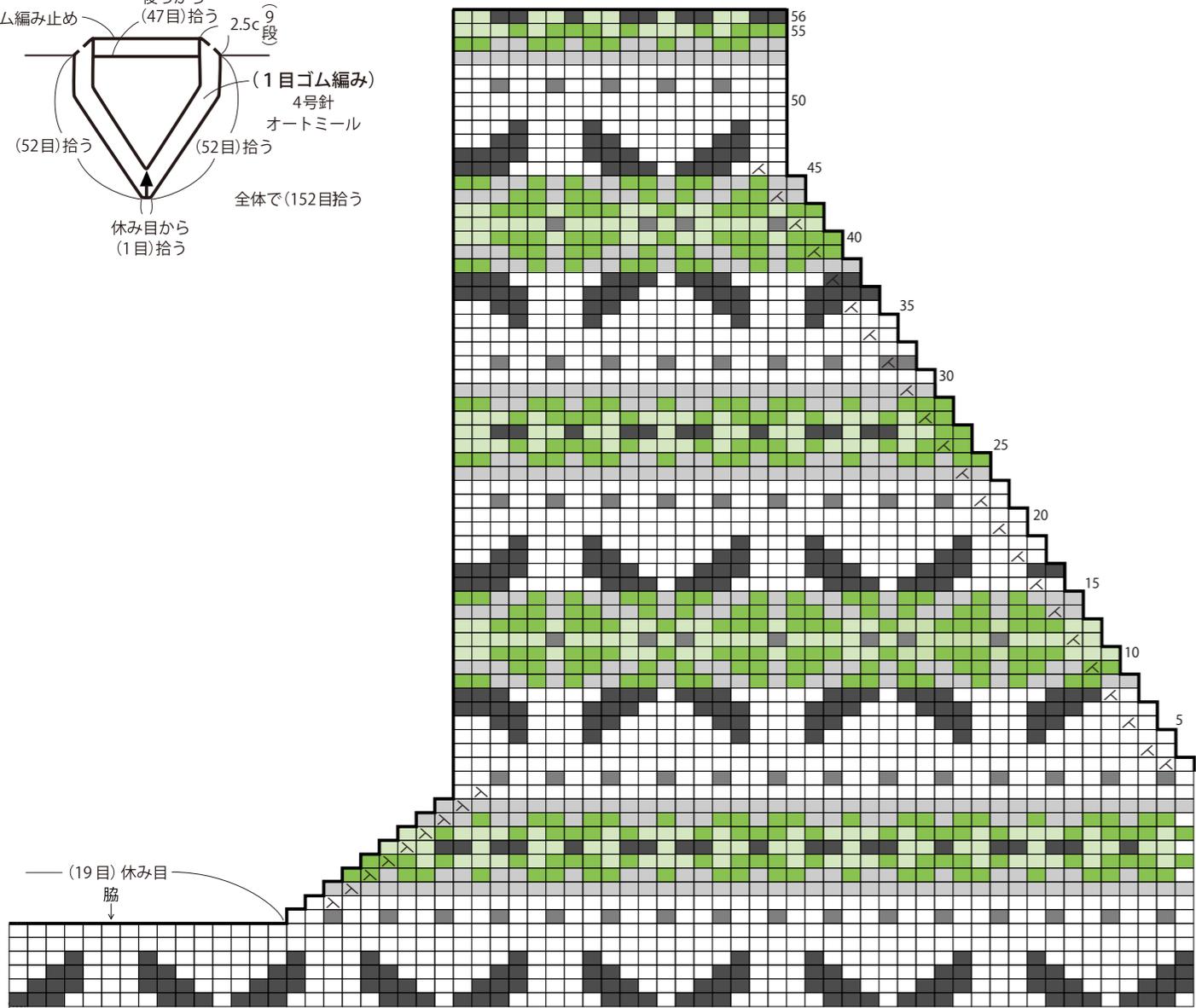
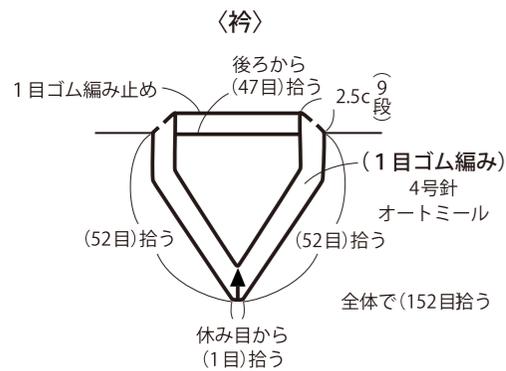
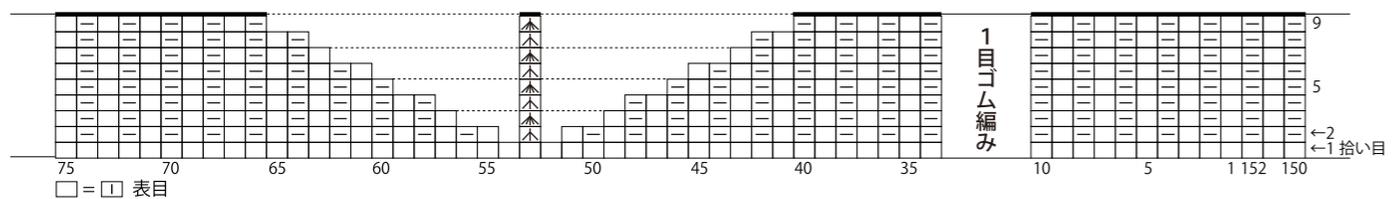
渡り糸が長くなってしまうときは途中ではさみ込む。
 渡り糸がつれてしまわないように少し余裕を持たせておく。



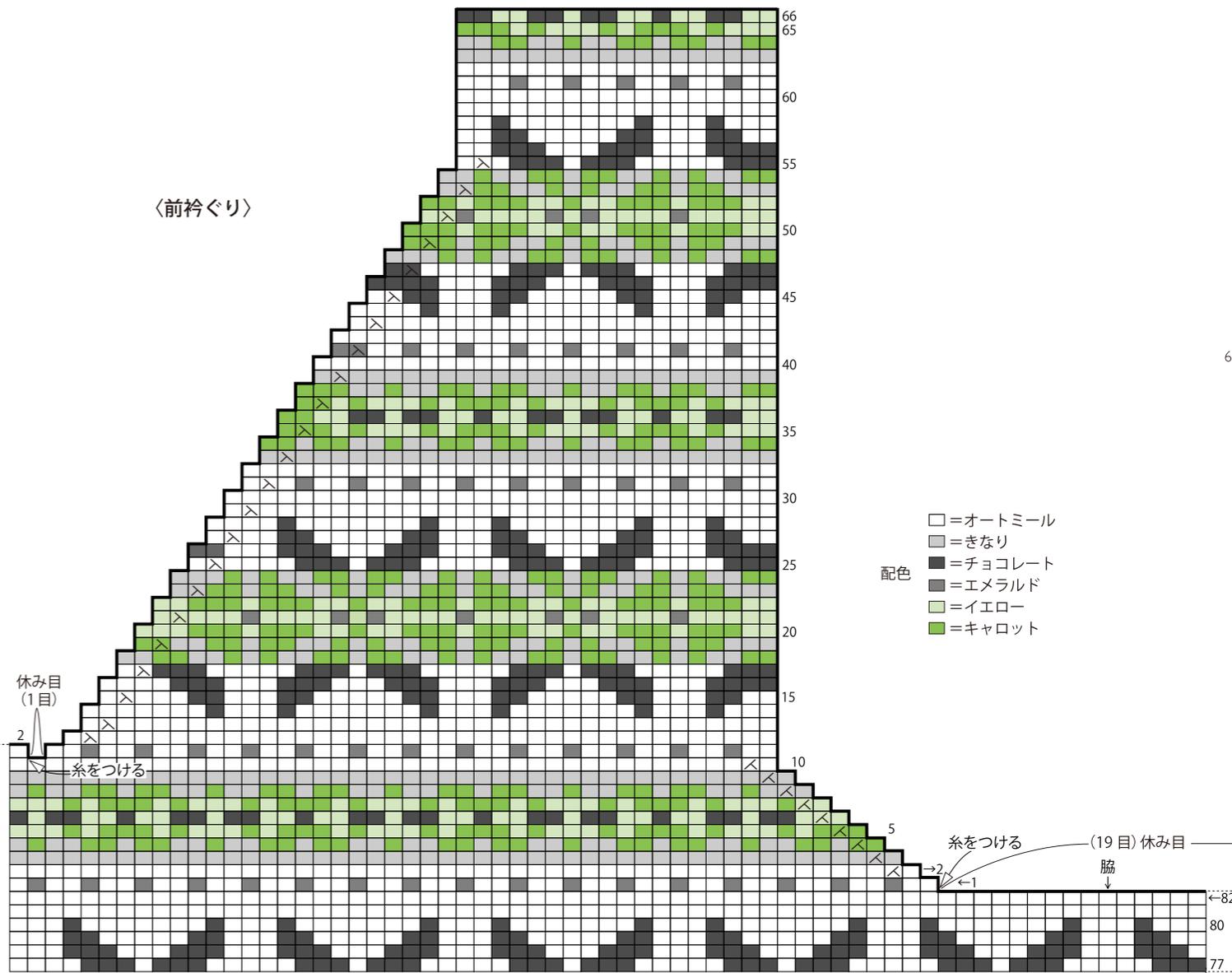
上記は裏から編む段の説明ですが表から編む場合もイラストと同様に渡り糸をすくうようにして編む。



〈衿〉



〈前衿ぐり〉



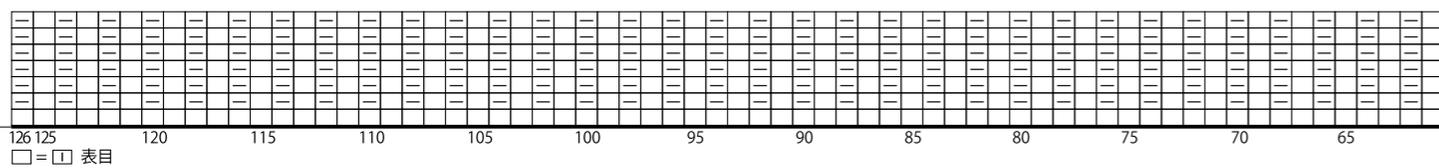
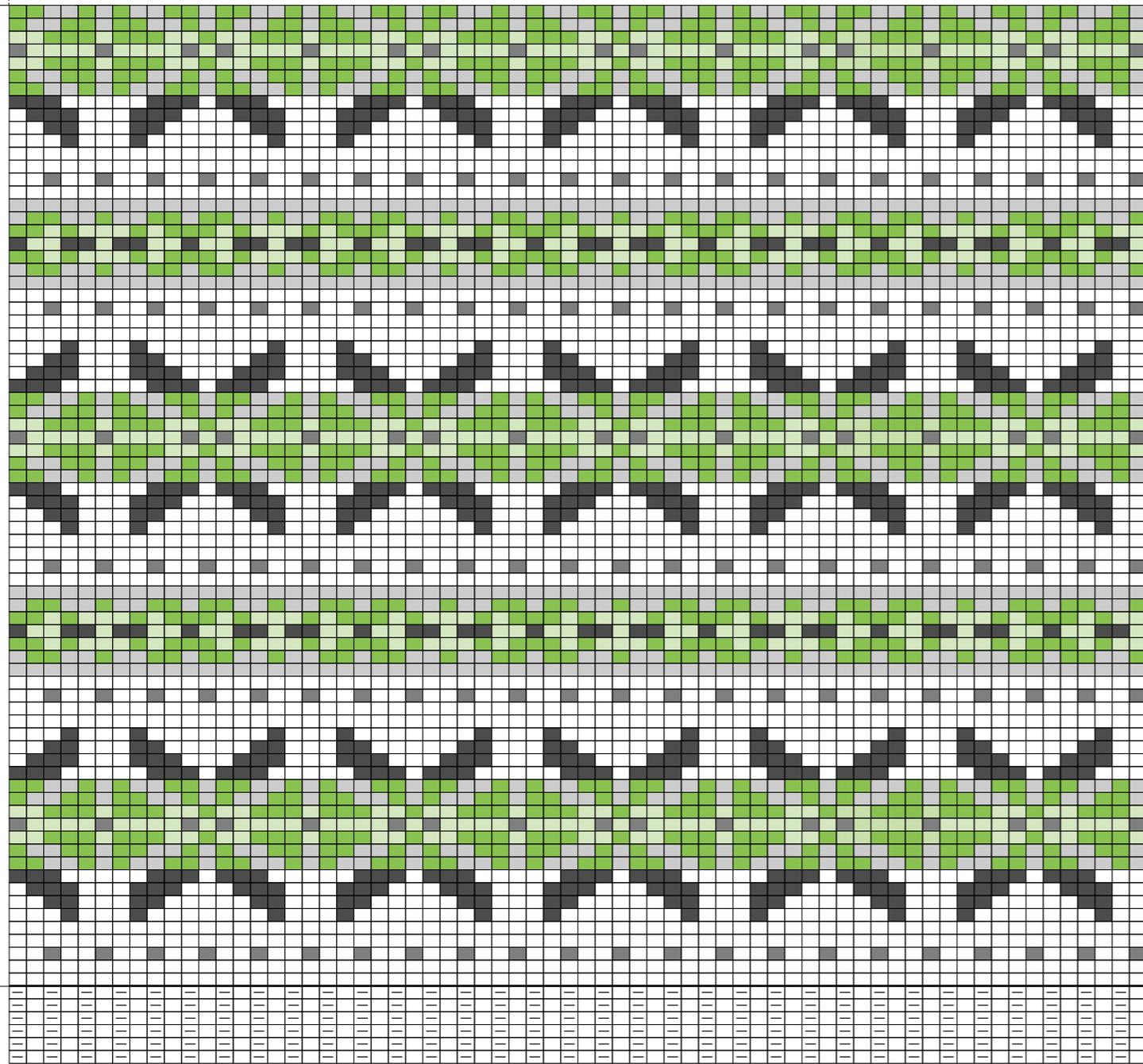
- 配色
- = オートミール
 - = きなり
 - = チョコレート
 - = エメラルド
 - = イエロー
 - = キャロット

- =オートミール
 □=ぎなり
 ■=チョコレート
 ■=エメラルド
 □=イエロー
 ■=キャロット

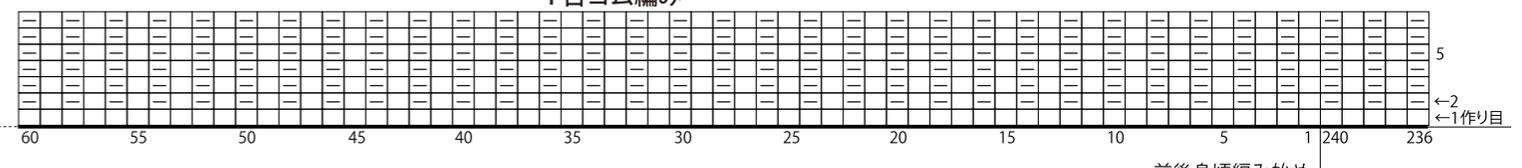
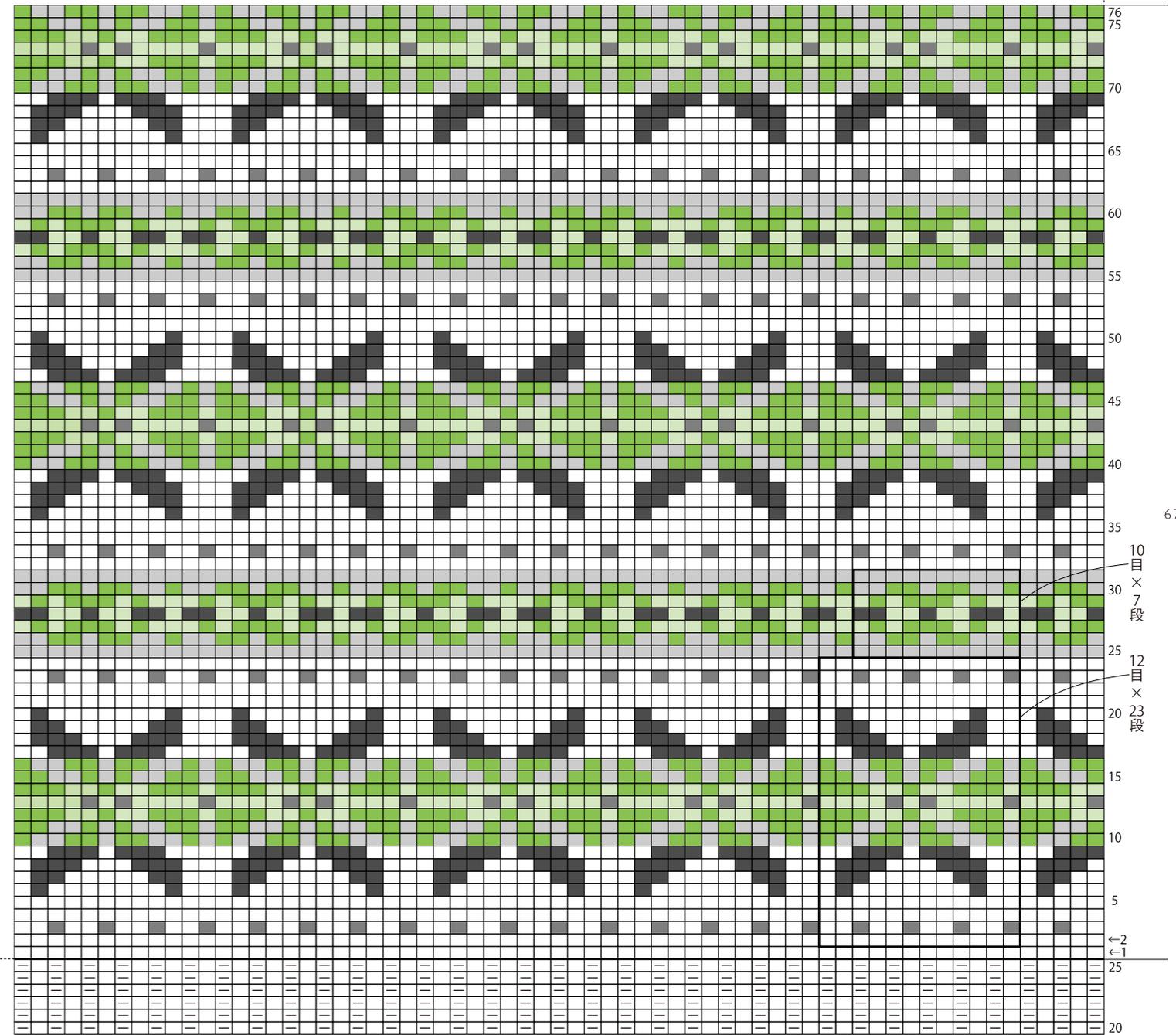
配色

〈前後身頃〉

66



67



1目ゴム編み

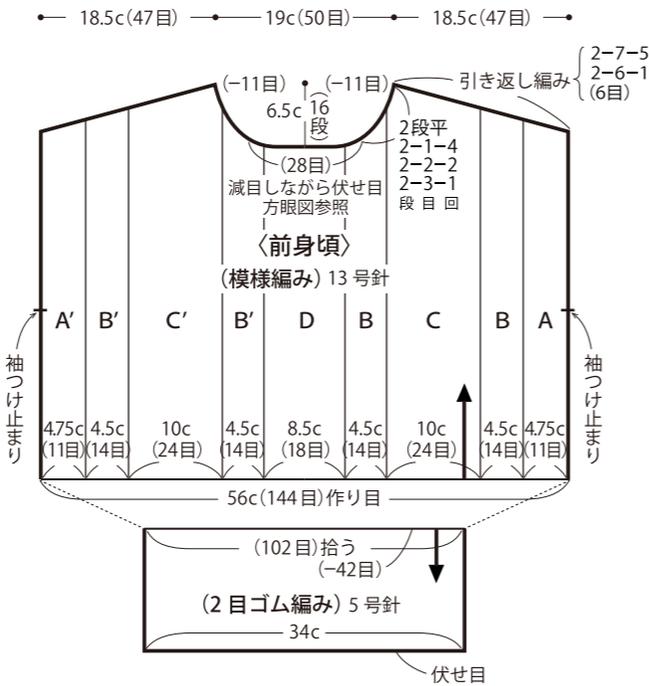
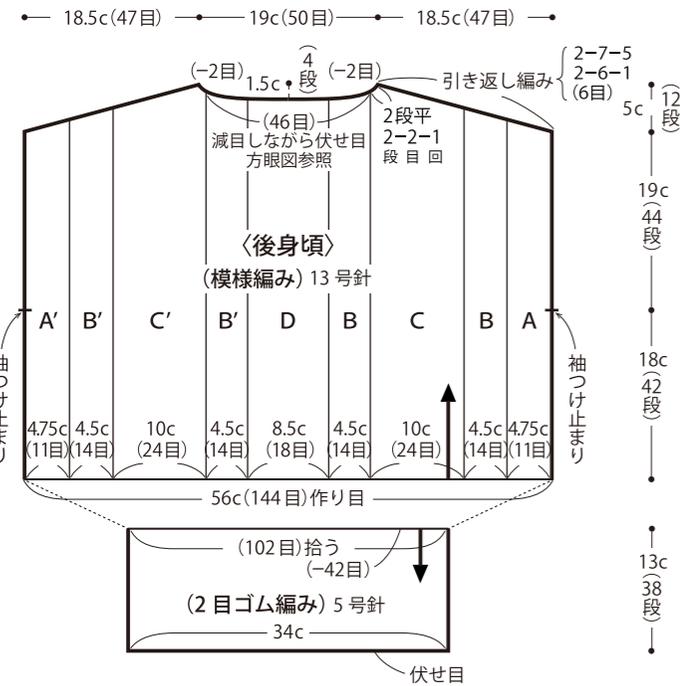
前後身頃編み始め

ウエストマークのケーブルプルーバー

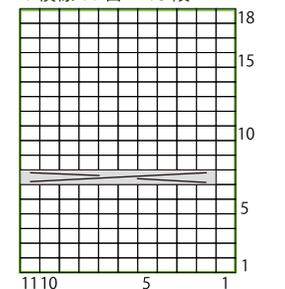
- [使用糸] フォークランドウール ブラウン(3)・・・615g(13玉)
- [使用針] 13号5号玉付き2本棒針、5号輪針または4本棒針
- [ゲージ] メリヤス編み 10cm角 15.5目×23段、2目ゴム編み 10cm角 30目×29段、模様編み A 10cm角 23目×23段、
模様編み B 10cm角 31目×23段、模様編み C 10cm角 24目×23段、模様編み D 10cm角 21目×23段
- [できあがり寸法] 胸囲 112cm、着丈 55cm、袖丈 45cm

編み方要点

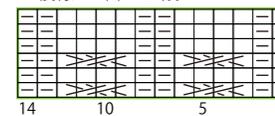
- 前後身頃は別鎖の作り目をして目を拾い、模様編みで編みます。衿ぐりは伏せ目と減目をして、肩は引き返し編みにします。
- 袖も同様に別鎖の作り目をして目を拾い、メリヤス編みと模様編みで編みます。編み終わりは伏せ目にします。
- 裾と袖口は作り目をほどき針に目を移して、1段めで減目をして2目ゴム編みで編みます。編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。
- 肩は減目をしながらかぶせはぎにします。
- 衿は前後身頃から目を拾い、輪にして2目ゴム編みで編みます。編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。
- 袖は身頃に目と段のはぎでつけ、脇と袖下はすくいとじにします。



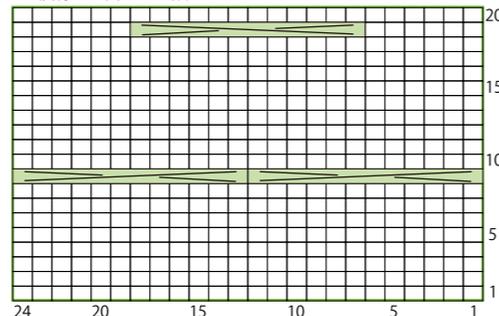
模様編み A (A'は模様を反転)
1模様 11目×18段



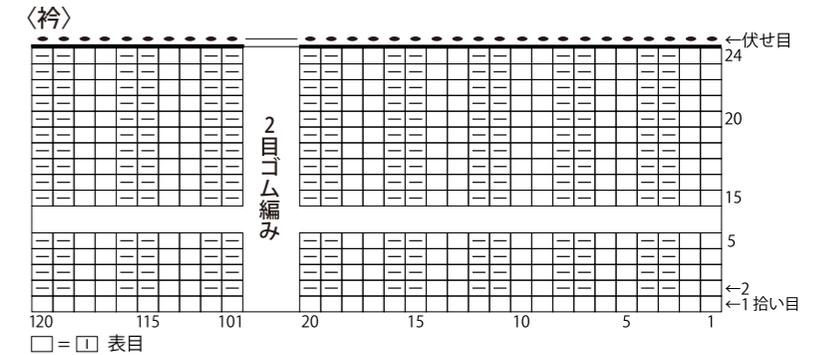
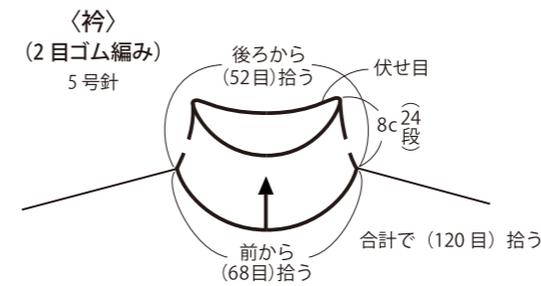
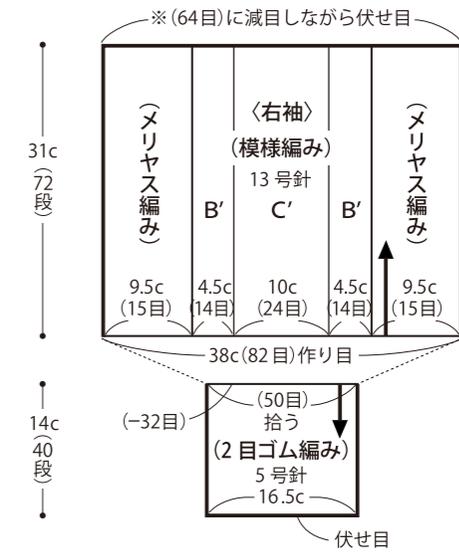
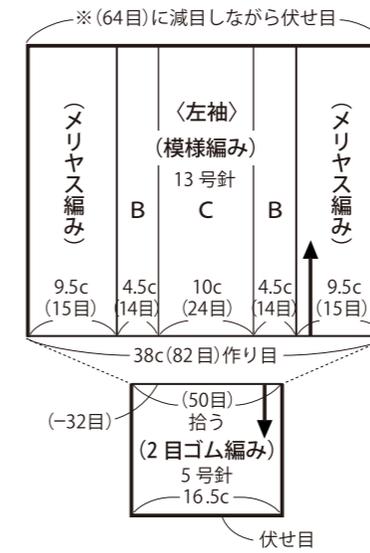
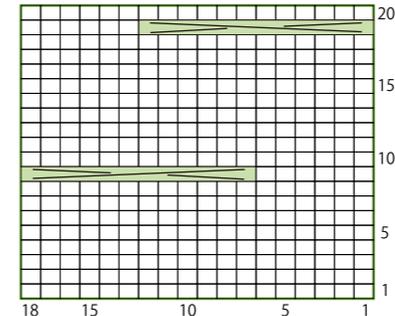
模様編み B (B'は模様を反転)
1模様 14目×6段



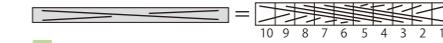
模様編み C (C'は模様を反転)
1模様 24目×20段



模様編み D
1模様 18目×20段

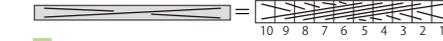


右上 5目交差



- 1 右の5目を別針に移して手前側に休める。
- 2 6・7・8・9・10の目を表目で編む。
- 3 休めていた別針の1・2・3・4・5の目を表目で編む。

左上 5目交差



- 1 右の5目を別針に移して向こう側に休める。
- 2 6・7・8・9・10の目を表目で編む。
- 3 休めていた別針の1・2・3・4・5の目を表目で編む。

右上 6目交差

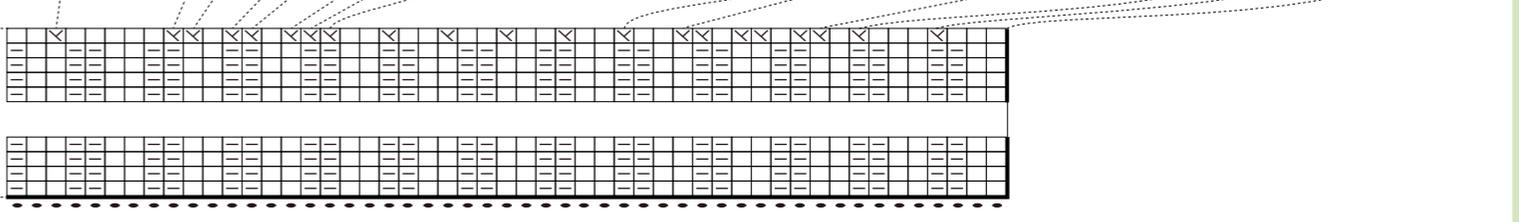
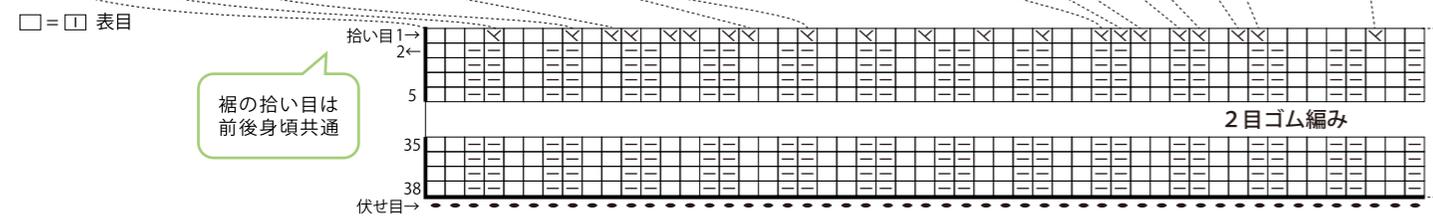
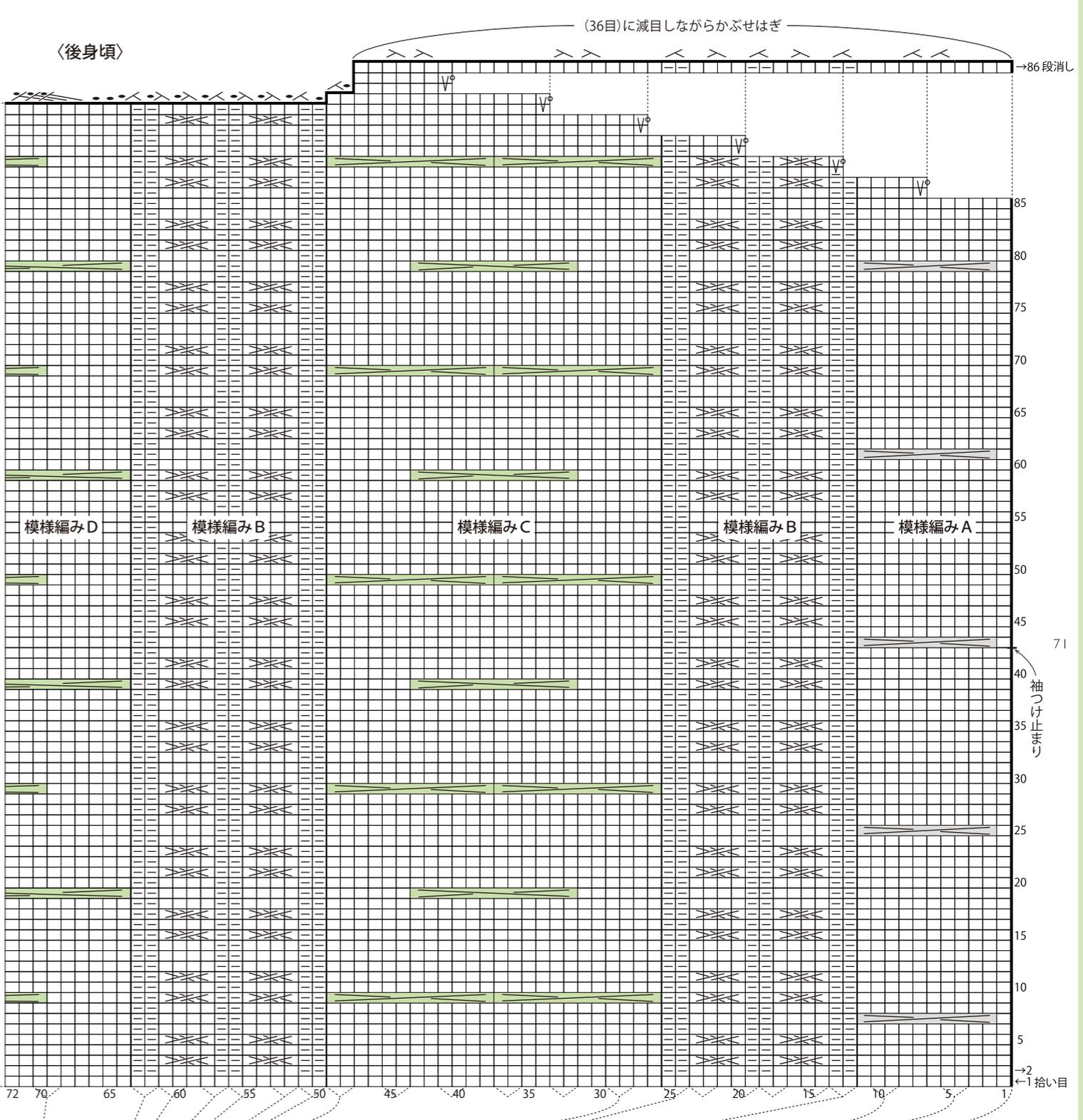
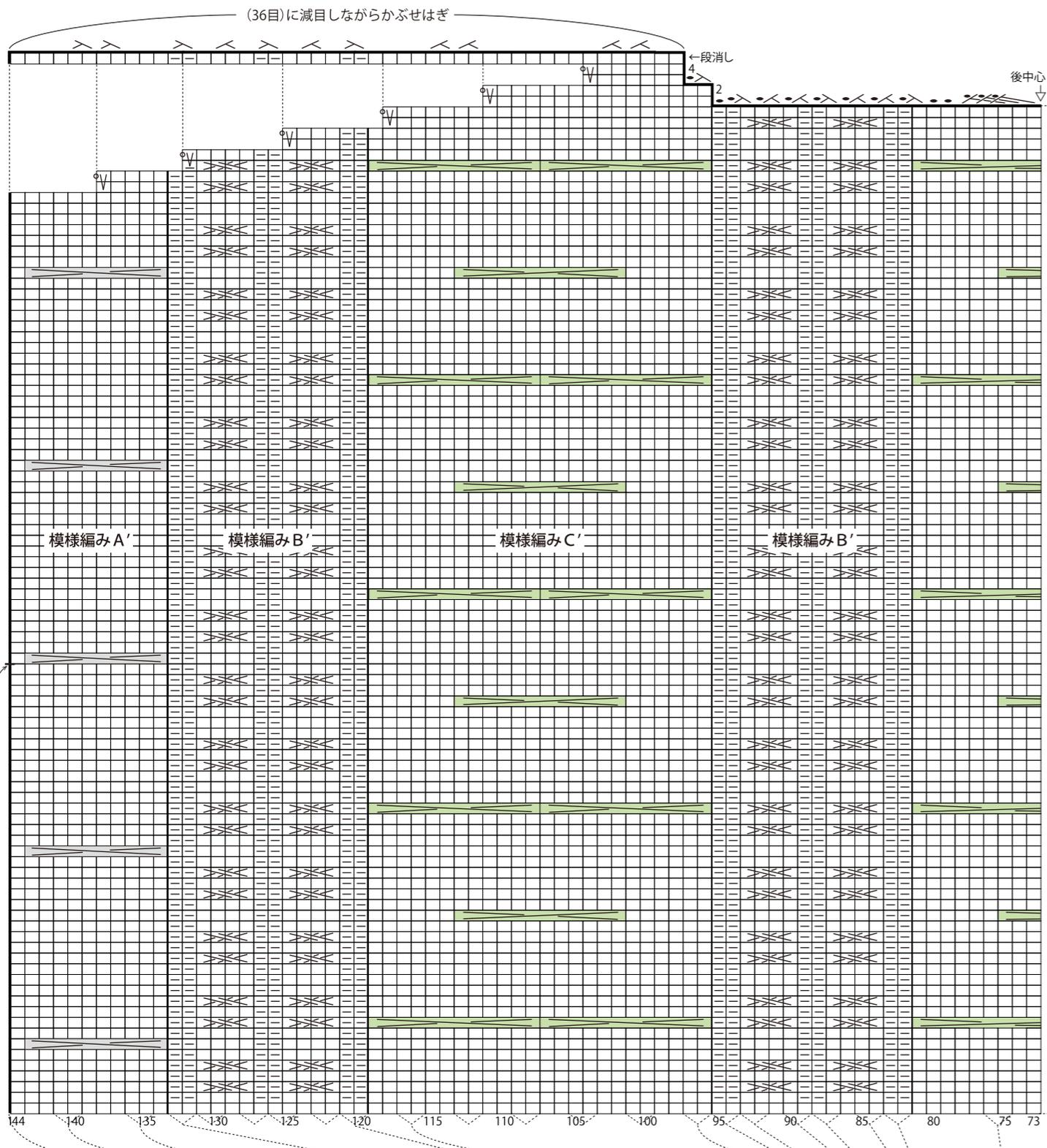


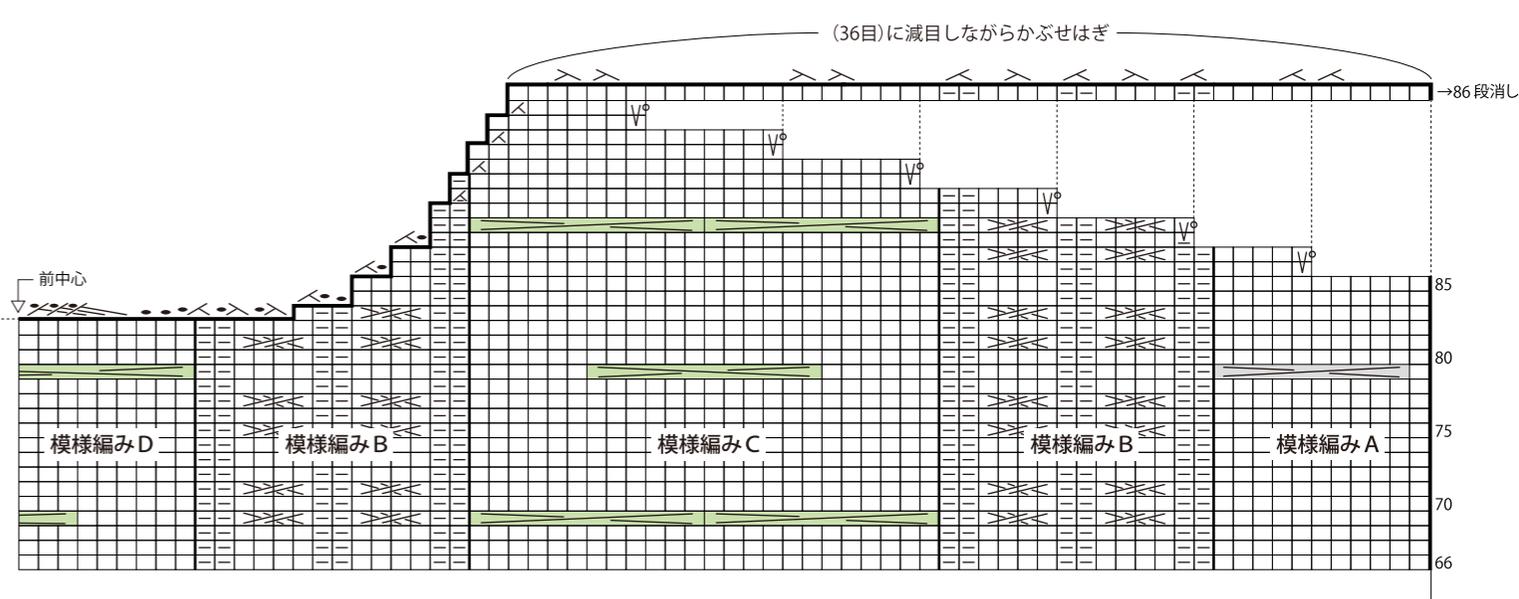
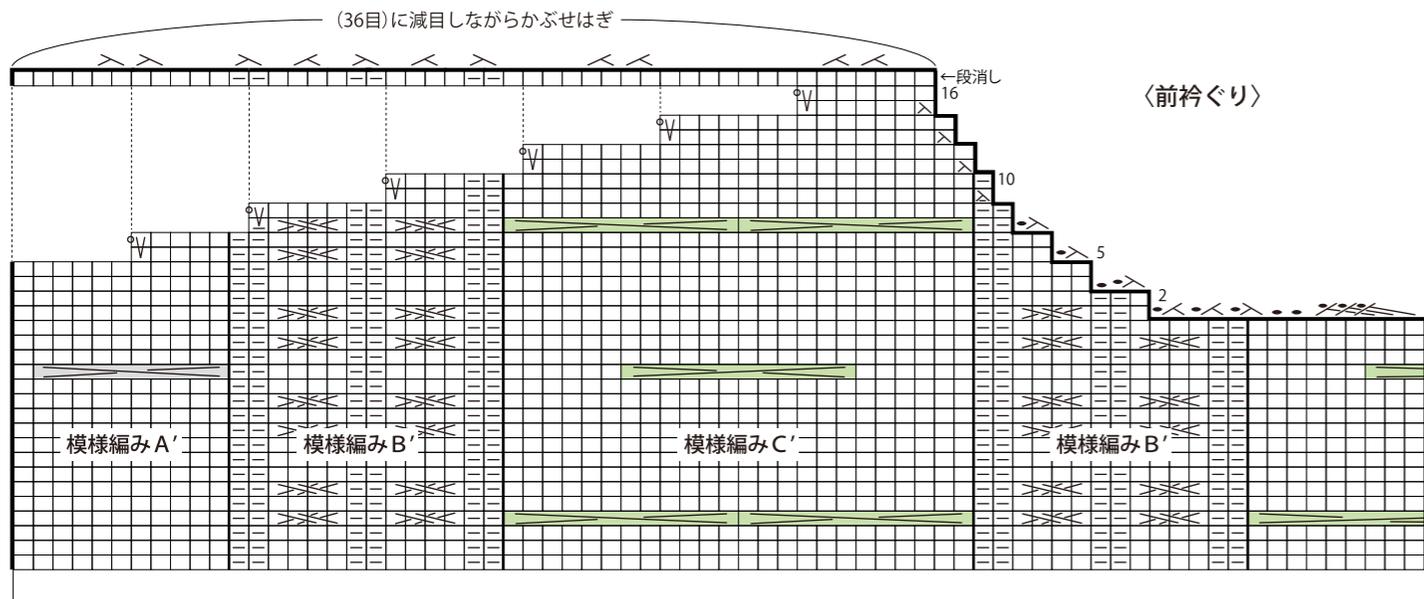
- 1 右の6目を別針に移して手前側に休める。
- 2 7・8・9・10・11・12の目を表目で編む。
- 3 休めていた別針の1・2・3・4・5・6の目を表目で編む。

左上 6目交差



- 1 右の6目を別針に移して向こう側に休める。
- 2 7・8・9・10・11・12の目を表目で編む。
- 3 休めていた別針の1・2・3・4・5・6の目を表目で編む。



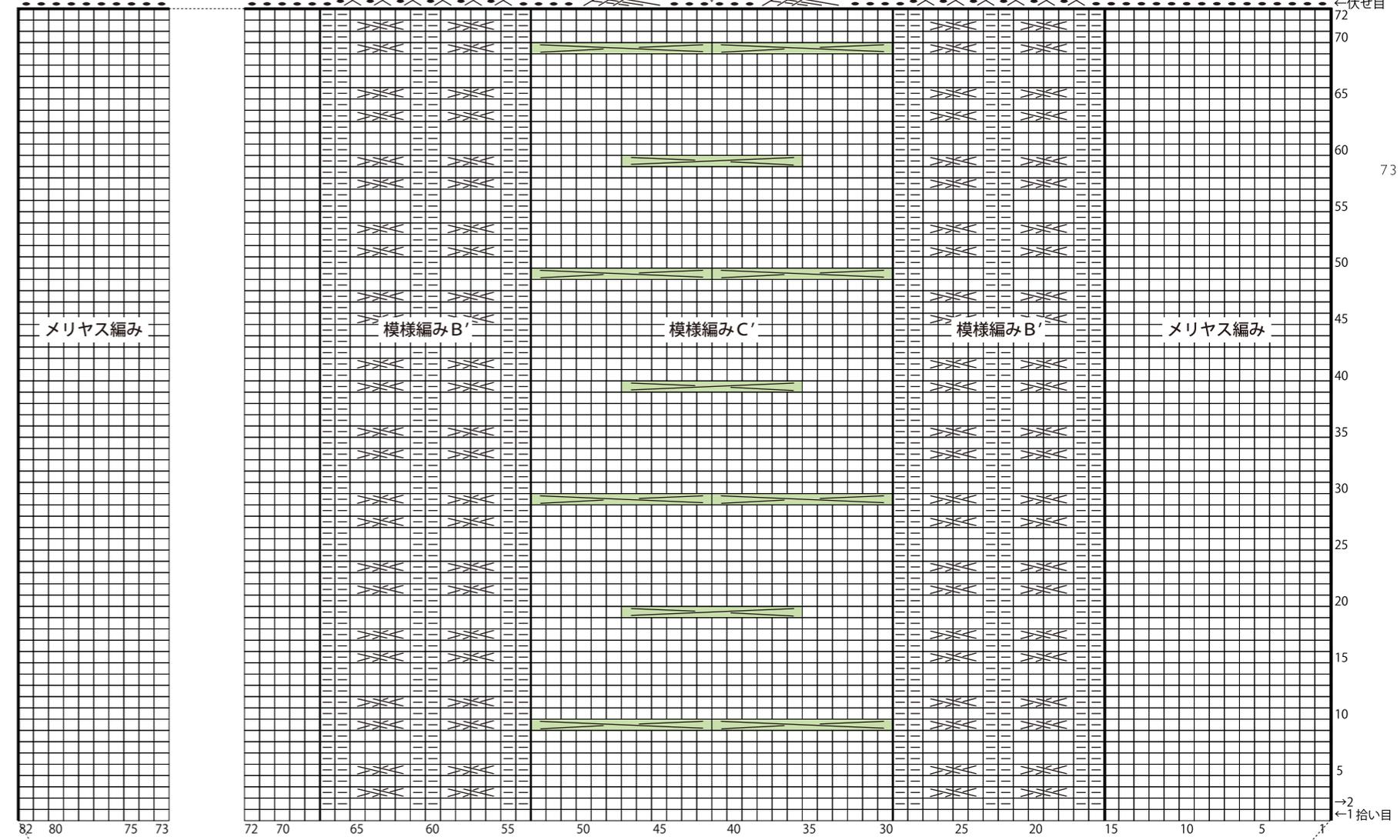


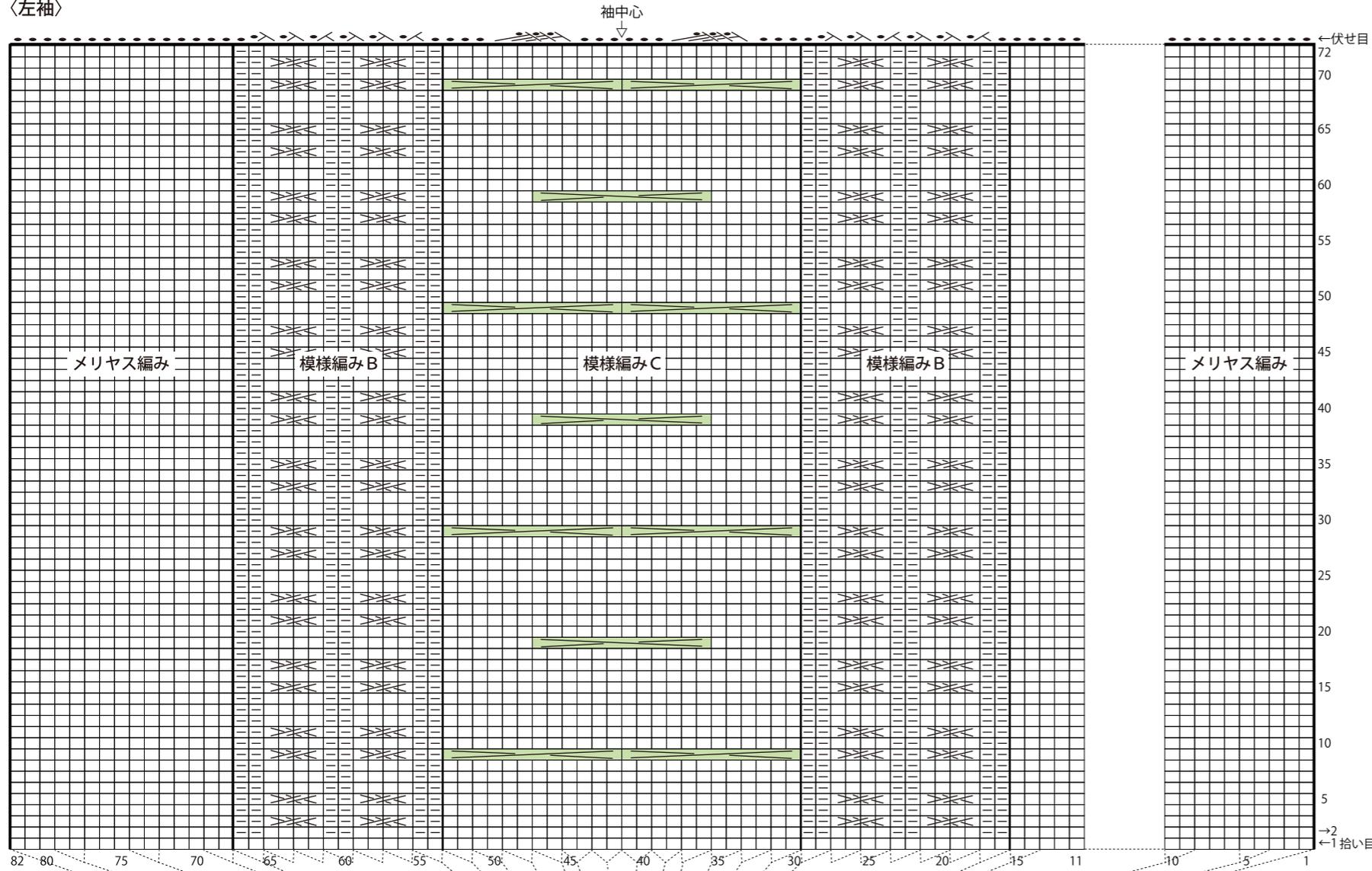
65段めまでは後身頃(P.70, 71)を参照

前後衿ぐり、右袖編み終わりの編み方

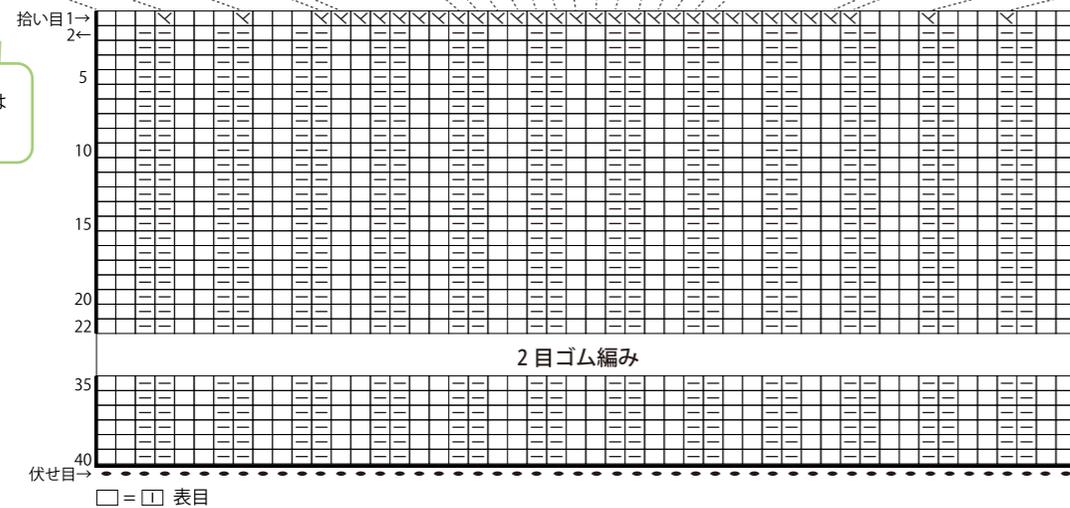


右袖



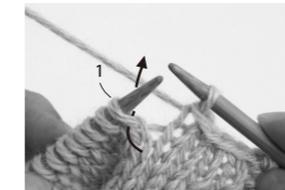


袖口の拾い目は
右袖・左袖共通

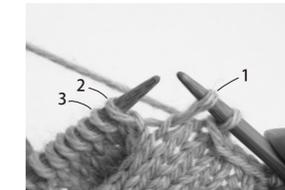


□ = □ 表目

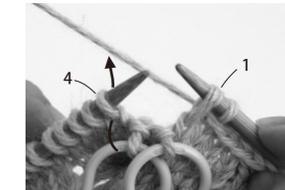
左袖編み終わりの編み方



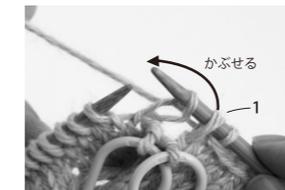
1 手前の伏せ目まで編めたところ。
1の目を左から針を入れて右針に移す。



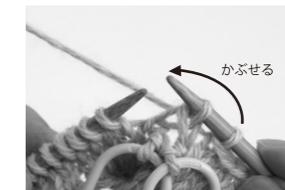
2 移したところ。
2と3の目をそれぞれ別針に移して
手前側へ休めておく。



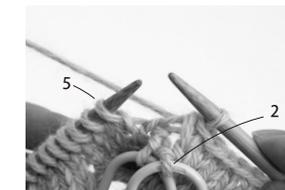
3 4と1の目を右上2目一度で編む。
4の目を表目で編み、



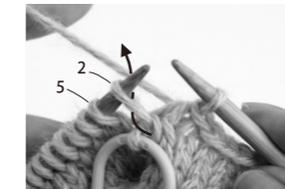
4 1の目をかぶせる。



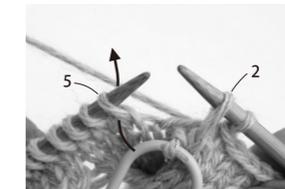
5 右上2目一度が編めたところ。
さらに隣の目をかぶせて伏せ目にする。



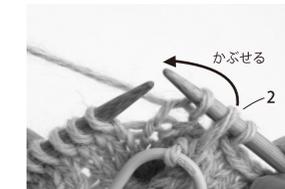
6 伏せ目にしたところ。
別針の2の目を左針に戻す。



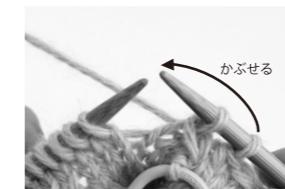
7 戻したところ。戻した2の目を左から
針を入れて右針に移す。



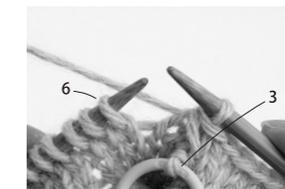
8 移したところ。
5と2の目を右上2目一度で編む。
5の目を表目で編み、



9 2の目をかぶせて右上2目一度を編む。



10 右上2目一度が編めたところ。
さらに隣の目をかぶせて伏せ目にする。



11 伏せ目にしたところ。
同様に6 7 8 9 10を
もう一度繰り返す。



12 6と3の目を右上2目一度で編み
隣の目をかぶせて伏せ目にしたところ。
続きを編む。

トラッパーキャップ A B

[使用糸] スパニッシュメリノ Aダークグレー(6)…135g(3玉)

Bピーチ(8)…135g(3玉)

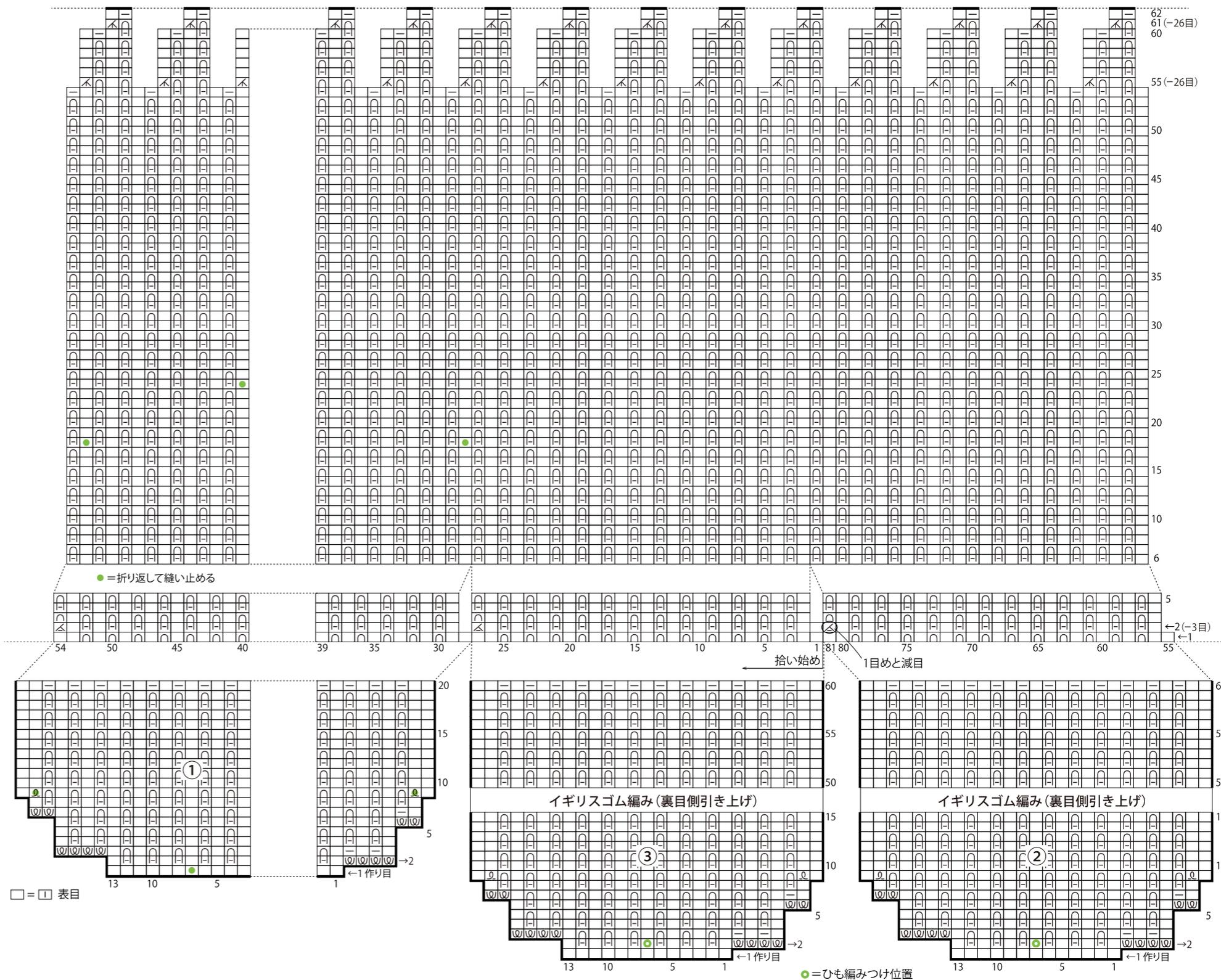
[使用針] 10号玉付き2本棒針、10号輪針または4本棒針、8/0号かぎ針

[ゲージ] イギリスゴム編み(裏目側引き上げ)10cm角15目×32段

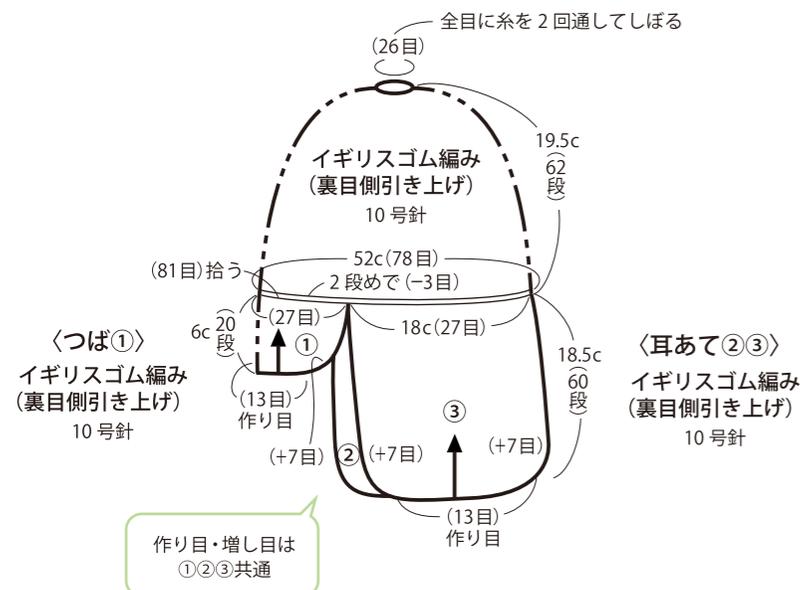
[できあがり寸法] 頭回り52cm、深さ19.5cm

編み方要点

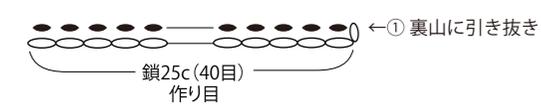
- 1 つばの部分から①→耳あて②→耳あて③の順に編みます。各パーツは指でかける作り目をして巻き増し目とねじり目の増し目をしながらイギリスゴム編み(裏目側引き上げ)で指定段数編みます。①と②の編み終わりは糸を切り、目を休めておきます。
- 2 ③を編み終えたら糸を切らずにここからは輪で編みます。2段めの各パーツの境目で減目をして編みます。編み終わりは全目に糸を通してしぼります。
- 3 ②と③にひもを編み付けます。編み付け位置に表側からかぎ針を入れて糸を引き出し、鎖の作り目をして裏山に針を入れて引き抜きで編みます。
- 4 ①を外側へ折り返し、指示の位置に3カ所縫いとめます。



76



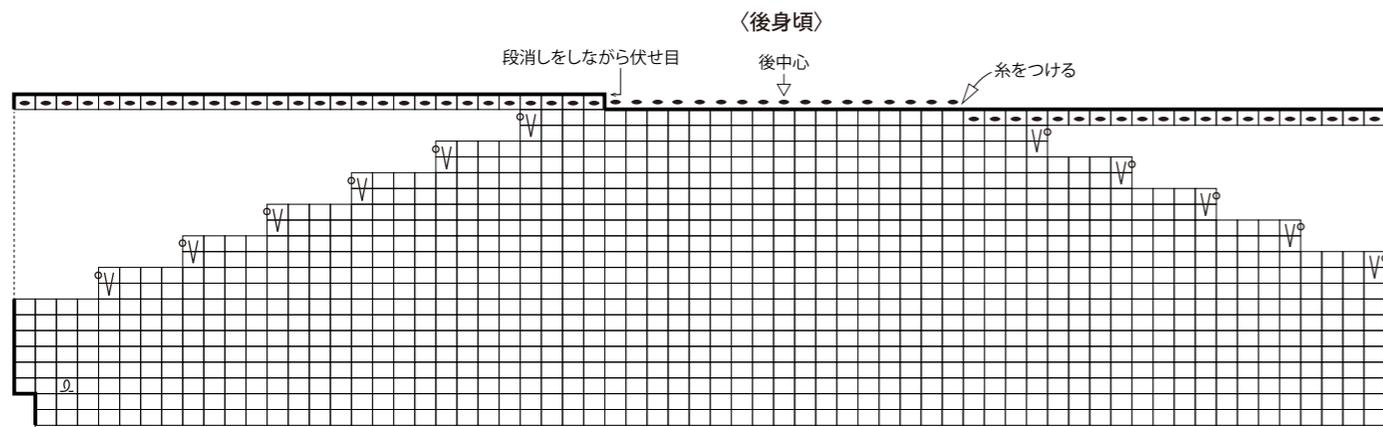
〈ひも〉2カ所 8/0号かぎ針



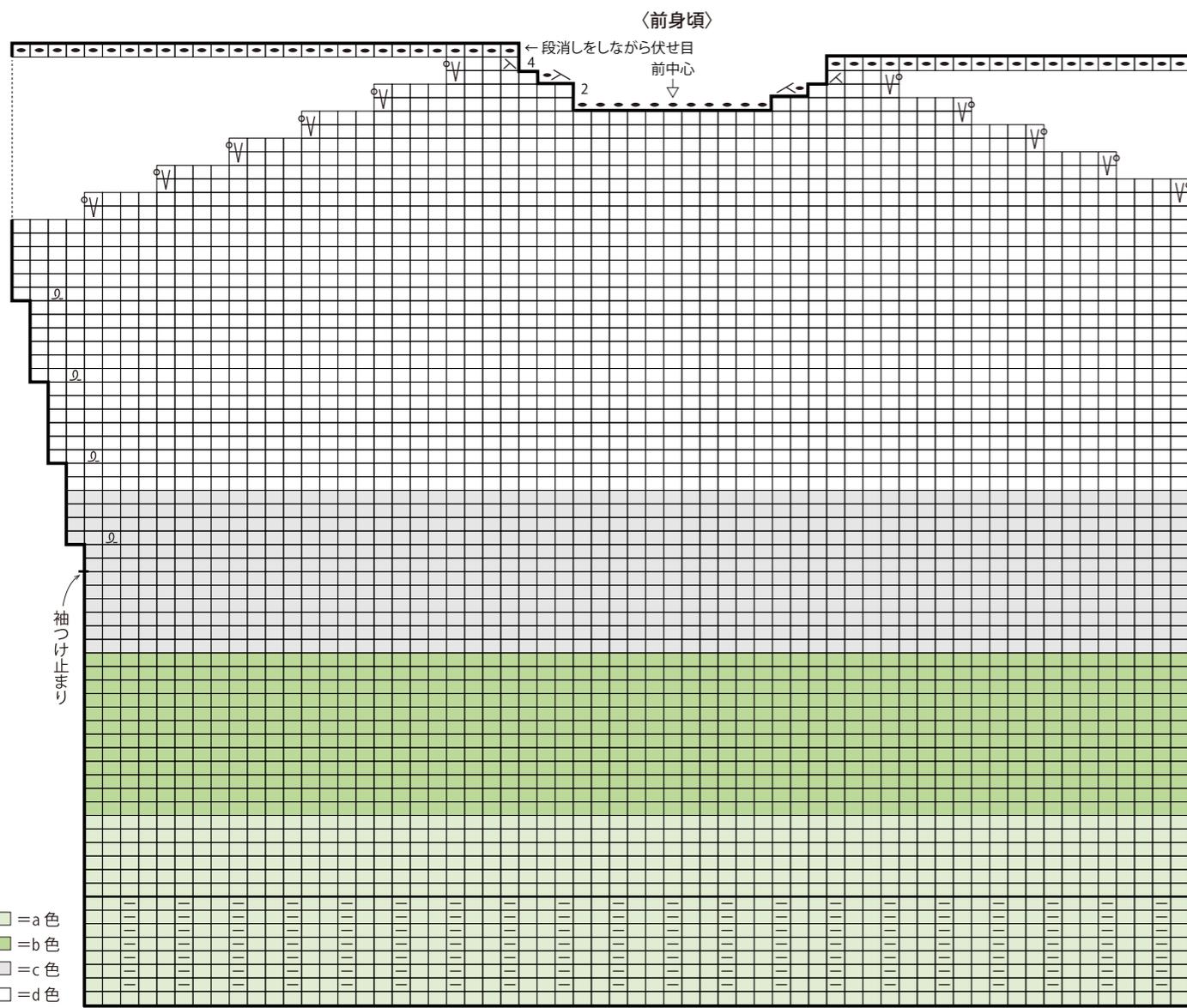
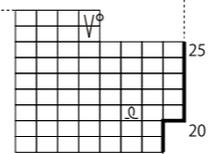
〈仕上げ〉



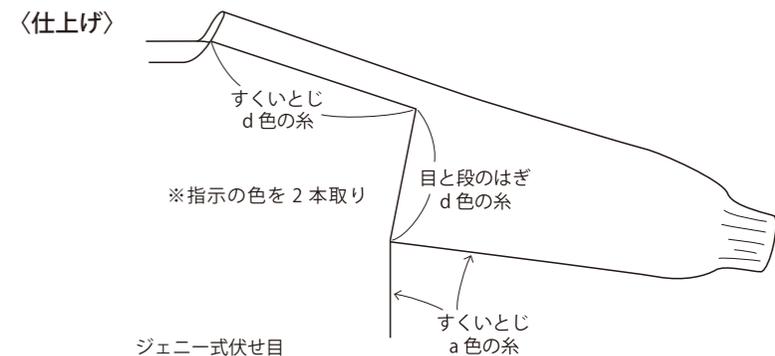
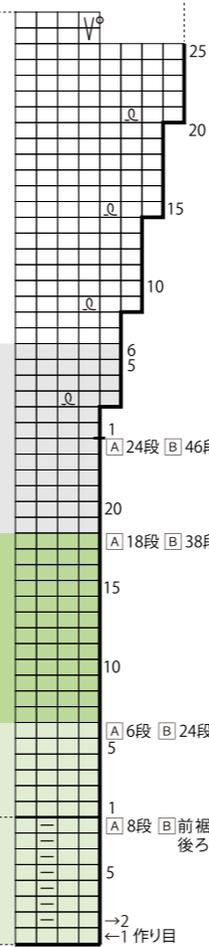
77



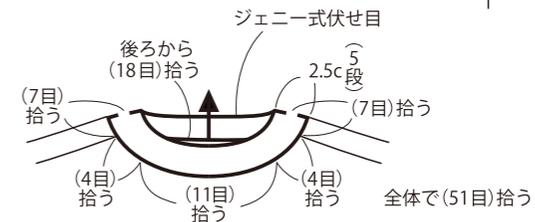
→26 段消しをしながら伏せ目



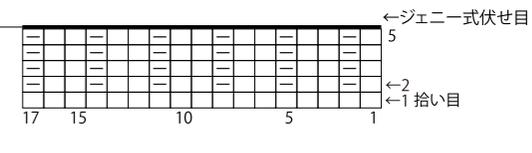
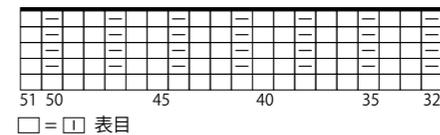
→26 段消しをしながら伏せ目



〈衿〉
(変わりゴム編み)
10号針
d色
[A][B] 共通



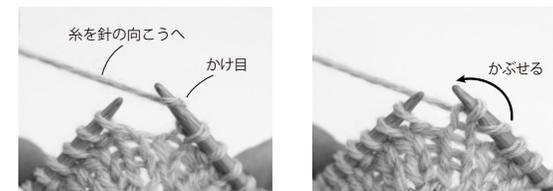
〈衿〉



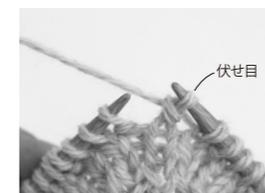
Jeny's Surprisingly Stretchy Bind-Off

ジェニー式伏せ目 (伸縮性のある伏せ目)

Jeny Staimanさんが編み出した止め方の手法で、従来の伏せ目よりも伸縮性があります。



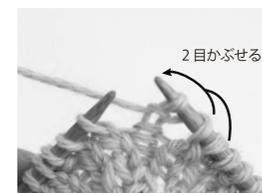
1 向こう側から手前にかけて目をして表目で編む。
2 編んだ表目にかけて目をかぶせる。表目で編む。



3 目をかぶせて伏せ目できました。



4 続けて手前から向こう側にかけて目をする。次の目を裏目で編む。



5 編んだ裏目に、手前のかけ目と3で伏せた目の2目分をかぶせる。



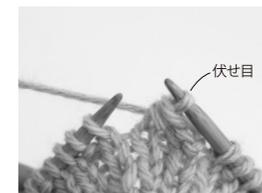
6 目をかぶせて伏せ目できました。



7 続けて向こう側から手前にかけて目をする。次の目を表目で編む。



8 編んだ表目にかけて目と6で伏せた目の2目分をかぶせる。



9 目をかぶせて伏せ目できました。7, 8をもう一度繰り返す。



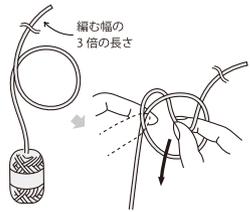
10 もう一度繰り返したところ。表目を編む時は向こう側から、裏目を編む時には手前側から、針に糸をかけるようにして4~9を繰り返して編む。

□ = a色
■ = b色
□ = c色
□ = d色

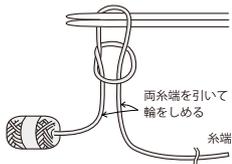
□ = □ 表目

編み目記号と編み方 [棒針]

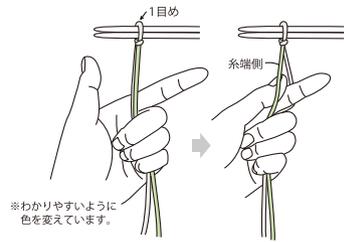
〈一般的な作り目 (指でかける作り目)〉



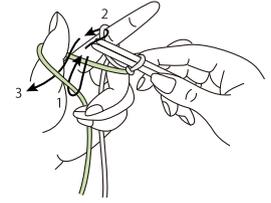
1 糸端は編む幅の約3倍の長さを残す。図のように糸を引き出し、



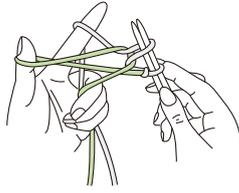
2 棒針2本に糸をかけ、糸を引いて輪をしめる。



3 図のように2本の糸を、3本の指で握る。2本の糸の間に親指と人差し指を入れて



4 針先を1,2,3の順のように動かし、糸をかける。



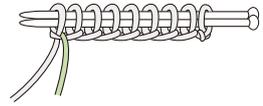
5 2目めの糸をかけたところ。



6 親指の糸をいったんはずし、矢印のように親指を入れ直す。



7 親指で糸を引き、目を引きしめる。4~6をくり返して必要な目数を作る。

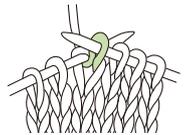


8 作り目(1段め)の出来上がり。

表目



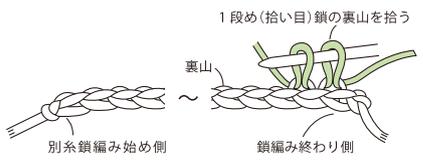
1 糸を向こう側にし、目の手前から右針を入れて矢印のように糸を引き出す。



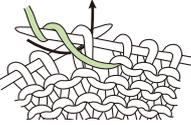
2 糸を引き出したところ。そのまま左針を引いて目をはずす。

〈別鎖の作り目〉

鎖編みを作り、編み始めの鎖の裏山から編地用糸で必要目数を拾います。
※鎖の作り目 P.88 参照



裏目

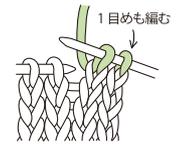


1 糸を手前側にし、目の向こう側から右針を入れて矢印のように糸を引き出す。



2 糸を引き出したところ。そのまま左針を引いて目をはずす。

伏せ目(表目)



1 端の2目を表目で編む。



2 左針の先を使って、前の目を2目めにかぶせる。次の目も表目で編み、繰り返す。

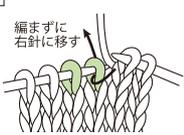


3 最後は目の中を通して、引きしめる。

伏せ目(裏目)

裏目を編むように針を入れて伏せます。
※記号は表目と同じ

右上2目一度



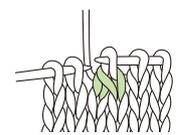
1 右の目に矢印のように針を入れ、編まずに右針に移す。



2 次の目を表目で編む。

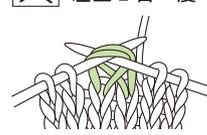


3 左針の先を使って、最初に移した目を編んだ目にかぶせる。

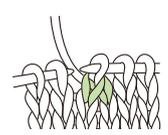


4 左針を引いて目をはずして出来上がり。

左上2目一度

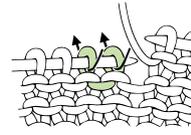


1 2目の左側から一度に針を入れる。

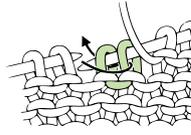


2 そのまま糸をかけて表目を編んで出来上がり。

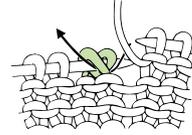
裏目の右上2目一度



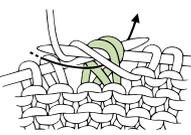
1 2目それぞれを編まずに右針に移す。



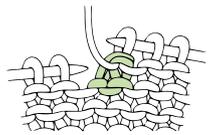
2 左針を2目の右側から入れて、目を戻す。



3 矢印のように右針を入れて、



4 2目をいっしょに裏目で編む。



5 出来上がり。

裏目の左上2目一度



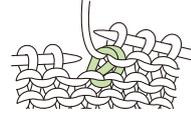
1 矢印のように2目の右側から一度に針を入れる。



2 糸をかけて引き出し、2目をいっしょに裏目で編む。

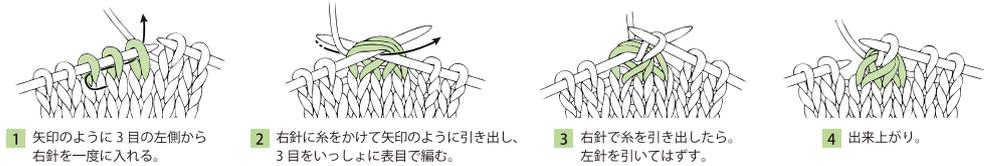


3 右針で糸を引き出したら、左針を引いてははずす。



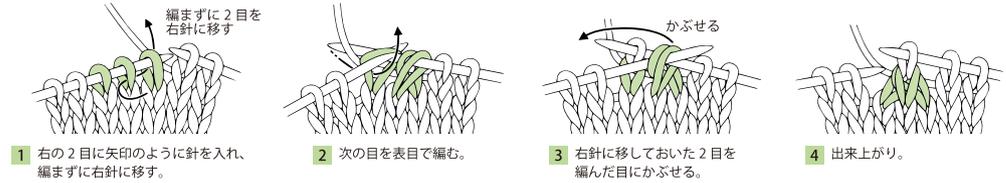
4 出来上がり。

左上3目一度



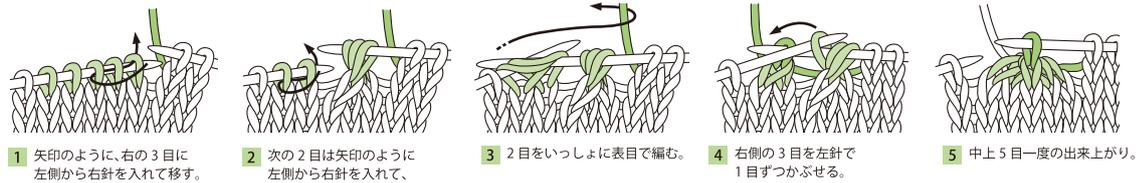
- 1 矢印のように3目の左側から右針を一度に入れる。
- 2 右針に糸をかけて矢印のように引き出し、3目をいっしょに表目で編む。
- 3 右針で糸を引き出したら、左針を引いてははずす。
- 4 出来上がり。

中上3目一度



- 1 右の2目に矢印のように針を入れ、編まずに2目を右針に移す
- 2 次の目を表目で編む。
- 3 右針に移しておいた2目を編んだ目にかぶせる。
- 4 出来上がり。

中上5目一度



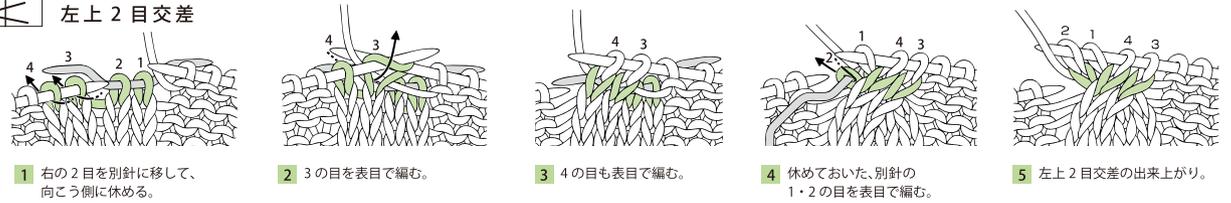
- 1 矢印のように、右の3目に左側から右針を入れて移す。
- 2 次の2目は矢印のように左側から右針を入れて、
- 3 2目をいっしょに表目で編む。
- 4 右側の3目を左針で1目ずつかぶせる。
- 5 中上5目一度の出来上がり。

右上2目交差



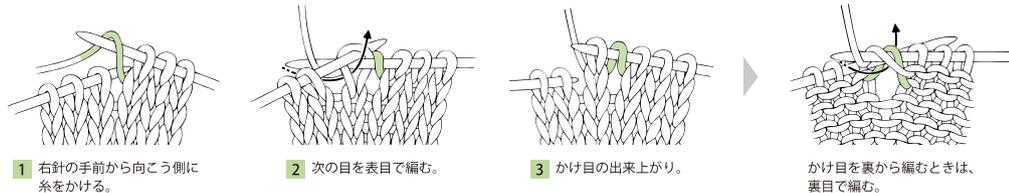
- 1 右の2目を別針に移して、手前側に休める。
- 2 3・4の目を表目で編む。
- 3 休めておいた、別針の1目に矢印のように右針を入れ、表目で編む。
- 4 2の目も表目で編む。
- 5 出来上がり。

左上2目交差



- 1 右の2目を別針に移して、向こう側に休める。
- 2 3の目を表目で編む。
- 3 4の目も表目で編む。
- 4 休めておいた、別針の1・2の目を表目で編む。
- 5 左上2目交差の出来上がり。

かけ目



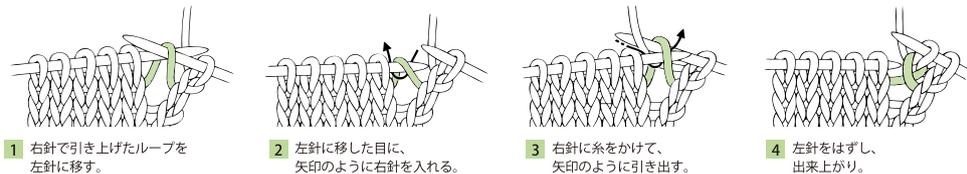
- 1 右針の手前から向こう側に糸をかける。
 - 2 次の目を表目で編む。
 - 3 かけ目の出来上がり。
- かけ目を裏から編むときは、裏目で編む。

ねじり目



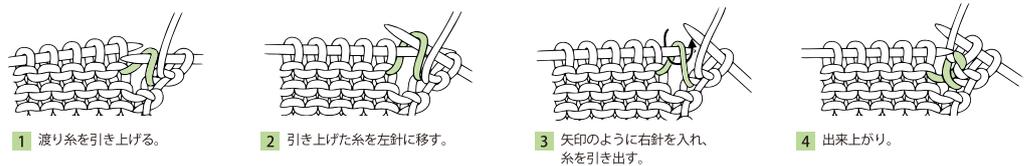
- 1 矢印のように向こう側から、ねじるように右針を入れる。
- 2 針を入れたところ。
- 3 右針に糸をかけて、矢印のように手前に引き出す。
- 4 引き出した糸の下の目の根本がねじれる。
- 5 出来上がり。

ねじり増し目



- 1 右針で引き上げたループを左針に移す。
- 2 左針に移した目に、矢印のように右針を入れる。
- 3 右針に糸をかけて、矢印のように引き出す。
- 4 左針をはずし、出来上がり。

裏目のねじり増し目

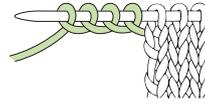


- 1 渡り糸を引き上げる。
- 2 引き上げた糸を左針に移す。
- 3 矢印のように右針を入れ、糸を引き出す。
- 4 出来上がり。

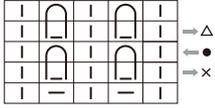
⑩ 巻き増し目



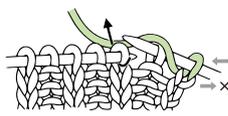
1 人差し指にかけている糸に、図のように棒針を入れて、指をはさず。



2 1を繰り返し、巻き増し目が出来上がったところ。



イギリスゴム編み
(裏目側引き上げ)

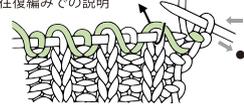


1 ●の段。端の表目を編み、裏目は編まずに右針に移す。(目の向きを変えない。)

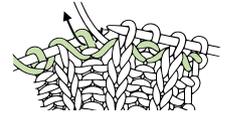


2 移した目に糸をかけ、次の目は表目で編む。

※ここからは
往復編みの説明



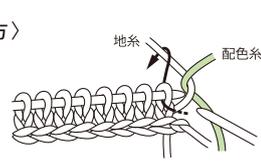
3 △の段。端を裏目で編み、次の目は前段でかけた糸をいっしょに表目で編む。
※輪の場合は表から見て編む。



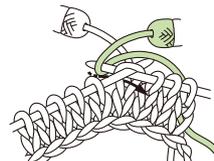
4 「裏目を編み、表目は前段でかけた糸をいっしょに編む」をくり返す。

〈糸を横に渡す編み込み模様の編み方〉

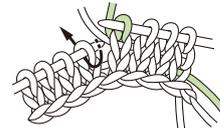
各糸は編地の端まで持って行く。
渡り糸が長くなるところは
真ん中ではさみながら編む。



1 配色糸を入れる段で、配色糸を地糸ではさむ。

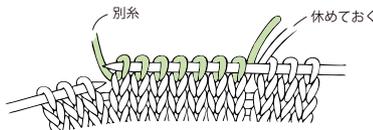


2 配色糸を編むときは地糸の上から渡して編む。

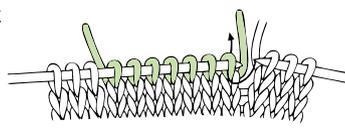


3 地糸で編むときは、いつも配色糸の下から渡して編む。

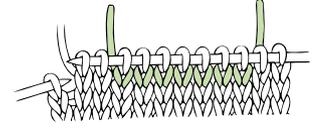
〈別糸を編み込む〉



1 親指穴の手前で編んでいた糸を休め、別糸で指定の目数を編む。



2 別糸で編んだ目を左の針に移し、別糸の上から続きを編む。

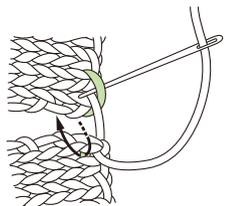


3 続けて編み進む。

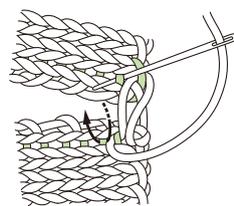
〈すくいとじ〉

メリヤス編み
直線の部分

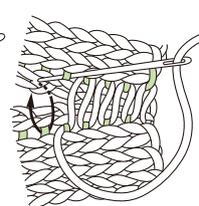
編地の表側を見て
2枚をつき合わせに持ち、
1目内側のシンカループを
すくっていく。



1 手前も向こう側も作り目の糸をすくう。



2 1目内側のシンカループを1段ずつ交互にすくってとじる。

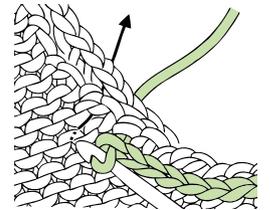


3 とじ糸を引きながら、すくう。

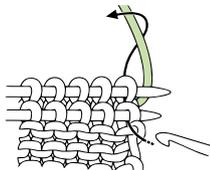
〈引き抜きとじ〉

曲線をとじる

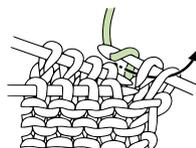
編地を中表に合わせて
(とところまちな針で
とめるとよい)かぎ針で
引き抜きながらとじる。



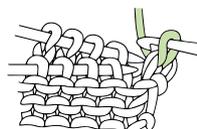
〈引き抜きはぎ〉 目と目ははぎ合わせる



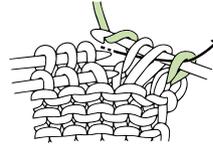
1 2枚の編地を中表に合わせて左手で持ち、両方の端の目にかぎ針を入れる。



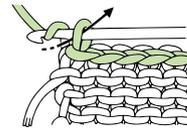
2 糸をかけて、2目一度に引き抜く。



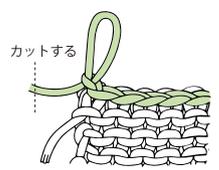
3 引き抜いたところ。



4 次の目もかぎ針を入れ糸をかけて今度は3目をいっしょに引き抜く。



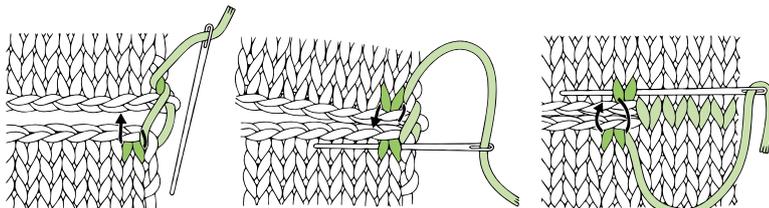
5 4を繰り返し、最後のループに引き抜く。



6 糸をカットし、引き出す。

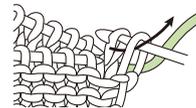
〈メリヤスはぎ〉

両方とも
伏せ目のとき



- 1 糸端のない手前の端の目、向こう側の端の目の順に裏側からとじ針を入れる。
- 2 手前の目に針を入れ、向こう側の目も矢印のように針を入れる。
- 3 「手前側はハの字、向こう側は逆ハの字にすくう」を繰り返す。

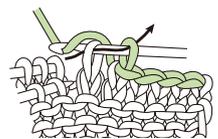
〈かぶせはぎ〉



- 1 手前の裏目と向こう側の表目にかぎ針を入れ、向こう側の目を引き出す。



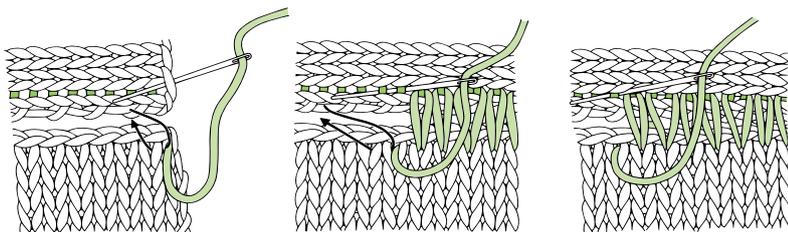
- 2 かぎ針に糸をかけて引き抜く。



- 3 1、2を繰り返し編み進める。

〈目と段のはぎ〉

伏せ目をした目と
はぎ合わせる場合

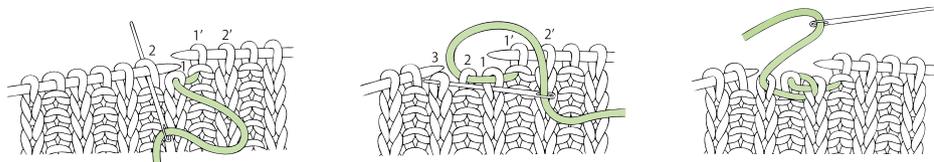


- 1 伏せ目をした方を手前に持ち、段の作り目をすくって手前の目に矢印のようにとじ針を入れる。段の方は渡り糸をすくう。
- 2 段(段の方が多いとき)と目の調整をするために、2段すくうこともある。
- 3 段の数を調整しながら、目と段に交互にとじ針を入れる。はいだ糸は引いて見えないようにする。

〈1目ゴム編み止め〉

輪編みの場合

編み始め側



- 1 1の目(最初の表目)に向こう側からとじ針を入れ、2の目の向こう側に出す。
- 2 1の目の手前からとじ針を入れ、3の目の手前に出す。
- 3 糸を引き出したところ。

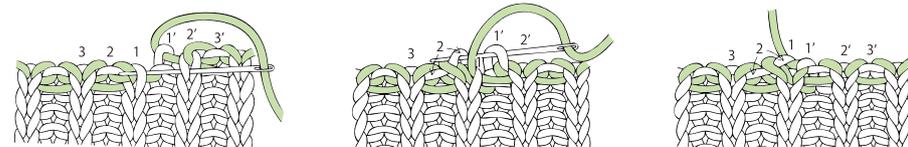


- 4 2の目の向こう側からとじ針を入れ、4の目の向こう側に出す(裏目と裏目)。



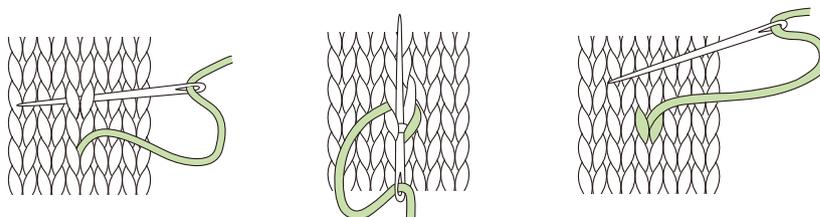
- 5 3の目の手前からとじ針を入れ、5の目の手前に出す(表目と表目)。4・5を繰り返す。

編み終わり側



- 6 2'の目の手前からとじ針を入れ、1の目(最初の表目)の手前に出す(表目と表目)。
- 7 1'の目(裏目)の向こう側から入れ、2の目(最初の裏目)の向こう側に出す。
- 8 糸を引いて出来上がり。

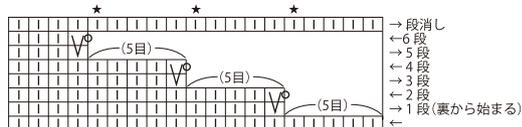
〈メリヤスステッチ〉



- 1 目の中心に裏から針を出し、1段上の目の逆ハの字の糸2本をすくって糸を引き出す。
- 2 針を出した位置に針を入れ、同じ目の中心から針を出す。
- 3 1、2をくり返す。

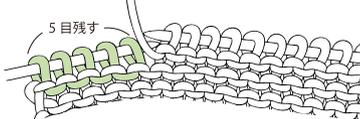
〈編み残しの引き返し編み〉 表側が表目のとき

右側



1 段め

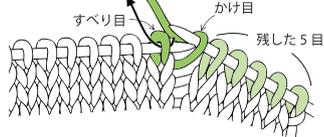
(裏から編む段)



1 1 回目の引き返し編み(右側は 1 段早く始まる)。裏側の段で左針に 5 目残して編む。

2 段め

(表から編む段)



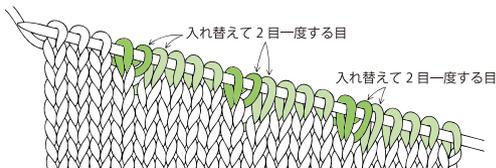
2 編地を持ち替えて、糸を手前から向こう側にかけて、かけ目をし、左針の 1 目をすべらせて(すべり目)右針に移し、あとは表目で編む。

3 段め

(裏から編む段)



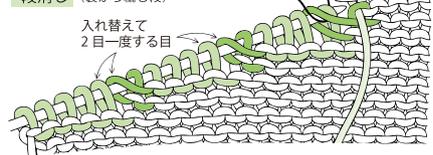
3 2 回目の引き返し編み。左針に 2 回目の 5 目を残す。



4 6 段(3 回目の引き返し編み)が終わったところ。

段消し

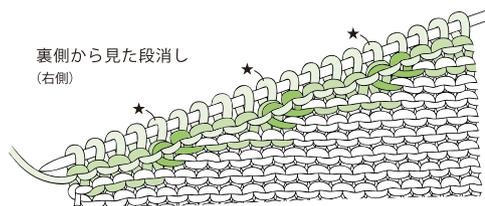
(裏から編む段)



5 裏側で段消しをする。かけ目とその左どなりの下の段の目を入れ替えて(下図の〈目の入れ替え方〉を参照)、2 目一度に裏目で編む。

裏側から見た段消し

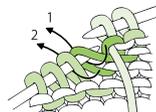
(右側)



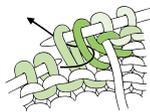
6 右側の引き返し編みの出来上がり(かけ目は裏側に出る)。

〈目の入れ替え方〉

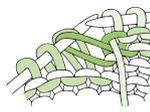
(裏側でする)



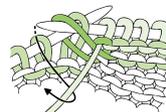
1 右針で 1・2 の順に 2 目を移す。



2 右針に移した 2 目に、矢印のように左針を入れて移す。

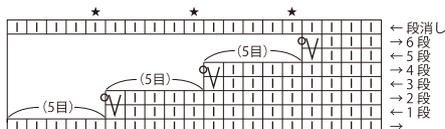


3 2 目を左針に移したところ。



4 右針を 2 目に入れ、糸をかけて裏目を編む。

左側



1 段め

(表から編む段)



1 1 回目の引き返し編み。表側の段で左針に 5 目残して編む。

2 段め

(裏から編む段)



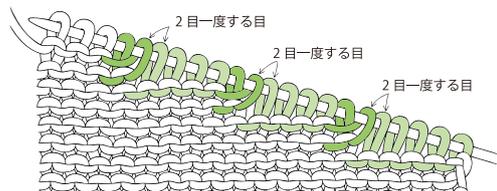
2 編地を持ち替えて糸端が裏側になるようにかけてかけ目をし、左針の 1 目をすべらせて(すべり目)右針に移し、あとは裏目で編む。

3 段め

(表から編む段)



3 2 回目の引き返し編み。左針に 2 回目の 5 目を残して編む。



4 6 段(3 回目の引き返し編み)が編み終わったところ。

段消し

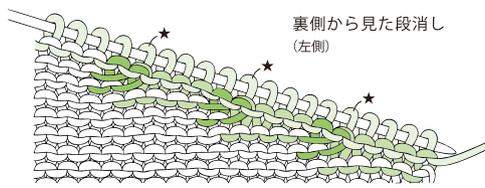
(表から編む段)



5 表側で段消しをする。かけ目とその左どなりの下の段の目を 2 目一度に右針に入れる(かけ目が裏側になる)。

裏側から見た段消し

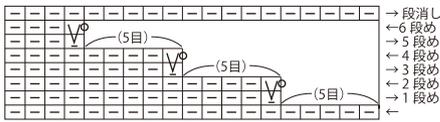
(左側)



6 左側の引き返し編みの出来上がり。(右側よりも 1 段多くなり、かけ目は裏側に出る)。

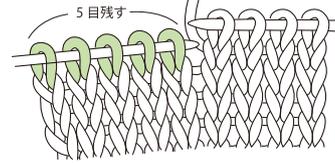
〈編み残しの引き返し編み〉表側が裏目のとき

右側



1 段め

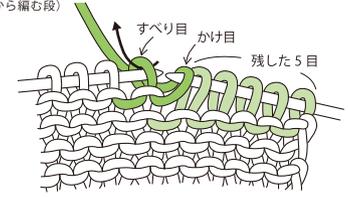
(裏から編む段)



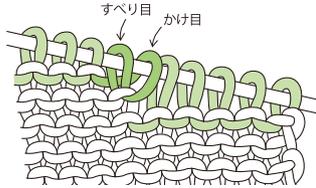
- 1 1 回目の引き返し編み。
裏から編む段で、左針に 5 目残るところまで編む。

2 段め

(表から編む段)



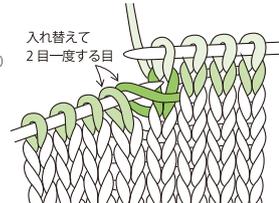
- 2 編地を持ち替えてかけ目をし、左針の 1 目をすべらせて(すべり目)右針に移す。



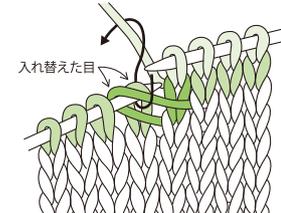
- 3 次の目からは裏目を編む。

段消し

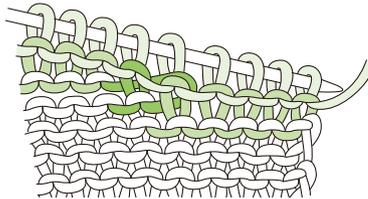
(裏から編む段)



- 4 裏から編む段で段消しをする。
すべり目まで編み、

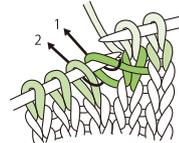


- 5 かけ目とその左どりの目を入れ替えて、2 目一度に表目で編む(下図の(目の入れ替え方)を参照)。



- 6 右側の引き返し編みの出来上がり。

〈目の入れ替え方〉
(裏側でする)

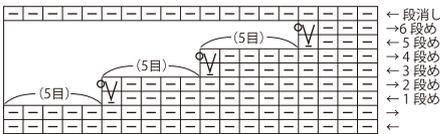


- 1 右針で 1・2 の順に目を移す。



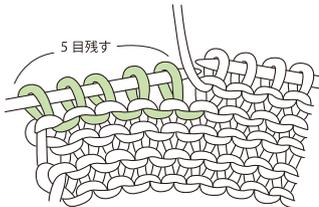
- 2 右針に移した 2 目に、矢印のように左針を入れて戻す。

左側



1 段め

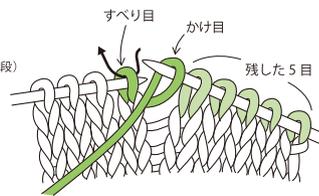
(表から編む段)



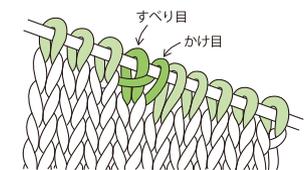
- 1 1 回目の引き返し編み。
表から編む段で、左針に 5 目残るところまで編む。

2 段め

(裏から編む段)



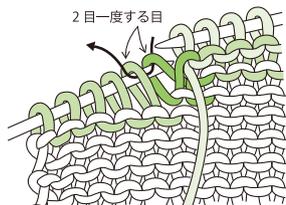
- 2 編地を持ち替えて、糸を図のようにかけてかけ目をし、左針の 1 目をすべらせて(すべり目)、右針に移す。



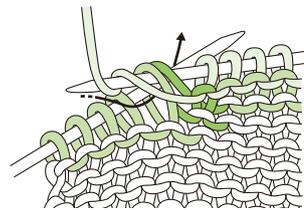
- 3 次の目からは表目を編む。

段消し

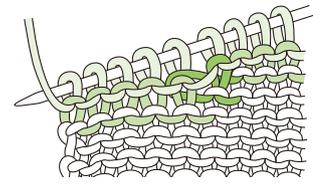
(表から編む段)



- 4 表から編む段で段消しをする。かけ目とその左どりの目に矢印のように右針を入れる。



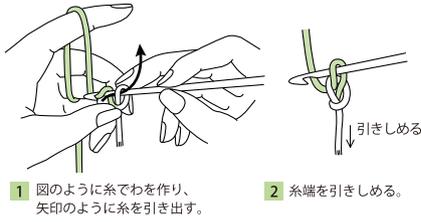
- 5 糸をかけて 2 目いっしょに裏目で編む。



- 6 左側の引き返し編みの出来上がり。

編み目記号と編み方 [← かぎ針]

〈鎖の作り目〉最初の目の作り方



○ 鎖編み

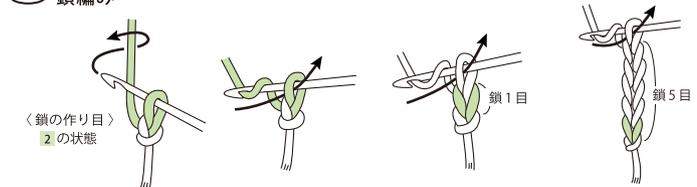
〈鎖の作り目〉
2の状態

1 矢印のように針に糸をかける。

2 針に糸をかけて引き出し、1目を編む。

3 1目が編めた状態。さらに針に糸をかけて引き出す。

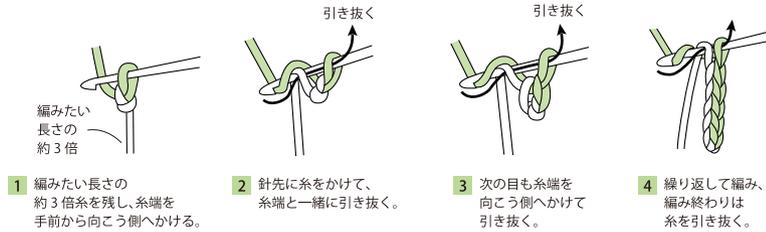
4 「糸をかけて引き出す」をくり返す。



● 引き抜き編み



〈スレッドコード〉



STAFF

撮影	上原 朋也 横田株式会社 (P.30)
スタイリング	山口 香穂
モデル	夏実 (BARK in STYLe)
ヘアメイク	吉川 陽子
トレース	黒柳 真美
編集・製図・ブックデザイン	横田株式会社

[商品クレジット]

P.7、8、9	ボーダーカットソー (A)
P.9	マウンテンパーカ (B)
P.10、11	スウェットトップス (B)
P.10	デニムパンツ (C)
P.13、14	コート (B)、スウェットトップス、パンツ (A)
P.16、17、18、19	スウェットパーカ (C)
P.27、29	スウェットパンツ (A)

※他スタイリスト私物

[お問い合わせ先]

(A) ヴェリテクール 092-753-7559
(B) ネストローブ (ネストローブ 表参道店) 03-6438-0717
(C) アップサイクルリノベーシック (ネストローブ 渋谷店) 03-6416-3771

DARUMA PATTERN BOOK 9

2024年8月23日 初版第1刷発行

編集人	牧野 貴子
発行人	横田 宗樹
発行所	横田株式会社 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町 2-5-14 http://www.daruma-ito.co.jp/ TEL. 06-6251-2183
印刷・製本	株式会社 シナノ
糸見本制作	武正株式会社

© 横田株式会社 2024 Printed in Japan
ISBN : 978-4-908-76928-3

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。
本書をコピーされる場合は、事前に日本複製権センター(JRRC)の許諾を受けてください。
JRRC < <http://www.jrcc.or.jp/> eメール : jrcc_info@jrcc.or.jp TEL : 03-3401-2382 >
万が一、乱丁・落丁の本がございましたらお問い合わせになった店舗か小社にご連絡ください。お取り替えいたします。

※本誌掲載作品の複製頒布、および販売はご遠慮ください。

糸についてのお問い合わせはコチラ

横田株式会社

<http://www.daruma-ito.co.jp/>

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町 2-5-14

TEL. 06-6251-2183



編図に間違いがあった場合は以下のアドレスに記載いたします。
<http://www.daruma-ito.co.jp/products/errata.html>

ISBN 978-4-908-76928-3

ISBN 978-4-908-76928-3